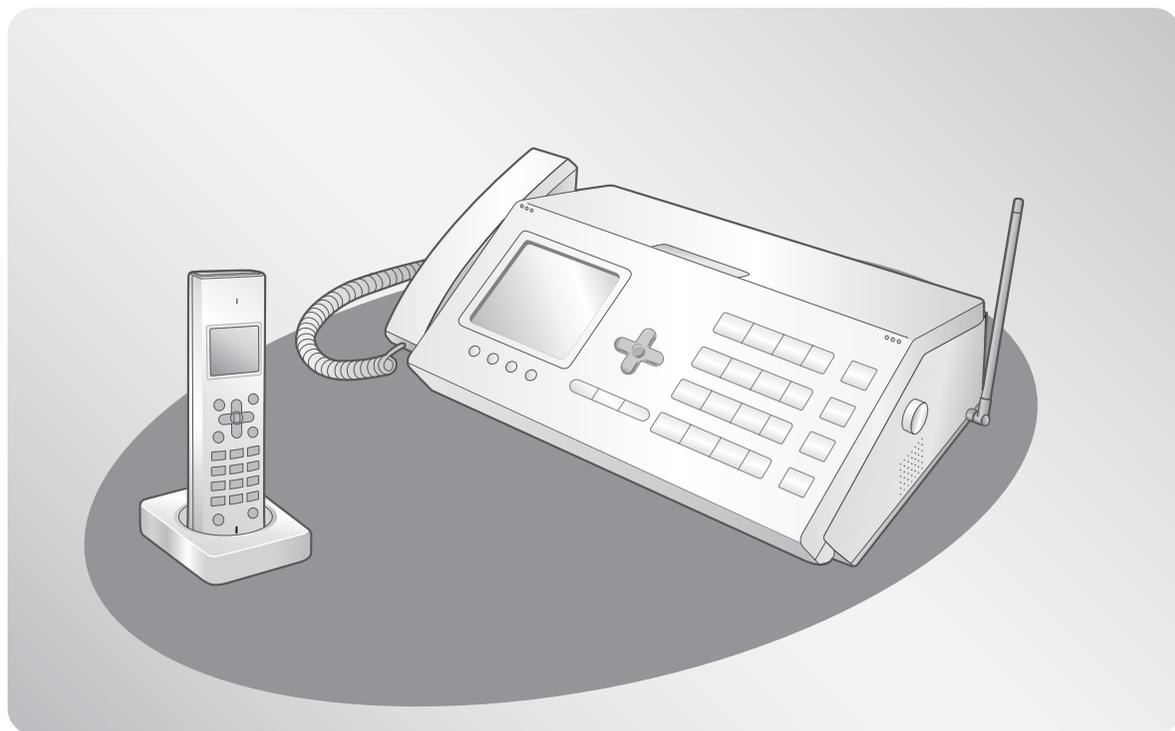


取扱説明書

NTTFAX P-265DCLw/P-265DCL



「NTTFAX P-265DCLw/P-265DCL」
技術基準適合認定品

このたびは、NTTFAX P-265DCLw/P-265DCL
をお買い求めいただきまして、まことにありがとう
ございました。

- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内
容を理解してからお使いください。
ご使用前に「安全に正しくお使いいただく
ために必ずお読みください」(☞ 2～9ペ
ージ)を必ずお読みください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどい
つも手もとにおいてお使いください。

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ



ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。



NTT西日本用

もくじ

取付
設定
ご使用の前に

電話帳
留守番
電話

ファクス/コピー

便利な機能

ナンバー・
ディスプレイ

こま
つた
ときは

ご
参考
に

索
引

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷した場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

注意

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本商品は、お買い求め時には、国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 当社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 電話網と本商品の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、接続される通信機器によっては電話網の仕様と完全に一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品に保存されている内容は、本商品の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申しつけください。

危険

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中や水の中に投入したり、加熱しない
 - ・ 直接はんだ付けしない
 - ・ 赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない
 - ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- 煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから当社のサービス取扱所へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水やペットの尿などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- インクリボンの交換や原稿づまり、お手入れなどで、操作パネルを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。

 **警告**

- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を付けてください。(アース線は、付属していません。アース線をご用意のうえ接続してください)
 - ・ アース線が取り付けられるところは次の部分です。
 - ▷ 電源コンセントのアース端子
 - ▷ 銅片などを65cm以上地中に埋めたもの
 - ▷ 接地工事(第D種)が行われている接地端子
 - ・ 次のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
 - ▷ ガス管
 - ▷ 避雷針
 - ▷ 水道管や蛇口
 - ▷ 電話専用アース線
- AC100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器は、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

 **警告**

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- めれた手で本商品进行操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検・清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。
 - ・ 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
 - ・ 使用を制限された場所では使用しないでください。
例：医療用電子機器など
- 航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医療用機器に悪影響を与え、事故の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重いものを乗せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・けが・やけどの原因となることがあります。

警告

- 点検・清掃（お手入れ）は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。
- 歩行中に子機を絶対に操作しない（見ない）でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
- 電池パックは定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電池パックの破損による漏液の原因となることがあります。定期交換については、当社のサービス取扱所にご相談ください。

注意

お使いになる前に 設置環境

- 直射日光の当たるところや、暖房設備、ボイラーなどのために著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- キャスター付きなどの台に設置されるときは、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 親機の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から10cm以上離してください。通風孔をふさぐと親機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 親機のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや記録紙づまりの原因となることがあります。
- 本商品の底面部は、放熱のため温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に設置しないでください。カーペットが変色したり、火災の原因となることがあります。

注意

お使いになる前に 設置環境

- 本商品の底面部にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

お使いのとき

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 長期不在時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、子機の電池パックも取り出してください。
- 記録紙の交換や原稿づまりなどで、操作パネルなどを開けるときには、突起物にご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

注意

お使いのとき

- 小さなお子様が原稿挿入口や記録紙排出口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 小さなお子様が電池パックの交換を行わないようご注意ください。
- 年に一度くらいは内部の清掃を当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品の内部にほこりがたまってきたまま、長い間清掃しないと火災や事故の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部清掃費用については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので押さないでください。破損・けがの原因になることがあります。

充電器の取り扱いについて

- 充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。また、磁力線がでていますので、磁気に弱い物（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
やけど、けがの原因となります。また、磁気に弱い物は使えなくなることがあります。

お願い

置き場所について

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 温度が急激に変化する場所、冷え切った部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となることがあります。
- 高温、多湿、低温の場所には置かないでください。いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 5～35℃ 湿度 30～85%
 - ・ 温度が35℃のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度30℃以下でご使用ください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
 - ・ 電波が飛びにくくなります。
- 以下のようなところには置かないでください。
 - ・ クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接当たる場所
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 換気の悪い場所
 - ・ 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- 自動車やオートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く雑音が大きいつきは、親機の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは子機が使用できないことがあります。

STOP お願い

- 本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- ・ 本商品をテレビなどから遠ざける。
- ・ 本商品またはテレビなどの向きを変える。

- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

- ・ 親機と子機間の内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

- 本商品を2セット以上お使いになるときは、お互いの距離をとって設置してください。電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。

- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。アンテナの状態が悪いと、電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。

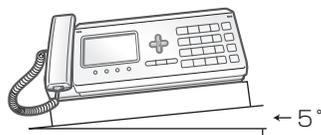
- ・ 接続などの準備のあと、親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。
- ・ 子機では、操作をする前に、電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。

- 本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



STOP お願い

- 本商品は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

取り扱いについて

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

- 本商品の上に重い物をのせたりしないでください。故障の原因となることがあります。

- コネクタに異物を差し込んだり、端子面を触らないでください。故障の原因となることがあります。

- 通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり、本商品の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜いたままにしないでください。

- ・ ファクスを送受信や電話をかけることができません。
- ・ 子機が充電できません。
- ・ 留守番機能が使用できません。

- 子機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP お願い

記録紙について

- 記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の NTTFAX P-265DCLw / P-265DCL 用記録紙以外はご使用にならないでください。
- 直射日光に当てない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となることがあります。
- 薬品・油などを付けないでください。変色、印字消えの原因となることがあります。
- 粘着テープ、のり、接着剤などを付けないでください。変色の原因となることがあります。
- 青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となることがあります。

その他

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 法律によりコピーが禁止されているものもあります。コピーの禁止についてをよくお読みのうえ、ご使用ください（☎ 82 ページ）。

廃棄（または譲渡、返却）されるときは

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を、下記の操作で消去または変更願います。

STOP お願い

- 本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
 - ・ 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - ・ 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・ 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
- キャッチホンをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
 - ・ ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
 - ・ また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんのでご了承願います。
 - ・ キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
 - ・ 通話中にキャッチホンが入ってきたときは、必ずキャッチボタンを押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。

操作	参照ページ
子機の電話帳を消去する	53
子機の着信記録を消去する ※	108
子機の登録内容を初期化する	132
親機の登録内容を初期化する	132

※ ナンバー・ディスプレイご利用時のみ

もくじ

安全に正しくお使いいただくために
必ずお読みください 2

もくじ 10

ご使用の前に

特長	12
付属品の確認	14
ご使用の前に知っていただきたいこと	15
取扱説明書の見かた	18
親機各部のなまえ	19
親機操作パネル	20
子機各部のなまえ	21
液晶ディスプレイ	22

<取付>

親機を接続する	24
インクリボンを確認する／交換する	27
記録紙のセットのしかた	29
子機を充電する／電池パックを交換する	30
操作ガイド	33

<設定>

日付と時刻・自分の番号・名前を登録する	34
音の設定を変える	36

電話

電話をかける・受ける・かけ直す	40
親機と子機、子機と子機の間でお話する (内線通話)	44
3人で電話でお話する(3者通話)	46
電話をとりつぐ(とりつぎ転送)	47

<電話帳>

電話帳で電話をかける	48
電話帳の登録／修正／消去	50
文字を入力する	54
ワンタッチダイヤルを使う(親機)	57
親機と子機、子機と子機の間で 電話帳を転送する	58

<留守番電話>

留守に設定する／解除する	60
自分で応答メッセージを録音する	63
録音されている内容を再生／消去する	64

ファクス／コピー

<ファクス>

ファクスを送る	66
電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルで ファクスを送る	70
ファクスの受けかた	71
電話に出てからファクスを受ける	73
電話に出ないで自動的にファクスを受ける	74
FAX 優先または FAX 専用にする (着信音を鳴らさずに受ける)	75
受信したファクスをディスプレイで見る (見てからプリント)	76
メモリー受信したファクスをプリント／消去する	78
F ネット(ファクシミリ通信網サービス)を利用する	80

<コピー>

コピーする	81
-------	----

便利な機能

固定電話から携帯電話への 通話サービスを利用する	83
携帯通話設定機能を利用する	84
1つの電話回線で複数の番号を使う (モデムダイヤルインサービス)	86
子機を増やす	90
伝言メモを録音する	91
通話内容を録音する(今から録音)	92
通話内容をさかのぼって録音する (戻って録音)	93
録音した内容を通話中に再生する	95
親機をもっと便利に使う	96
子機をもっと便利に使う	97
電話機を増設する(増設電話機)	99
ドアホンと話す(ドアホン通話)	100
外出先から用件や伝言を聞く(リモート操作)	102

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	103
ネーム・ディスプレイを利用する	104
キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ	105
着信記録を使う	106
着信の種類によって着信音を変える (着信鳴り分け)	109
非通知・公衆電話・表示圏外からの 電話を受けない	110
特定の番号の電話を受けない (特定番号お断り)	111
登録した番号からの電話のみ受ける (選んで着信)	112
迷惑電話をお断りする(迷惑電話拒否機能)	114

こまったときは

記録紙に白や黒の線が入るときは	116
お手入れのしかた	117
原稿や記録紙がつまったときは	118
こんなときは（親機）	120
こんなときは（子機）	124
こんなときは（ナンバー・ディスプレイ）	126
こんなときは（ひかり電話などの光回線／ IP 電話／ADSL／ISDN）	127
こんなときは （エラー表示／エラー音／停電）	128
故障かな？と思ったときは （修理依頼される前に）	131

ご参考に

登録や設定・電話帳の内容を初期化する	132
特別設定について	133
区点コード一覧表	137
登録／設定早見表	139
別売品／消耗品	143
仕様	144

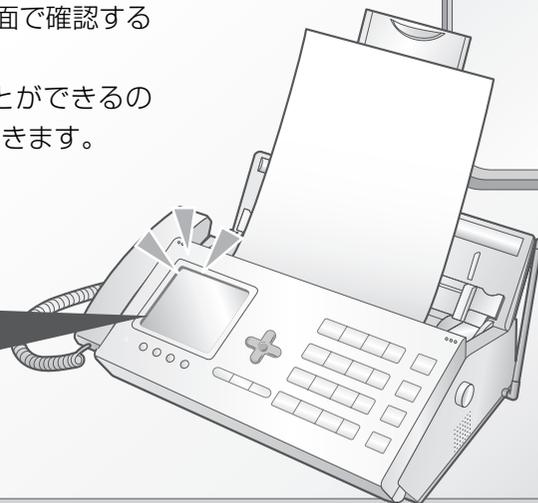
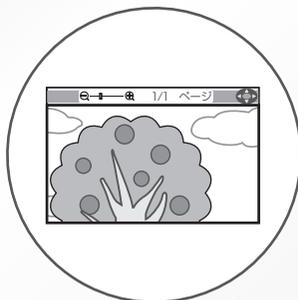
索引	145
保守サービスのご案内	147

お調べになりたい内容がもくじから探しにくいときは、索引（☎ 145ページ）をご覧くださいと見つかる場合があります

受信したファクスを液晶で確認・ズームもできる 見てからプリント機能 (1376ページ)

受信したファクスを、ディスプレイ画面で確認することができます。

そこから必要なものだけ印刷することができるので、用紙代やインクリボン代が節約できます。



見やすく便利な 漢字表示液晶ディスプレイ

親機、子機ともに、はっきり見やすい漢字表示液晶ディスプレイです。

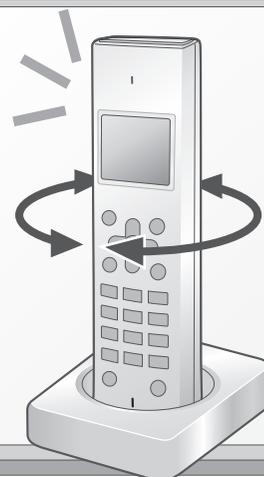
電話帳や再ダイヤルなど、相手の方の名前や電話番号が分かりやすく表示されるので、大変便利です。

どの方向に置いてもきちんと充電できる 360°無接点充電方式

子機は充電端子のない無接点充電方式です。

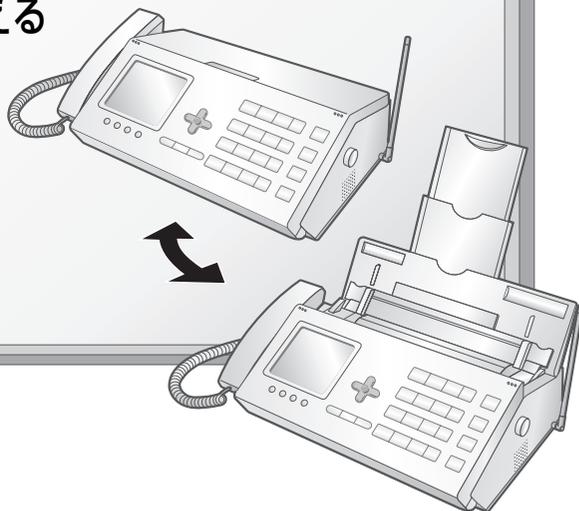
360°どちらの向きに置いても充電できるので、対面キッチンなどに置いても便利に使えます。

さらにお手入れもかんたんで、端子が汚れて充電できないといったトラブルもありません。



すっきり収納でコンパクトに使える しまえるトレイ

ファクシミリ機能を使わないときは、記録紙トレイをすっきり収納。お部屋の雰囲気をこわさず、コンパクトに置けるだけでなく、トレイを閉めたときはホコリが入りにくくなり、お掃除もラクです。



通話の証拠やメモ代わりに使える 戻って録音 (☎93~94ページ) 通話中再生 (☎95ページ)

ボタンを押す45秒前からの通話を録音することができます。
また、録音した内容を通話中に相手に聞かせることもできます。

かんたん操作で迷惑電話をお断り 迷惑電話拒否機能 (☎114ページ)

迷惑電話を受けたときに、

- ・ 来客があったようにチャイムを鳴らして切りやすくする「チャイムでお断り」
- ・ お断りメッセージを流して自動的に電話を切る「メッセージでお断り」
- ・ 15秒前からの会話内容を相手に聞かせて撃退する「録音でお断り」

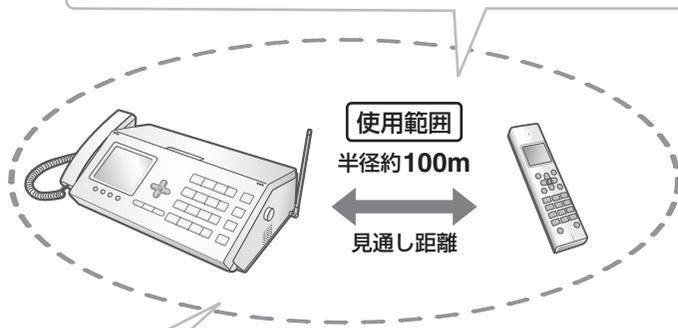
を選んで行うことができます。

ご使用の前に知っていただきたいこと

本商品の取り扱いについて

■ 親機と子機の間には障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。



■ 子機の使用範囲を確かめる

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☎44ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ 子機の電波について

子機は、2.4~2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避できません。

変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m

本商品には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

本商品の使用周波数に関わるご注意

本商品の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- 電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- アマチュア無線局（免許を要する無線局）

本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本商品から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、本商品の電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



■ “傍受”にご注意ください

本商品は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

ご使用前に知っていただきたいこと

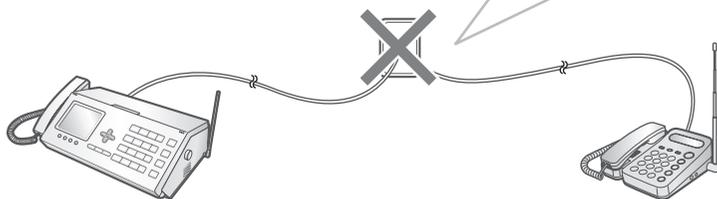
■ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。



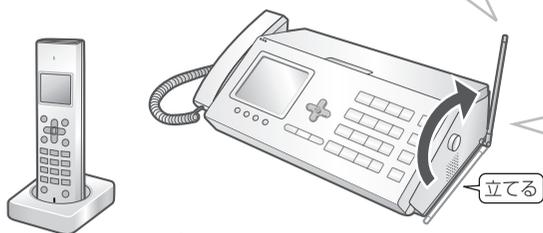
■ ブランチ式（並列）に接続しないでください

1つの電話回線をブランチ式に接続しないでください。正常に動作しなくなったりすることがあります。



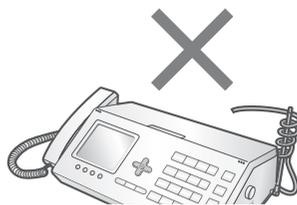
■ 親機のアンテナは、立ててお使いください

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ず立ててお使いください。



■ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。



■ 本商品を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。

- 電子レンジ ●無線LAN機器（ルータ・AV機器・防犯機器など）
 - ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
 - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
 - 鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
 - 2.4GHzコードレス電話機
- その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

ご使用前に知っていただきたいこと



■ 子機に雑音が入ることがあります

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声かとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の呼出音が鳴らないことがあります。
- アンテナの近くに、ACアダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声かとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本商品の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声かとぎれたり呼出音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声かとぎれることが多くなります。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声かとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 取り扱いについて

ご近所でコードレス電話機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

この装置について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

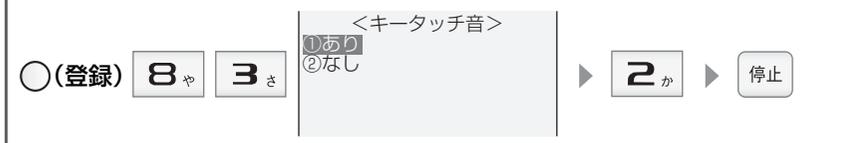
取扱説明書の見かた

本書の操作説明の見かたについて説明します。

親機の操作説明の見かたについて

待受画面の状態（何も操作をしていない状態）で、説明のとおり最初から順番にボタンを押してください。

例：キータッチ音を [なし] にする



上の例では、まず、ソフトキーの「登録」ボタン（☞22ページ）、ダイヤルボタンの「8」「3」と順番に押し、次の画面表示と同じ画面が本商品に表示されたら、ダイヤルボタンの「2」を押し、最後に「停止ボタン」を押す、という意味になります（画面例は、操作に必要な部分のみ表示しています）。

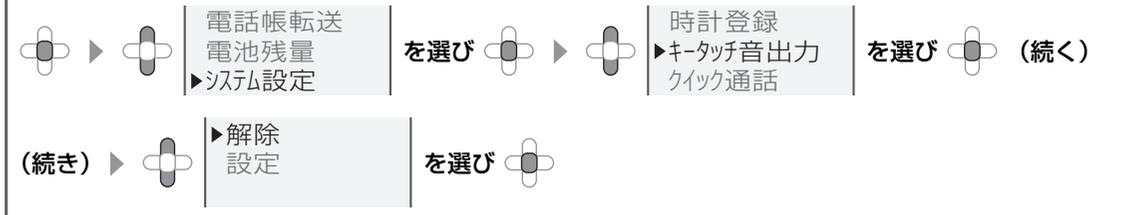
操作ボタンについては「親機操作パネル」（☞20ページ）、ソフトキーについては「液晶ディスプレイ」（☞22ページ）をご覧ください。

親機でも、子機と同様にマルチファンクションキーと決定ボタンを使って操作することもできます。

子機の操作説明の見かたについて

子機の操作は、待受画面でディスプレイを見ながら、マルチファンクションキー（☞下記）を使って行います。

例：キータッチトーンを [解除] する

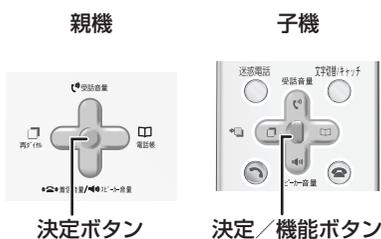


上の例では、☞を押したあと、☞で [システム設定] を選択して☞を押し、次に☞で [キータッチ音出力] を選択して☞を押し、最後に☞で [解除] を選択して☞を押す、という意味になります。表記されている画面例を参考にしてください（画面例は、操作に必要な部分のみ表示しています）。

■ マルチファンクションキーとは

マルチファンクションキーとは、親機や子機の真ん中にある ☞ の形のキーです。ディスプレイの項目の選択や決定に使います。上下左右を選ぶときは、それぞれ十字キーの上下左右を、決定を選ぶときは、真ん中の決定/機能ボタンを押してください。

<マルチファンクションキーおよび決定/機能ボタンの表記について>



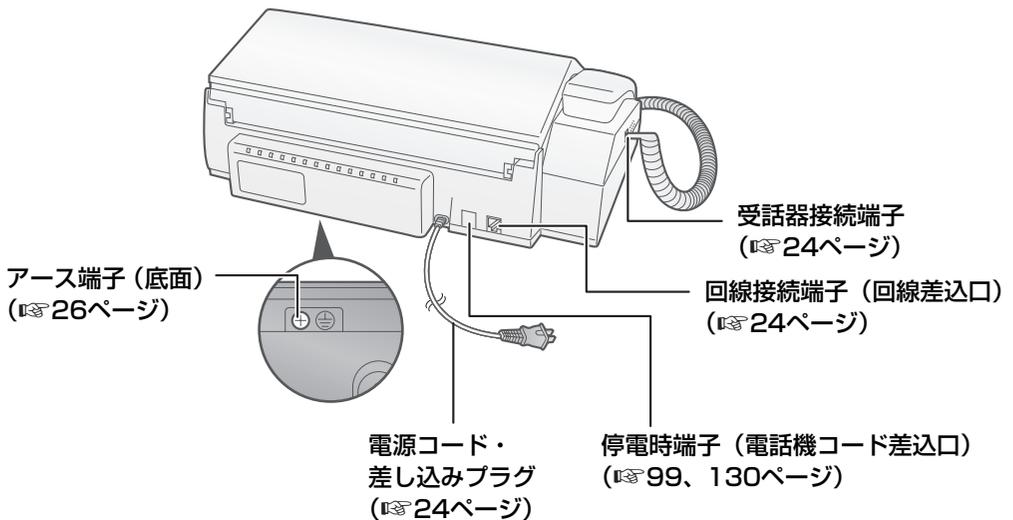
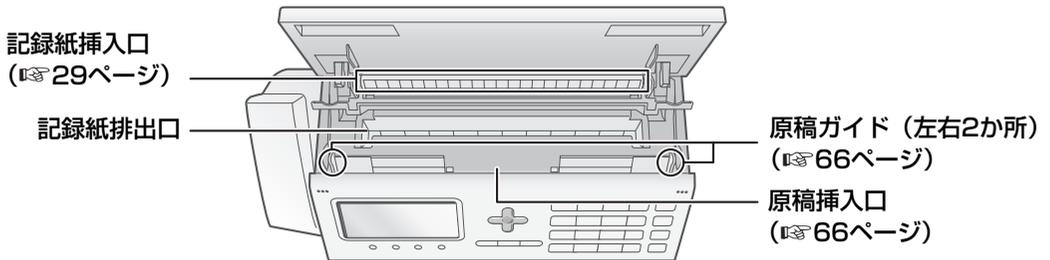
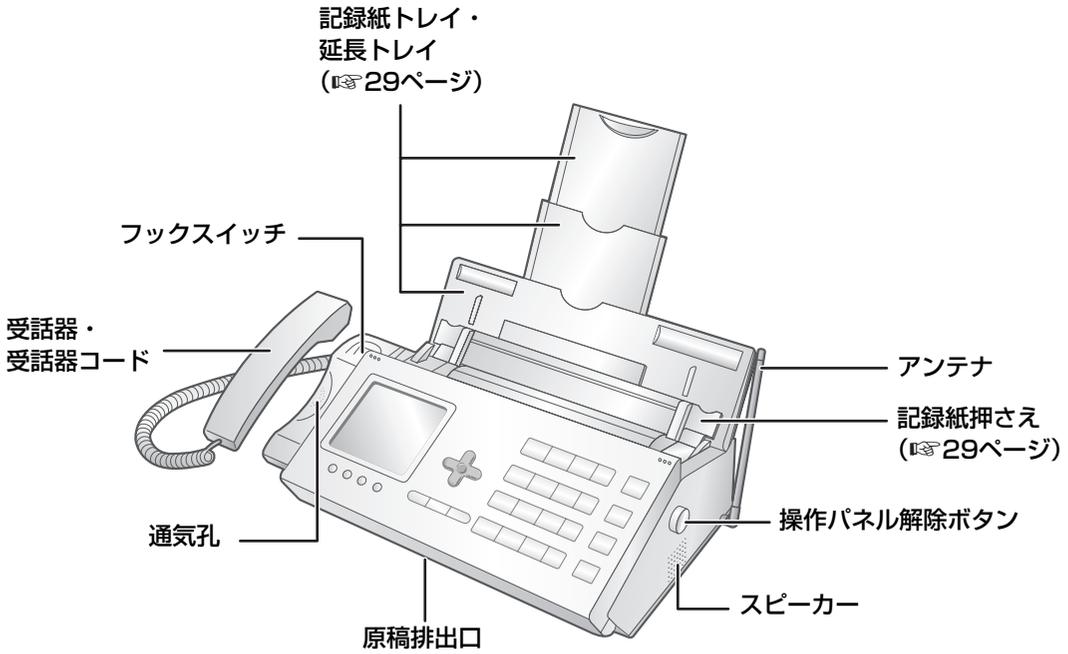
左図のマルチファンクションキーを使った操作は、略図で示しています。

- ☞ : 上を押す
- ☞ : 下を押す
- ☞ : 左を押す
- ☞ : 右を押す
- ☞ : 左右いずれかを押す
- ☞ : 上下いずれかを押す
- ☞ : 決定/機能ボタン（マルチファンクションキー中央部）を押す

● お知らせ

- 表記されている画面例は、実際のものと多少異なる場合があります。
- 操作説明によっては、画面表示例がないものがあります。

親機各部のなまえ



親機操作パネル

ダイヤルボタン

電話をかける／文字入力／登録操作など

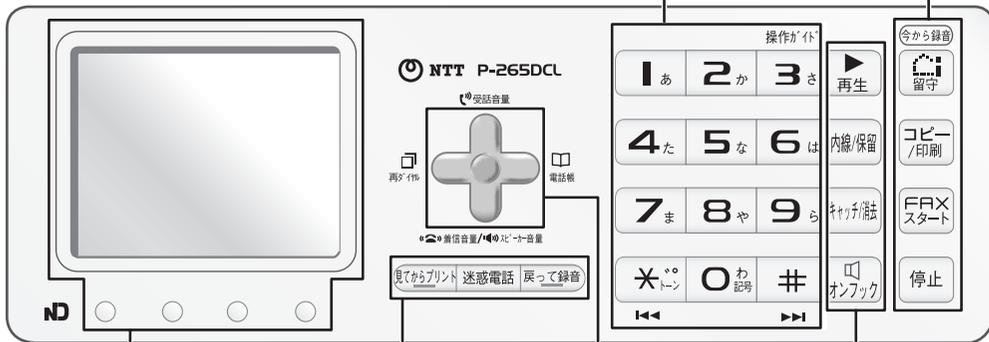
***** ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

3 さ	操作ガイド (P.33)
* トーン	録音を聞き直す (P.65) プッシュホンを利用する (P.41)
#	次の録音へとばす (P.65)

今から録音 留守	留守／今から録音ボタン ・留守の設定 (P.60) ・留守の解除 (P.62) ・今から録音 (P.92)
コピー 印刷	コピー／印刷ボタン ・コピー (P.81)
FAX スタート	FAXスタートボタン ・ファクスの送受信 (P.66, 71)
停止	停止ボタン ・操作や送信の中止

使用の前に
設定

親機操作パネル



液晶ディスプレイ／ソフトボタン (P.22)

見ながらプリント	見ながらプリントボタン ファクスをメモリー受信すると、ランプが点滅します。 ・見ながらプリント (P.76)
迷惑電話	迷惑電話ボタン ・チャイムでお断り (P.114) ・メッセージでお断り (P.114) ・録音でお断り (P.114)
戻って録音	戻って録音ボタン 「戻って録音」にて録音すると、その通話中ランプが点滅します。 ・戻って録音 (P.93)

再生	再生ボタン ・録音再生 ・通話中再生 (P.95)
内線/保留	内線／保留ボタン ・内線通話 (P.44) ・通話の保留 (P.41)
キャッチ/消去	キャッチ／消去ボタン ・各種消去 ・キャッチホン (P.105)
オンフック	オンフックボタン ・受話器を置いたままダイヤル (P.41)

マルチファンクションキー

・項目の選択、決定など

+	受話音量変更 (P.38)
+	着信音量変更 (P.36) スピーカー音量変更 (P.38)
+	かけ直す (P.42) 待ち時間(ポーズ)の入力 (P.51)
+	電話帳 (P.48, 50~51)
+	決定ボタン ・選択した項目の決定

マルチファンクションキーの詳細については、18ページをご覧ください。

点灯するボタンは

今から録音 留守
見ながらプリント
戻って録音

の3つです。

子機各部のなまえ

マルチファンクションキー

・項目の選択、決定など

	待機中：電話帳選択 (P.49ページ) 通話中：受話音量変更 (P.38ページ)
	待機中：電話帳選択 (P.49ページ) スピーカー使用中： スピーカー音量変更 (P.39ページ)
	かけ直す (P.43ページ) 待ち時間 (ポーズ) の入力 (P.53ページ)
	電話帳登録 (P.52ページ)
	決定/機能ボタン ・選択した項目の決定 ・機能メニューの呼出 ・ファクスの送受信 (P.67、73ページ) ・録音再生

マルチファンクションキーの詳細については、18ページをご覧ください。

通話ボタン

・電話をかける・受ける (P.40~41ページ)

ダイヤルボタン

電話をかける/文字入力など

	録音を聞き直す (P.65ページ)
	次の録音へとばす (P.65ページ)
	録音の早聞き (P.65ページ)
	プッシュホンを利用する (P.41ページ)

前面

迷惑電話ボタン

- ・チャイムでお断り、メッセージでお断り、録音でお断り (P.114ページ)
- ・戻って録音 (P.93ページ)
- ・今から録音 (P.92ページ)

液晶ディスプレイ (P.23ページ)

文字切替/キャッチボタン

- ・文字切替 (P.54ページ)
- ・キャッチホン (P.105ページ)

切ボタン

- ・通話の終了
- ・登録メニューの終了

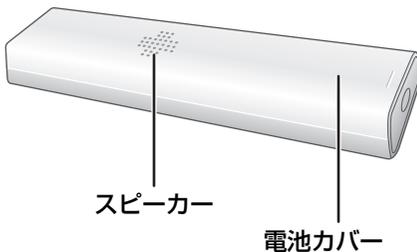
保留/内線/クリアボタン

- ・保留 (P.41ページ)
- ・内線通話 (P.45ページ)
- ・文字消去 (P.54ページ)

スピーカーホンボタン

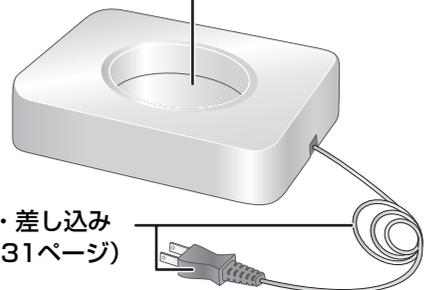
- ・スピーカーホン通話 (P.40ページ)
- ・スピーカー受話 (P.41ページ)

背面



充電器

充電部 (P.31ページ)



液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機

約3分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、ふたたび通常の表示に戻ります。メッセージがある場合は、バックライトのみが消灯します。



① 設定状態表示

見てからプリント または **メモリー受信**、**記録紙受信**
 ファクス受信方法の設定 (☎96ページ) を表示します。

FAX優先 または **FAX専用**、**選んで着信**
 FAX 優先や FAX 専用 に設定されているとき (☎75ページ)、または「選んで着信」が設定されているときに表示します (☎112～113ページ)。

着信音切
 着信音を鳴らさない設定のときに表示します。

お断り
 各種の着信お断り機能 (☎110～111ページ) が設定されているときに表示します。

携帯通話設定機能 (☎84～85ページ) が設定されているときに表示します。

⑤ ソフトボタン名表示/ソフトボタン

ここでは、「登録」や「着信記録」のように、そのとき使用できる機能の名称が表示されます。表示の下のソフトボタン (○) を押すと、その機能を使用できます。ソフトボタンを使った操作は、以下のように表記しています。

例：「登録」という画面表示の下の ○ を押す→

○(登録) を押す

また、○(ボタン切替) を押すと、ソフトボタンがワンタッチダイヤルボタンに切り替わり、かんたんに電話をかけることができます (☎57ページ)。

② エラー/メッセージ表示

各種のメッセージを表示します。

③ 日付・時刻表示

日付・時刻を表示します。

④ メモリー表示

留守録音件数表示
 留守録音やメモ録音の件数を表示します。

メモリー受信件数表示
 メモリー受信しているファクスの件数を表示します。

■ 液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

① ○(登録) **8** **あ** と押す

② で濃度を調整する



③ を押す

④ **停止** を押す

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

子機

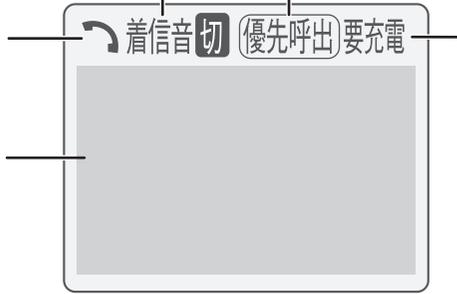
着信音を「切」に設定しているときに表示します。

優先呼出を設定しているときに表示します。

通話ボタンを押すと表示します。

電池パックの残量が不足しているときに表示します (P.30ページ)。

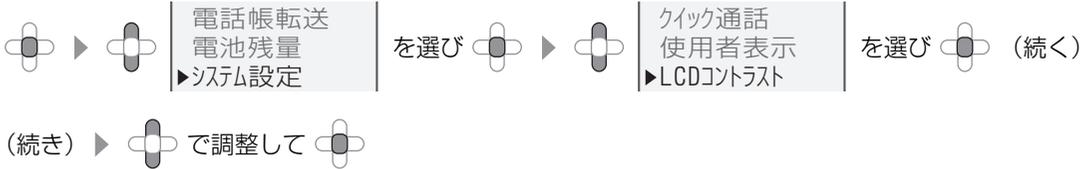
時刻や電話番号、子機番号や使用者名(設定したときのみ)、通話時間などを表示します。



※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

■ 液晶濃度調整

液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。



日付・時刻を設定する

電源コードを接続すると、下記の画面が表示されます。画面にしたがって設定してください。

日付・時刻を設定してください。[決定]で設定に入ります。

日付を入力 (年は西暦年の下2ケタ)

例: → 2006年 9月 16日

<日付・時刻>

日付 06-09-16
時刻 00:00
年は西暦の下2桁
時刻は24時間制

(続く)

(続き) ▶ 時刻を入力 (24時間制)

例: → 午前10時 45分

<日付・時刻>

9月16日 土 10:45

(続く)

(続き) ▶ ひかり電話をご利用のとき:

ひかり電話をご利用でないとき: ▶ 下記の携帯通話設定の設定画面になります

途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:

携帯通話設定を設定する (ひかり電話をご利用のときは使用できません)

電源を入れて時刻を入力、または入力をキャンセルしたあと、ひかり電話の利用を「いいえ」と選択した場合、右記の画面がディスプレイに表示されます。ディスプレイの指示のとおり操作すると、携帯電話への通話料金がおトクになる「携帯通話設定 (☎84ページ)」を設定することができます。携帯通話設定を利用しないときは、 を押します。

携帯電話に電話をかける時
自動で0039 (NTT西
日本) を付けてダイヤルを
します
[決定]で設定に入ります

IP電話をご利用のとき:

IP電話をご利用でないとき:

加入電話選択番号を
ダイヤルボタンで
入力 (最大6ケタ)

このあと自動的に
電話回線種別
が設定されます。

途中でやめるとき: / 1つ前に戻るとき:

- IP電話を利用していないときは、[IP電話利用] を [なし] にしてください。
- 一度設定またはキャンセルしたときは、2回目からはこの画面は表示されません。設定しなおしたいときや解除したいときは、84~85ページをご覧ください。

■ ナンバー・ディスプレイを契約していないとき

ナンバー・ディスプレイの設定を [使用しない] にしてください (☎103ページ)。

■ 電話回線 (ダイヤル/プッシュ) の種別を手動で設定するときは

回線の状態によって自動的に設定できないときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。あらかじめ回線種別を設定してください。また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

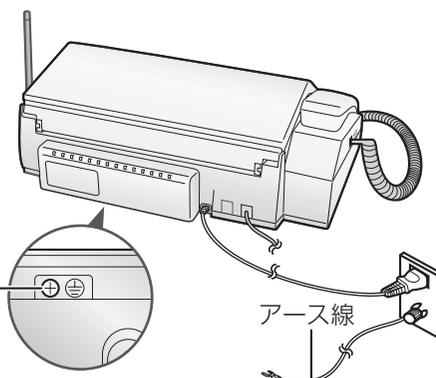
20PPSにする	<input type="text" value="〇(登録)"/> <input type="text" value="1あ"/> <input type="text" value="4た"/> <input type="text" value="1あ"/> ▶ <input type="text" value="停止"/>
トーン (プッシュホン) にする	<input type="text" value="〇(登録)"/> <input type="text" value="1あ"/> <input type="text" value="4た"/> <input type="text" value="2か"/> ▶ <input type="text" value="停止"/>
10PPSにする	<input type="text" value="〇(登録)"/> <input type="text" value="1あ"/> <input type="text" value="4た"/> <input type="text" value="3さ"/> ▶ <input type="text" value="停止"/>
自動で回線種別を設定する	<input type="text" value="〇(登録)"/> <input type="text" value="1あ"/> <input type="text" value="4た"/> <input type="text" value="4た"/>

■ 日付・時刻を設定し直すときは (☞ 34ページ)

■ 携帯通話設定とは (☞ 84~85ページ)

■ アース端子について

アース端子 (本体の底面にあります)
万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。



■ 設置について

本商品の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、右図のような設置スペースを確保してください。



■ コンセントのタイプについて

直接配線 (ローゼット/プレート) の場合、資格者の工事が必要です。
また、3ピンプラグ式コンセントの場合、詳しくは当社にご相談ください。

■ 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ホームテレホンとは

電話回線 1 本で複数の電話機を設置できて、内線通話などでもできる家庭用の簡易交換機です。

ビジネスホンとは

電話回線を 2 本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

- 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、設定を [使用しない] にしてお使いください (☞ 103ページ)。
- 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

● お知らせ

- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスにプリントされます。
- ひかり電話や IP 電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
- IP 電話 (インターネットサービスを使った電話) サービスや、構内交換機 (PBX)、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください (☞ 25ページ)。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1 つの電話回線をブランチ式 (並列) (☞ 16ページ) に接続しないでください。正常に動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、子機の着信音が鳴らないことがあります。
- 電話機コードは、付属のものをお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず 6 極 2 芯と表示されているものをお求めください。

インクリボンを確認する／交換する

ファクスやコピーのプリントに必要なインクリボンを確認／交換できます。

インクリボンは、必ず当社指定品をお使いください（☎ 143ページ）。

30mでA4原稿を通常使用で約100枚プリントすることができます。

インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

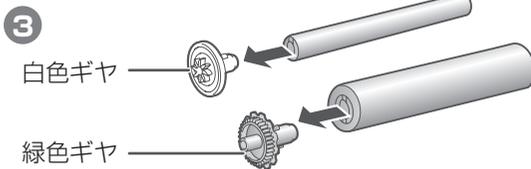
インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

下記 **①** と次ページの **⑥ ⑦** を操作

使用済みのインクリボンを交換する

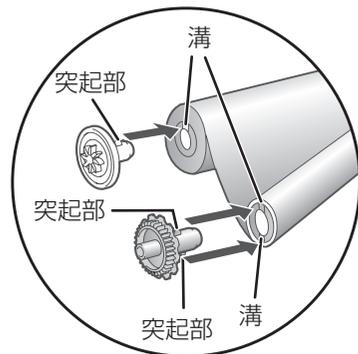
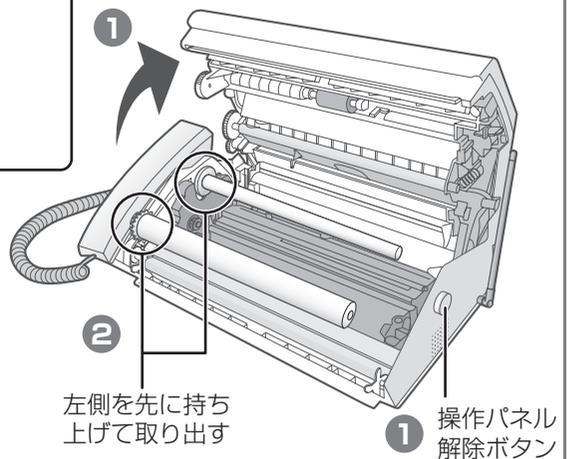
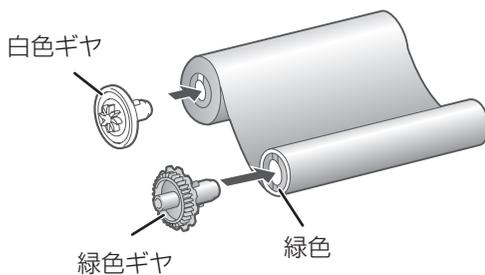
インクリボンがすべて手前側の芯に巻き取られていたら、新しいインクリボンに交換します。記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出します。

- ① 操作パネル解除ボタンを押して、操作パネルを開ける
- ② 使用済みのインクリボンを取り出す
- ③ 使用済みのインクリボンからギヤを取り外す
- ④ 新しいインクリボンにギヤを差し込む



取り外したギヤはそのまま使用しますので、廃棄しないでください。

- ④ 先にインクリボンの輪ゴムを切って取り除いてください。



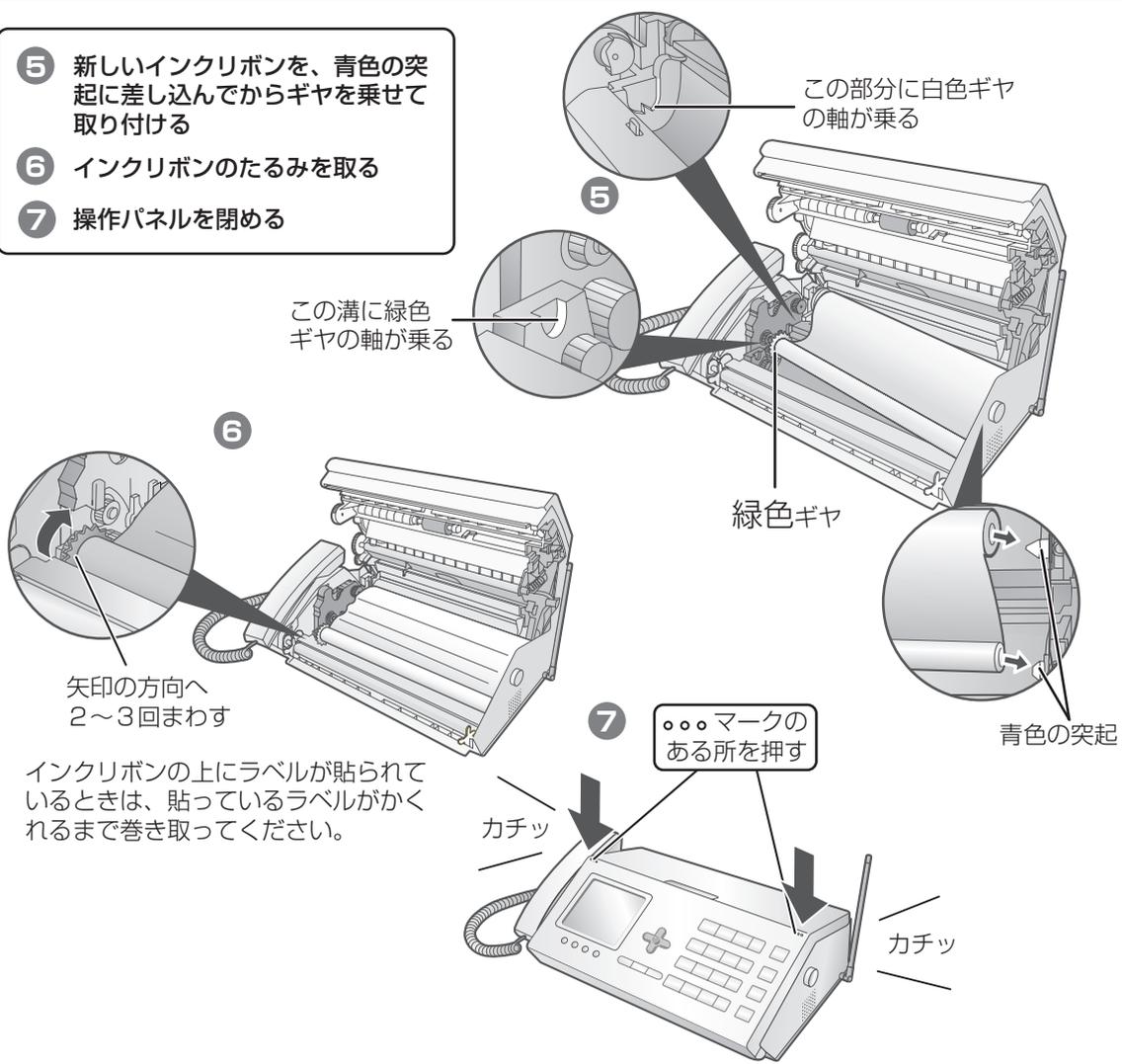
ギヤの突起部をインクリボン芯の溝に合わせる

次ページへ→

インクリボンを確認する／交換する

→つづき

- 5 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでからギヤを乗せて取り付ける
- 6 インクリボンのたるみを取る
- 7 操作パネルを閉める



インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがなくなるまで巻き取ってください。

■ インクリボンの使用量を確かめるときは

使用量を確かめるときは

○(登録) **8**や **2**か **3**さ **1**あ ▶ 使用量を表示するので、確認したら **停止**

インクリボンを交換したあと使用量を0メートルに戻すときは

○(登録) **8**や **2**か **3**さ **2**か ▶ [消去]と表示されたら、確認して **2**か ▶ **停止**

●お知らせ

- 【記録紙/インクリボン確認】の表示が約10秒以上たっても消えないときは、インクリボンがたるんでいます。もう一度操作パネルを開けて、インクリボンのたるみを取ってください。
- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
 - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
 - ・インクリボンの芯は紙、ポリスチレンなどでできています。

記録紙のセットのしかた

ファクス受信やコピーを行うごとにセットしてください。

A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙はA4サイズの当社指定品（☎ 143ページ）をお買い求めください。

指定品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くなる場合があります。

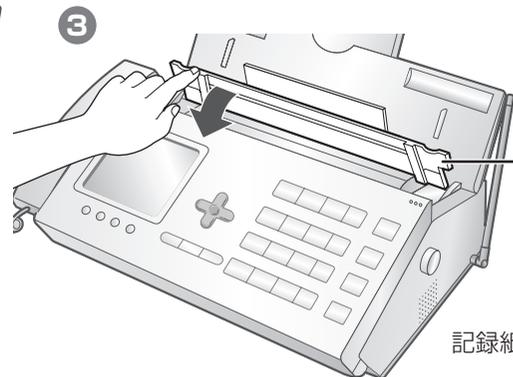
記録紙をセットする

図の状態まで
引き伸ばしてください。



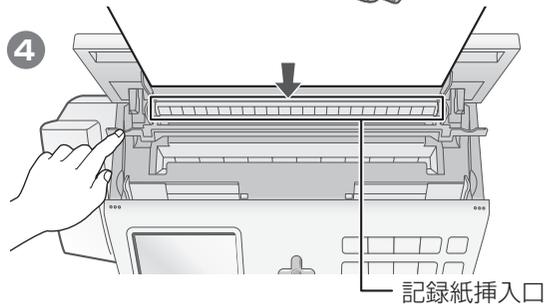
1 記録紙トレイを開ける

2 延長トレイを引き出す



3 記録紙押さえを手前に開ける

4 記録紙は、印刷する面を
ウラ 向きにし、トレイの後ろ
の面に沿わせて記録紙挿入口に
セットする（一度に15枚まで）



- ・ ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実にしめてください。
- ・ 紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、セットするときは強く差し込まないでください。
- ・ 記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。

プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☎ 119ページ）

● お知らせ

- しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- 長期間、記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
- 一度使用した裏紙はセットしないでください。

子機を充電する／電池パックを交換する

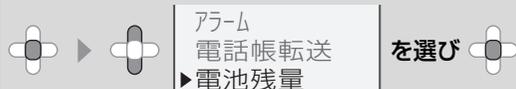
はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

通話時間について

いっぱい充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で**約6時間**です。

- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、子機のディスプレイに**要充電**が表示され“ピッピッ…”と警報音が鳴ります。通話中のときは、約1分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**[電池残量がありません]**と表示されます）。この場合、通話中のときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話してください。登録操作中のときは、充電してください。

電池残量を確認したいときは



- ディスプレイの表示と電池パックの残量については、以下の通りです。

残量 ■■■■：充分に残っています。

残量 ■■■：少なくなっています。

残量 ■■：ほとんどありません。すぐに充電してください。

残量 ■：ディスプレイに**要充電**や**[電池残量がありません]**と表示されて使用できません。10時間以上、充電してからお使いください（充電が完了するまで**要充電**は消えません）。

- 充電中は残量を確認することができません。

電池パックをセットして子機を充電する

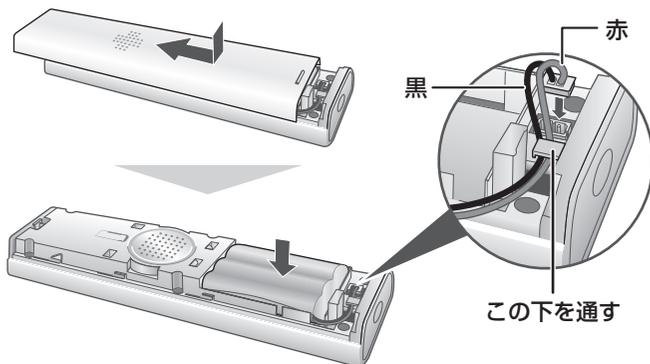
1 充電器を接続する



⚠ 注意

- 充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。金属物が熱くなることがあり、やけど、けがの原因となります。
- 磁力線がでていますので、磁気に弱い物を近づけないでください。キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなどを近づけると使えなくなることがあります。

2 電池カバーを上部へスライドさせて取り外し、電池パックのコネクタを接続して電池パックを入れる



⚠ 警告

電池パックのビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

次ページへ→

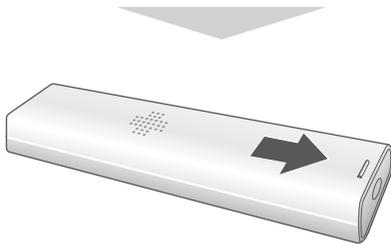
子機を充電する／電池パックを交換する

→つづき

③ 電池カバーを取り付ける



電池パックのコードをはさまないように電池カバーを水平にかぶせる

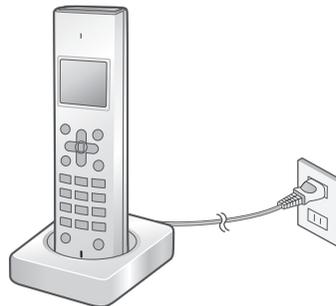


「カチッ」と音がするまで電池カバーをスライドさせて閉める

④ 充電器に置いて充電する

子機はどちらの向きに置いても充電できます。

初めて使用するときは、
必ず **10 時間以上**
充電してください。



📞お知らせ

- P-265DCLwをお使いのときや、P-265DCLに子機を増設してお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。

子機を充電する／電池パックを交換する

電池パックを交換する

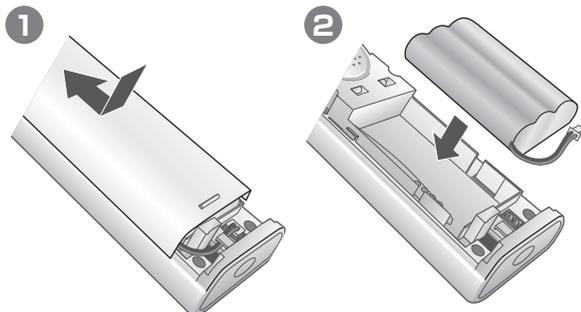
長時間充電しても通話できる時間が短いときは、新しい別売りの電池パックと交換してください。

電池パックは約2年程度で交換してください

子機に内蔵している専用の電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で電池パックの容量が減少していきます。

長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときには、新しい別売りの電池パック (P.143ページ) に交換してください。

- 1 電池カバーを外して、電池パックを取り外す
電池パックを取り外すと、子機の時刻登録が消えます。
- 2 新しい電池パックを入れる
「電池パックをセットして子機を充電する」 (P.30～31 ページ) の操作 ②～④で、新しい電池パックを入れて 10 時間以上充電してください。



■ 電池パックのリサイクルご協力のお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。
 - この商品またはニッケル水素電池をお買い求めになった販売店または当社の取扱所
 - (社) 電池工業会小型二次電池再資源化推進センタ、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ
事務局詳しくは、(社) 電池工業会ホームページ「<http://www.baj.or.jp/>」をご覧ください。
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - 外装カバー (被覆・チューブなど) をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。

操作ガイド

操作ガイド

3 を押すと、基本的なファクスの送受信の方法やエラー表示についての説明がディスプレイに表示されます。

操作ガイドの目次画面

液晶操作ガイド	
知りたい項目を選んで 決定 を押してください	①②③ファクスの基本的な送受信操作
①ファクスを送るとき	④⑤受信データの確認／プリント操作
②ファクスを受けるとき	⑥コピーの操作
③子機でファクスを受けるには	⑦エラー対応
④「受信FAXがあります」	⑧交換用インクリボンのご案内
⑤受信FAXを印刷する	
⑥北-をする	
⑦エラー表示のとき	
⑧交換用インクリボンの型番	

■ 操作ガイドで使用するボタンについて



：項目の選択



：項目の決定



○(目次へ)：目次画面を表示



○(中止)：操作ガイドの表示をやめる



○(次ページ)：次の画面を表示



○(おわり)：操作ガイドの表示をやめる



○(前ページ)：ひとつ前の画面を表示

■ 画面にメッセージが表示されているときは



図のように、待受画面に操作ガイドと表示されているときに

操作ガイド



を押すと、対応を案内する操作ガイドが表示されます。

目次画面を表示したいときは ○(目次へ) を押してください。

メッセージが表示されていないときに

操作ガイド



を押すと、目次画面

から表示します

日付と時刻・自分の番号・名前を登録する

親機には日付と時刻、自分の番号や名前を登録することができます。
電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。あらためて設定してください（☎25ページ）。
子機には時刻や子機の名前を登録することができます。

親機の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わせるときは、次の操作を行います。

- 途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：
- 数字を入れまちがえたとき： でまちがえた数字まで戻り、あらためて入力する

子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるときは、次の操作を行います(親機とは別に設定が必要です)。

- 途中でやめるとき：
- 数字を入れまちがえたとき： でまちがえた数字を選び、あらためて入力する

あなたの電話番号を登録する(親機)

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

- 途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：
 - 番号を入れまちがえたとき： で消去してから、あらためて入力する
 - 登録した番号を消すとき： (登録) ▶ [消去]と表示されたら ▶
- 登録した番号を変更したいときも、一度消してからあらためて登録してください。

日付と時刻・自分の番号・名前を登録する

あなたの名前を登録する（親機）

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

○（登録）

1 あ

3 さ

1 あ ▶

名前を入力（☎54～55ページ）
（最大全角12文字／半角24文字）

< 発信元名 > [漢/かな]
友人

（続く）

（続き）▶



停止

途中でやめるとき： 停止

1つ前に戻るとき： ○（戻る）または ○（取消）

文字の入力方法：☎54～55ページ

登録した名前を消すとき： ○（登録）

1 あ

3 さ

2 か ▶

[消去]と表示されたら確認して

2 か ▶

停止

登録した名前を変更したいときも、一度消してからあらためて登録してください。

子機に表示する名前を登録する

登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。



電話帳転送
電池残量
▶システム設定

を選び



キータッチ音出力
クイック通話
▶使用者表示

を選び



（続く）

（続き）▶

名前を入力（☎54、56ページ）
（最大全角5文字／半角10文字）▶



途中でやめるとき：

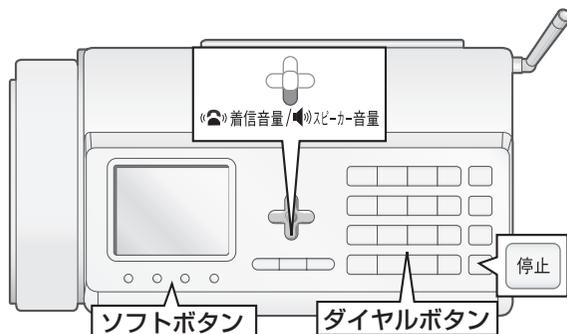
文字の入力方法：☎54、56ページ

お知らせ

- 時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 子機の電池パックのコネクタが外れたり、電池パックの容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度設定してください。

音の設定を変える

親機や子機から鳴る音の音量や音色などを設定できます。



親機の着信音の大きさを変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

受話器を置いたまま



押すごとに音量が大きくなります：5段階
最大の大きさの状態を押すと、最小の大きさに切り替わります

- ・はじめは [3段階目] に設定されています。

親機の着信音を鳴らさないようにする

受話器を置いたまま



「ピー」と鳴るまで押し続けて「鳴らさない」 /
もう一度押すと「鳴らす」

- ・「鳴らさない」にすると、ディスプレイに **着信音** が表示されます。

親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（9種類）。

○(登録)

3 さ 1 あ

<親機着信音選択>

- ①電話ベル音
- ②鳥の声
- ③電子音
- ④パッハのイガ^ンジョン
- ⑤ジュ・ト・ブ

(続く)

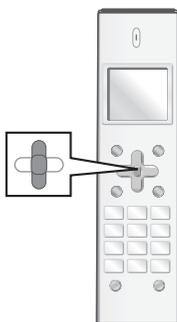
(続き) ▶

1 あ ~ 9 ら
で選ぶ

1	電話ベル音	6	シンフォニー 40番
2	鳥の声	7	ショートメロディ 1
3	電子音	8	ショートメロディ 2
4	パッハのインベンション	9	ショートメロディ 3
5	ジュ・ト・ブ		

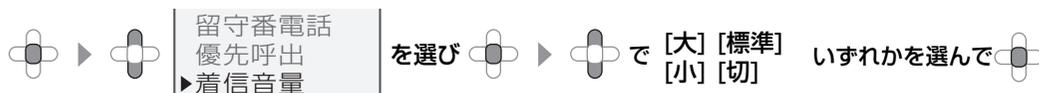
▶ 停止

- ・途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- ・設定した着信音を確認するとき：待受中に (着信音を途中で止めたいときは **停止** を押ししてください)



子機の着信音の大きさを変わる／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。



- ・途中でやめるとき：
- ・はじめは [標準] に設定されています。
- ・[切] にすると、ディスプレイに 着信音切 が表示されます。

子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（10種類）。



(続き) ▶ で選ぶ

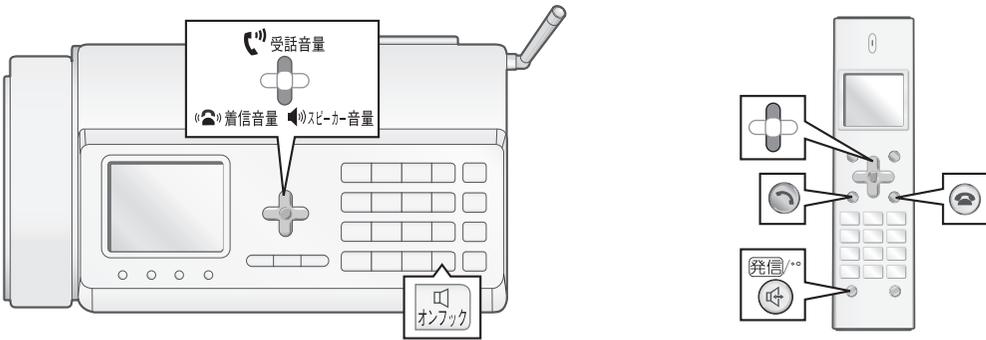
曲名はディスプレイには表示されません。音を聞きながら設定してください。

1	ブルルル ブルルル	6	ショートメロディ③
2	ポロロロ ポロロロ	7	ショートメロディ④
3	ピロン ピロン	8	ショートメロディ⑤
4	ショートメロディ①	9	ジムノペティ
5	ショートメロディ②	10	ジュピター

- ・途中でやめるとき：

お知らせ

- 子機の着信音は親機と同じタイミングでは鳴りません。電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。
- 「FAX優先」(☎ 75ページ) の設定にすると、親機の着信音は [電話ベル音] が鳴ります。
- 着信音を鳴らさない設定にしても、内線やドアホンからの着信音は親機では最小の音量、子機では [小] の音量で鳴ります。
- 優先呼出 (☎ 97ページ) を設定した子機の着信音量を [切] にしているときは、外から電話がかかっても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかっても着信音は鳴りません。



親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

通話中に  押すごとに音量が大きくなります：5段階
最大の大きさの状態を押すと、最小の大きさに切り替わります。

音量=小 ■ 大

- ・ はじめは [2段階目] に設定されています。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンスの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます(それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

 ▶  押すごとに音量が大きくなります。：5段階
最大の大きさの状態を押すと、最小の大きさに切り替わります。

音量=小 ■■■ 大



- ・ はじめは [3段階目] に設定されています。

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

通話中に  押すごとに音量が大きくなります。：4段階
最大の大きさの状態を押すと、最小の大きさに切り替わります。

音量 ■■■

- ・ はじめは [2段階目] に設定されています。
- ・ 聞こえにくいときは、さらに親機の設定で変更することもできます(☞ 39ページ「子機受話音量を調整する」)。

子機のスピーカー音量を変える

スピーカーホン通話中や録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。



押すごとに音量が大きくなります：4段階
最大の大きさの状態ですと、最小の大きさに
切り替わります。

音量 ■■■



- ・はじめは [2段階目] に設定されています。

子機の通話音質を変える

受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

通話中に 押すごとに [高い] (高音を強調する)
[低い] (低音を強調する) を切替
[標準]

- ・通話を終了すると [標準] に戻ります。
- ・[標準] を選ぶと、「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
- ・ を押したときに、[高い] [低い] [標準] が約5秒間表示されます。

■ 親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

○(登録) **2**か **1**あ ▶ **1**あ [小] / **2**か [標準] / **3**さ [大] ▶ 停止

■ 子機送話音量を調整する

子機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

○(登録) **2**か **2**か ▶ **1**あ [小] / **2**か [標準] / **3**さ [大] ▶ 停止

■ 子機受話音量を調整する

子機使用中、相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。

○(登録) **2**か **3**さ ▶ **1**あ [小] / **2**か [標準] / **3**さ [大] ▶ 停止

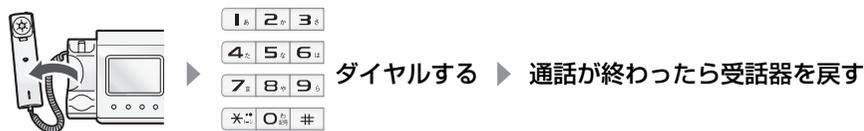
● お知らせ

- [回線調整] (☎ 135ページ) の設定を [小] にすると、親機・子機の送話音量、子機受話音量がすべて [小] に、[標準] にするとすべて [標準] に変更されます。

電話をかける・受ける・かけ直す



親機で電話をかける



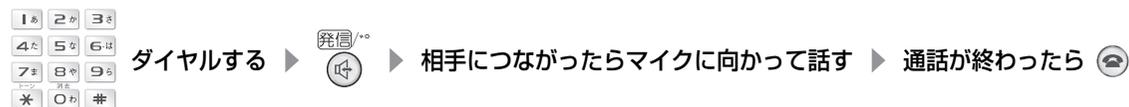
- ・ まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確認めたあと、正しくダイヤルしてください。
- ・ 押したボタンの番号を音声でお知らせすることができます（「読上げボイスダイヤル」参照96ページ）。
- ・ 通話中は、ディスプレイ左上におよその通話時間を表示します。

子機で電話をかける



- ・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

子機を持たずに電話をかける（スピーカーホン通話）



- ・ スピーカーホン通話中は、ディスプレイに [<SP通話中>] と表示されます。
- ・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。
- ・ マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
- ・ 通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてください（参照38～39ページ）。

お知らせ

- ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。
- 親機でコピーやプリントをしているときは、子機で電話を受けることも、かけることもできません。また、着信音も鳴りません。
- 子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがあります。そのままお使いになると、すぐに安定します。安定しないときは、お話ししている場所を移動するか、送話音量や受話音量を下げてください（参照38～39ページ）。

電話をかける・受ける・かけ直す

■ 受話器や子機を取らずに電話をかけるときは（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）

親機： を押してからダイヤル（受話器を取ると、通話できます）

子機： を、ディスプレイに [<受話通話中>] と表示されるまで3秒以上押してからダイヤル
（もう一度  を押すと、子機を持って通話できます。子機を充電器に置いているときは、充電器から取って  を押してください）

まちがいの電話を防ぐために「ツー」という音を確認めたあと、正しくダイヤルしてください。スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。

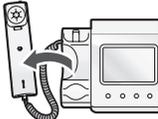
■ ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御 等）を利用することができます。

親機： を押してからダイヤル

子機： を押してからダイヤル

電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

親機で電話を受ける	子機で電話を受ける
 <p>通話が終わったら 受話器を戻す</p>	 <p>通話が終わったら 、 または充電器に戻す</p>

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

■ 着信音の大きさを変えるときは

親機の着信音の大きさを変える（ 36ページ）

子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする（ 37ページ）

■ 子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けるには（クイック通話 97ページ）

■ 通話中にお待たせするときは（保留）

親機： を押してから受話器を戻す／再び通話するときは受話器を取る

子機： /再び通話するときは  または 

■ ナンバー・ディスプレイの契約をすると……

●電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます（ 103ページ）

●子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、 を押すと、着信音を止めることができます。親機の着信音は鳴ります。

■ 子機で通話中、電波の状況がよくないときは（電波サポート設定）

電波サポートを「設定」にすると、改善される場合があります。

下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。

子機：通話中に    FAX受信
録音再生
▶電波サポート  を選び 

電波サポート設定を常に設定したいときは（電波サポート設定  97ページ）

親機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、最後にかけた番号が1件記憶されます。



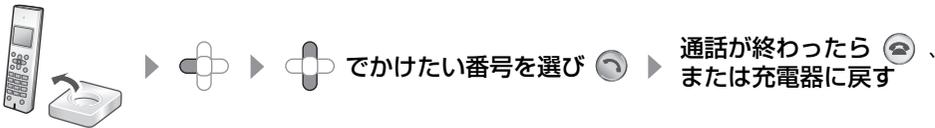
- ・ 親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- ・ まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確認したあと、再ダイヤルボタンを押してください。

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは



子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記憶されます。



- ・ 子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。
- ・ 途中でやめるとき：

■ 子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは



(続き) ▶ 名前を入力 (☎54、56ページ) して ▶ 読みを確認して (続く)

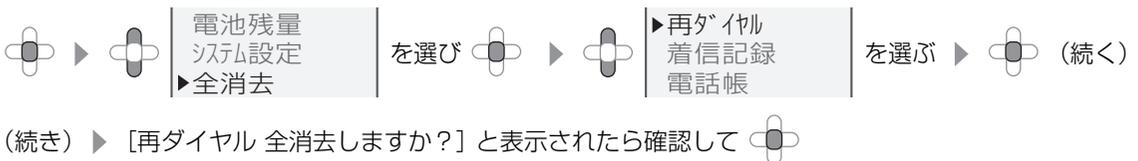
(続き) ▶ 第1番号を確認して ▶ 第2番号を入力 (省略可) して

■ 子機の再ダイヤルを1件ずつ消去するときは



(続き) ▶ [消去しますか?] と表示されたら確認して

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは



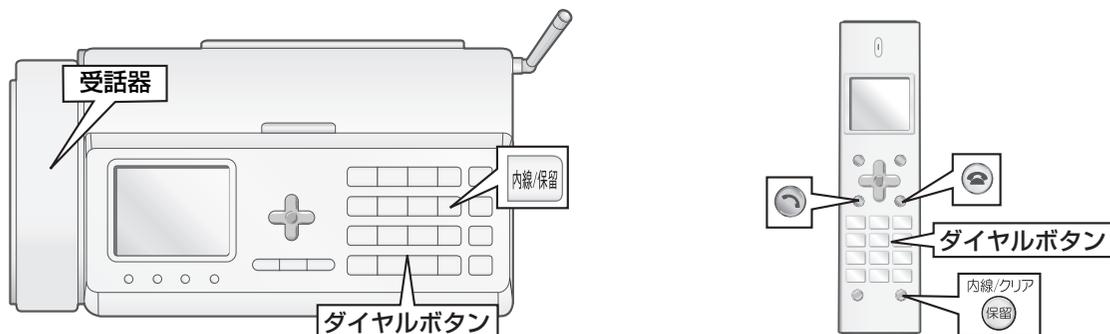
(続き) ▶ [再ダイヤル 全消去しますか?] と表示されたら確認して

● お知らせ

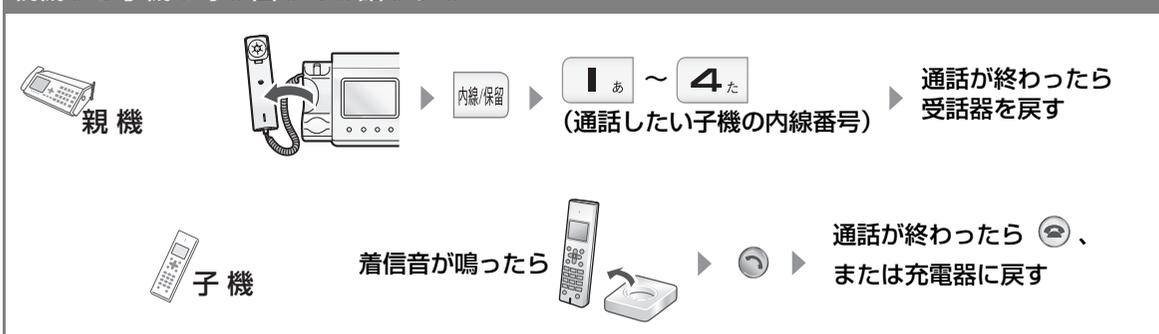
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

親機と子機、子機と子機の間でお話することができます。通話料はかかりません。



親機から子機を呼び出してお話しする



・登録されているすべての子機を呼び出すとき：受話器を取って 内線/保留 ▶ *

■ 内線通話に出られないときは

親機では、呼び出し音が鳴っているときに 停止

子機では、呼び出し音が鳴っているときに

呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は、「ピピピピ」と鳴って終了します。

■ 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が聞こえます。

親機で話すには

受話器を戻す ▶ 受話器を取る

子機で話すには

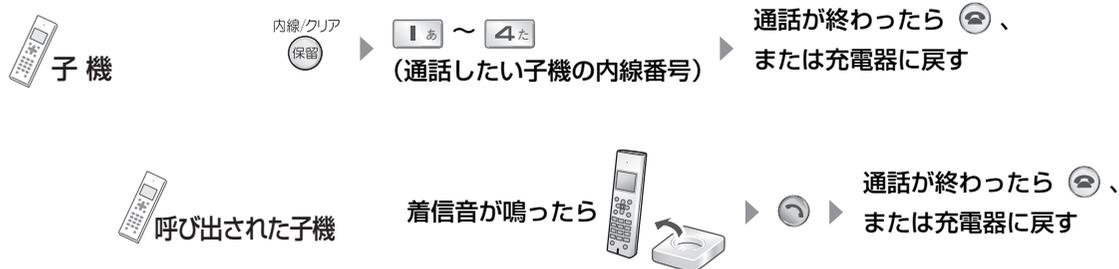
▶ 子機の着信音が鳴ったら

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

子機から親機を呼び出してお話する



子機と子機の間でお話する



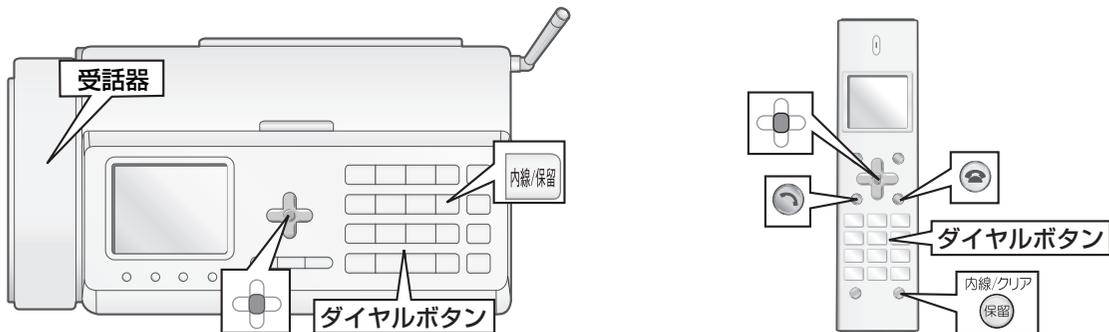
- ・途中でやめるとき: [電話機]
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、子機で内線通話をしようとした場合、相手の子機がユーザー登録（☞35ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、[電話機] で通話したい子機の利用者名を選んで [電話機] を押してください。
- ・子機と子機の間での内線通話は親機を通して行われますので、子機と子機が近くても、どちらかが親機から離れているときは、通話できないことがあります。
- ・どちらの子機からも通話をやめることができます。
- ・相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

📞お知らせ

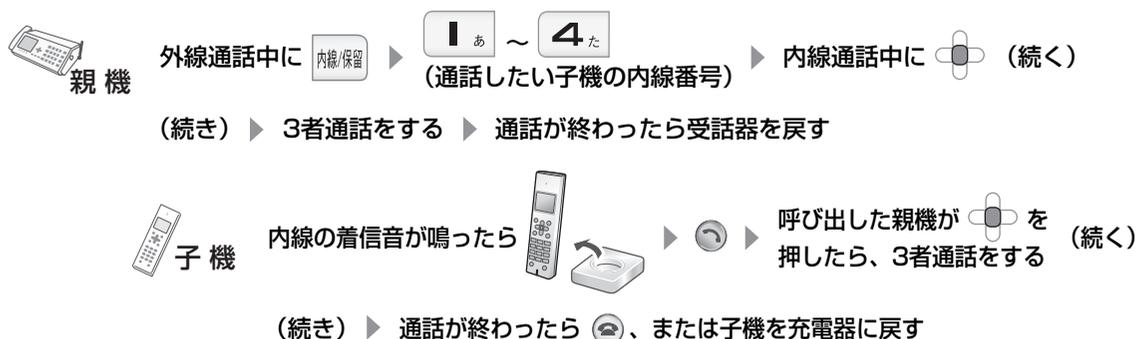
- 内線通話では、保留はできません。
- 子機では、内線通話中に [発信] を押して、スピーカーホンで通話することができます。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は [小] の大きさで鳴ります。
- 親機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。

3人で電話でお話する（3者通話）

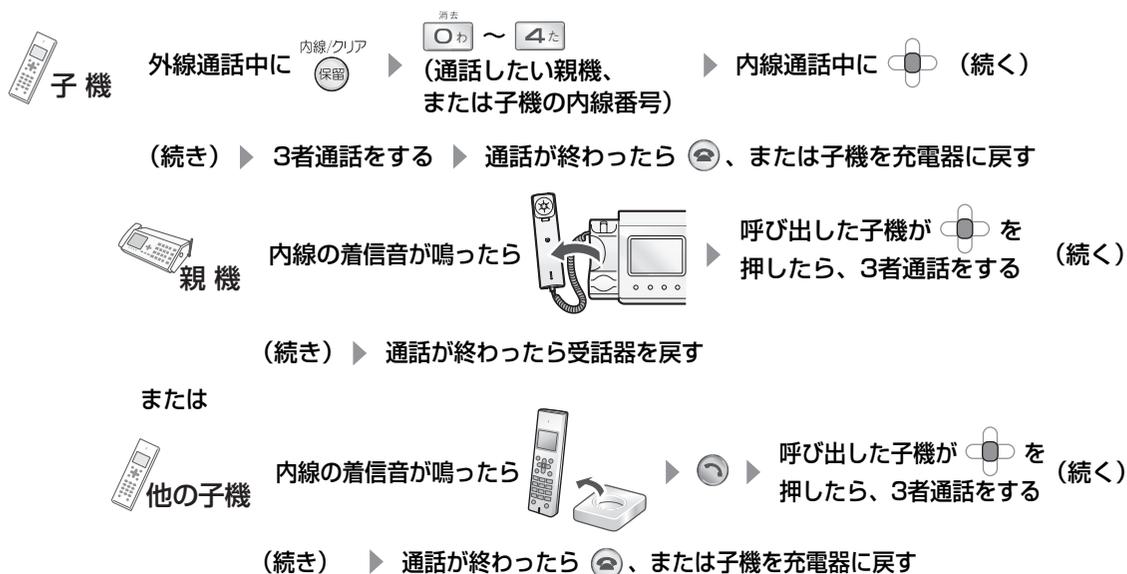
内線電話と外の相手との3人でお話しすることができます。



親機で通話中に内線で呼び出して3者通話する



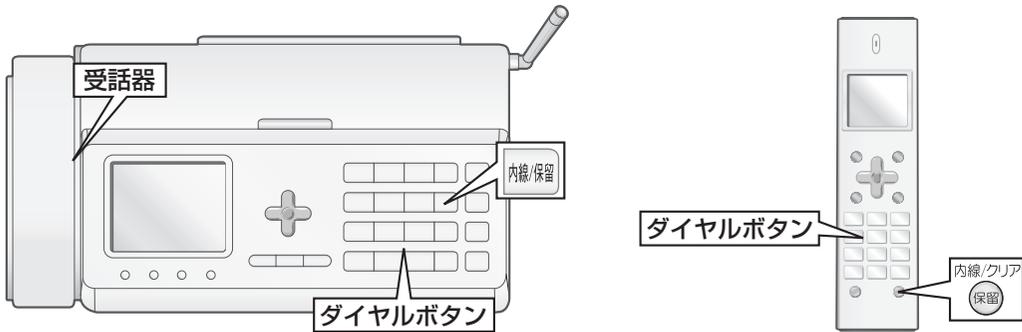
子機で通話中に内線で呼び出して3者通話する



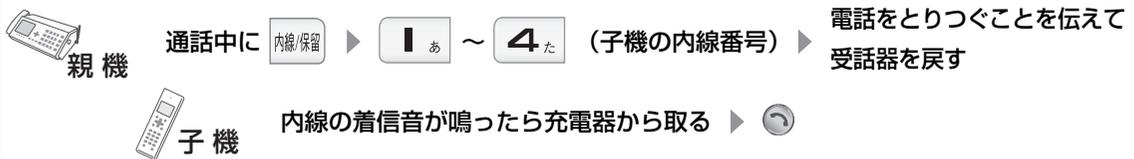
- ・ 親機の内線番号は (0わ) です。
- ・ 呼び出された親機で を押しても、3者通話はできません。また、呼び出された子機で を押しても、3者通話はできません。
- ・ 親機または子機のどちらかが通話をやめても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、保留を行うことができません。どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

外の相手からの電話を、内線通話を使って他の方にとりつぐことができます。

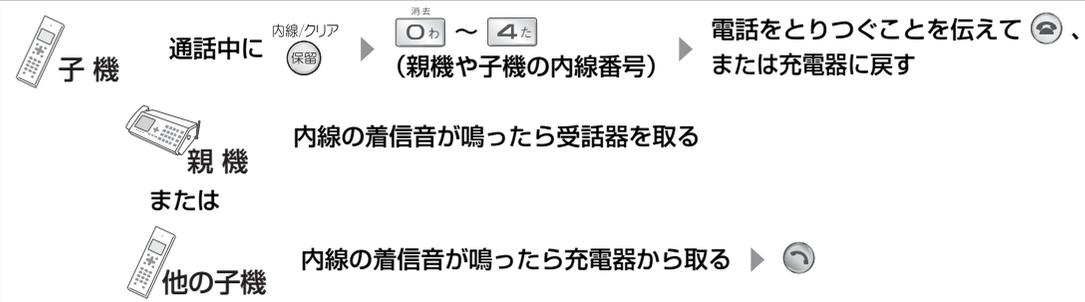


親機から子機へ電話をとりつぐ



- ・ 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- ・ 続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- ・ 増設されているすべての子機を呼び出すとき：内線/保留 ▶ ***トーン**
- ・ 呼出中、または通話中に親機で外線通話に戻るとき：内線/保留 を2回押す

子機から、親機や他の子機へ電話をとりつぐ



- ・ 呼出中、または通話中に外線通話に戻るとき：内線/クリア 保留 を2回押す。または 内線/クリア 保留 ▶ ☎

■ 電話を自分ひとりでとりつぐときは（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。また、複数の子機をお使いのときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へ：親機で通話中に 内線/保留 ▶ 受話器を戻す ▶ 子機を充電器から取って ☎

子機から親機へ：子機で通話中に 内線/クリア 保留 ▶ ☎ または充電器に戻す ▶ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る

子機から他の子機へ：子機で通話中に 内線/クリア 保留 ▶ ☎ または充電器に戻す ▶ 他の子機を充電器から取って ☎

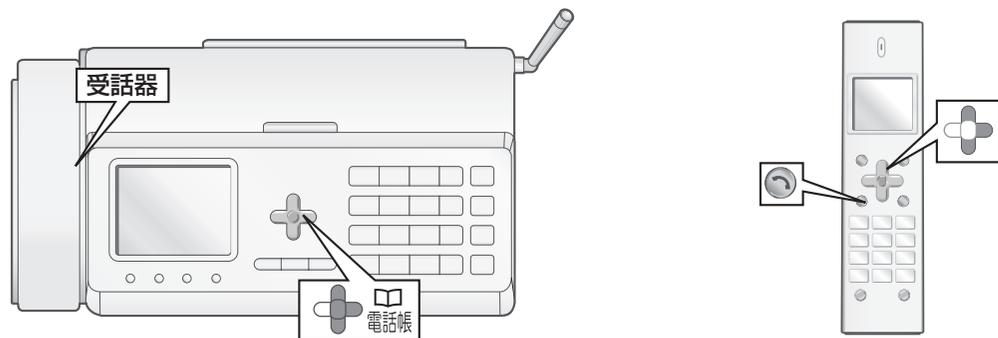
📞 お知らせ

- 着信音を鳴らさない設定にしても、内線からの着信音は「ブルルル、ブルルル」と鳴ります。
- 子機から親機へひとり転送をしたとき、親機から鳴る着信音は「ブルルル」と鳴ります。

電話帳で電話をかける

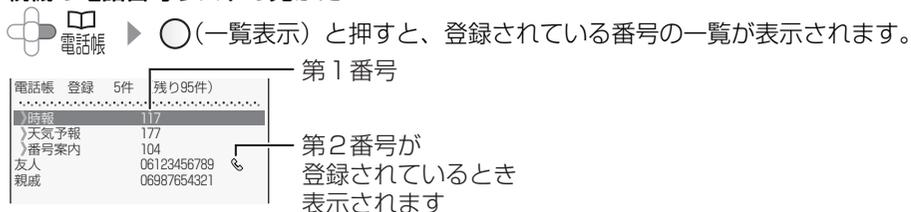
よく使う相手先を電話帳に登録しておく、かんたんな操作で電話をかけることができます。

●電話帳登録 親機 50ページ / 子機 52ページ

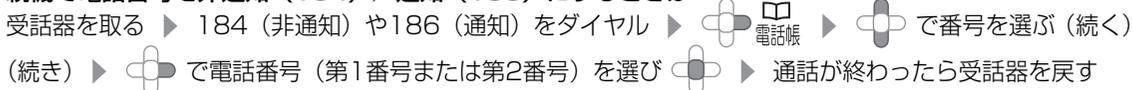


- ・ 第1番号に電話をかけるときは、 で相手の方を選んだあと、そのまま を押ししてください。
- ・ 途中でやめるとき：相手先選択中 ▶ 停止 / 通話中 ▶ 受話器を戻す

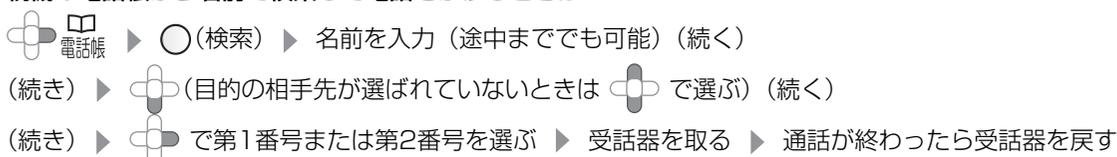
■ 親機の電話番号リストの見かた



■ 親機で電話番号を非通知 (184) / 通知 (186) にするときは



■ 親機の電話帳から名前で検索して電話をかけるときは



■ 親機で33ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます (チェーンダイヤル機能)。



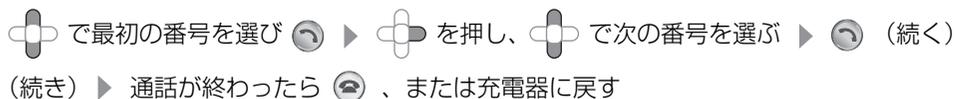
子機の電話帳でかける



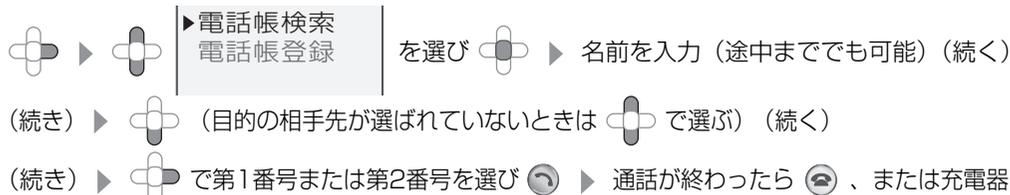
- 途中でやめるとき： ☎
- 第1番号に電話をかけるときは、☎ で相手の方を選んだあと、そのまま ☎ を押ししてください。
- 第2番号を登録しているときは、ディスプレイの右下に [第2▶] と表示されます。

■ 子機で25ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます(チェーンダイヤル機能)。

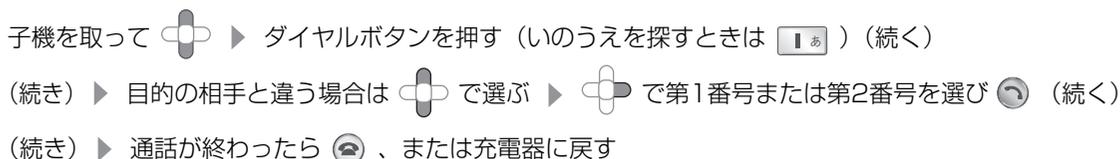


■ 子機で電話帳から名前で検索して電話をかけるときは



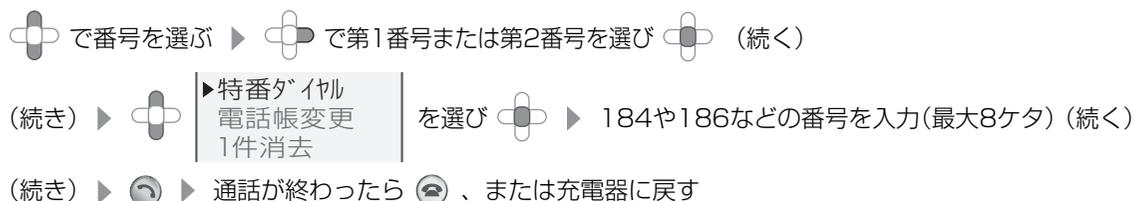
■ 子機で名前の頭文字から検索してかけるときは

ダイヤルボタンを使って、あ行、か行などの行単位でおおまかに検索します。



■ 子機で184(非通知)や186(通知)をつけて電話をかけるときは

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

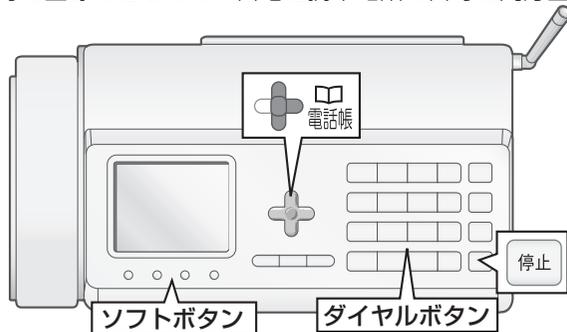


🌀お知らせ

- 電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字(0~9)→英字(A~Z)→カナ(50音順)
- 親機でコピー中、プリント中、録音データ保存中のときは、子機で電話をかけることはできません。

電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。1人につき2つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。



親機の電話帳に登録する

○(登録) **6**は **1**あ ▶ **名前を入力**
(最大全角10文字／半角20文字) ▶ (続く)

(続き) ▶ **読みを確認し、**
正しければ ▶ **第1番号を入力**
(最大32ケタ) ▶ (続く)

(続き) ▶ **第2番号を入力**
(最大32ケタ) ▶ 停止

- 途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る) または ○(取消)
- 文字の入力方法： 54～55ページ
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示 (103ページ) や着信鳴り分け (109ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。
- 名前や第2番号の入力を省略するとき：入力画面が表示されたら、何も入力せずにそのまま (続く) 名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されます。
- 電話帳 ▶ ○(新規登録) と押して、電話帳の登録画面を表示することもできます。

親機の電話帳を修正する

電話帳 ▶ で相手先を選ぶ ▶ ○(詳細表示) ▶ ○(修正) ▶ (続く)

(続き) ▶ **名前を修正して** ▶ **読みを修正して** ▶ **第1番号を修正して** ▶ (続く)

(続き) ▶ **第2番号を修正して** ▶ 停止

- 途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る) または ○(取消)
- 修正しない項目：修正せずにそのまま (続く)

親機の電話帳を消去する

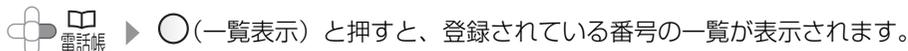


- 途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： **○**(戻る)
- 電話帳消去の操作を行うと、登録した1人分の名前、第1番号、第2番号がすべて消去されます。第1番号または第2番号だけを消去したいときは、修正 (☞ 50ページ) から番号の部分だけを消去してください。

■ 登録した内容を確認するときは



■ 電話帳リストの見かた



電話帳 登録 5件 残り95件)	第1番号
電話帳 177	
)天気予報 177	
)番号案内 104	第2番号が登録されているとき表示されます
友人 06123456789	
親戚 06987654321	

電話番号リストの表示中に **○**(新規登録) を押すと、電話帳に新しい相手先を登録することができます。
○(新規登録) を押したあとは、「親機の電話帳に登録する」(☞ 50ページ) の操作をしてください。

■ 親機の電話帳の内容をプリントするときは

記録紙をセットして、

○(登録) ▶ **9**ら **2**か **2**か ▶ プリント開始

電話帳 ▶ **コピー/印刷** と押して、プリントすることもできます。

■ 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは (☞ 58ページ)

■ 親機のポーズについて

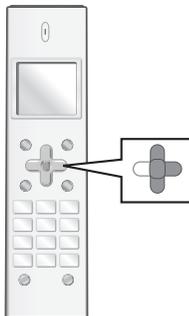
- 電話番号の入力時に **ダイヤル** を押すと、約3秒間の待ち時間(ポーズ)ができます。ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ディスプレイには- (ハイフン) で表示されます。
- 電話帳でハイフンを表示するためにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがありますので、おすすめできません。

■ 親機の電話帳をすべて消去するときは (☞ 132ページ)

● お知らせ

- 親機の電話帳には、あらかじめ [☞ 時報 117]、[☞ 天気予報 177]、[☞ 番号案内 104] の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。
- まちがい電話を防ぐため、番号を電話帳に登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます (☞ 108ページ)。

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、1台につき最大100人分の番号を登録できます。

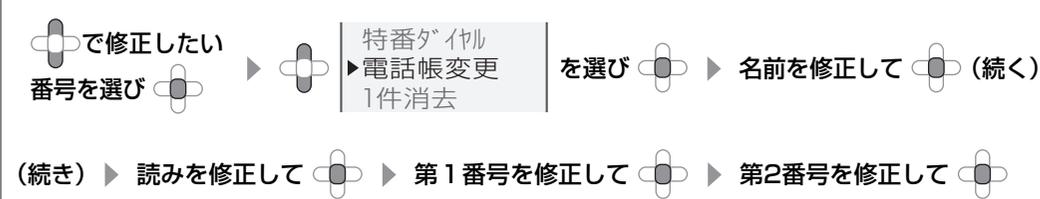


子機の電話帳に登録する



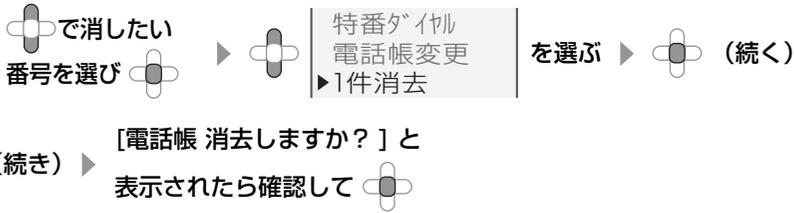
- ・途中でやめるとき：☎
- ・文字の入力方法：☎ 54、56ページ
- ・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示（☎ 103ページ）や着信鳴り分け（☎ 109ページ）をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。
- ・名前や第2番号の入力を省略するとき：入力画面が表示されたら、何も入力せずにそのまま ☎ 名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されます。

子機の電話帳を修正する



- ・途中でやめるとき：☎
- ・修正しない項目：修正せずにそのまま ☎

子機の電話帳を選んで消去する



途中でやめるとき：

- 子機の電話帳に登録した内容をすべて消去するには (☞ 132ページ)
- 子機で登録した電話帳の内容を親機に転送するときは (☞ 59ページ)
- 子機のポーズについて
 - 電話番号の入力時に を押し、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
 - ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
 - ディスプレイには_ (アンダーバー) で表示されます。

お知らせ

- 子機の電話帳には、あらかじめ [≫時報 117] と [≫天気予報 177] の2件の番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。
- まちがい電話を防ぐため、番号を電話帳に登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます (☞ 108ページ)。

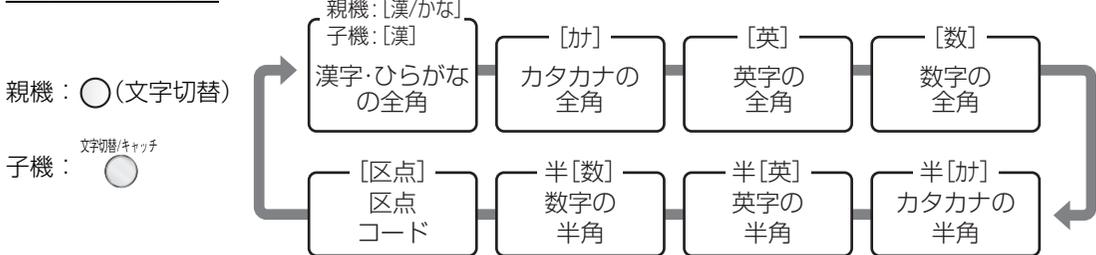
文字を入力する

入力モードを切り替えることによって、親機では[漢/かな]/[か]/[英]/[数]/半[か]/半[英]/半[数]/[区点]の8種類が、子機では[漢]/[か]/[英]/[数]/半[か]/半[英]/半[数]/[区点]の8種類が入力できます。文字の入力は、ダイヤルボタンで行います。

●親機や子機で入力できる文字：☎55～56ページ

文字入力のしかた

入力モードを選ぶ



▶ ダイヤルボタンで文字を入力

・ ボタンを押すごとに文字が切り替わります ([数]では1ボタンにつき1文字)。

例：[か]モードの (親機) / (子機) の場合 $\text{ア} \rightarrow \text{イ} \rightarrow \text{ウ} \rightarrow \text{エ} \rightarrow \text{オ} \rightarrow \text{ア} \rightarrow \text{イ} \rightarrow \text{ウ} \rightarrow \text{エ} \rightarrow \text{オ}$

・ 「イエ」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、 (親機) / (子機) を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

(入力例)

<p>親機</p> <p>[漢/かな] (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)</p> <p>ゆ う じ ん</p> <p>ひらがなのまま入力 → (採用) を押す</p> <p>漢字に変換して入力 → ① (変換) または を押す ② 「友人」が表示されたら (採用) を押す</p> <hr/> <p>[か] 半[か] (2回) (3回) (2回) (1回) (3回)</p> <p>ユ ウ ジ ャン</p> <hr/> <p>[英] 半[英] (2回) (1回) (1回) (1回)</p> <p>N T T</p> <hr/> <p>[数] 半[数] (2回) (3回) (2回)</p> <p>1 2 3</p> <hr/> <p>[区点] 区点コード4567の「翼」を入力するとき (2回) (3回) (2回) (3回)</p> <p>4 た 5 な 6 は 7 ま</p> <p>→ 「翼」が入力されます。</p>	<p>子機</p> <p>[漢] (2回) (3回) (2回) (3回)</p> <p>ゆ う じ ん</p> <p>ひらがなのまま入力 → を押す</p> <p>漢字に変換して入力 → ① を押して選ぶ ② 「友人」が表示されたら を押す</p> <hr/> <p>[か] 半[か] (2回) (3回) (2回) (3回)</p> <p>ユ ウ ジ ャン</p> <hr/> <p>[英] 半[英] (2回) (1回) (1回)</p> <p>N T T</p> <hr/> <p>[数] 半[数] (2回) (3回) (2回)</p> <p>1 2 3</p> <hr/> <p>[区点] 区点コード4567の「翼」を入力するとき (2回) (3回) (2回) (3回)</p> <p>4 た 5 な 6 は 7 ま</p> <p>→ 「翼」が入力されます。</p>
---	---

■ 文字を消すには

親機：○(取消) (カーソルの1つ前を消去/カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去)

※すべての文字を一度に消すことはできません。

子機： (内線/クリア) (カーソルの1つ前の文字を消去/カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去/2秒以上押し続けると、すべての文字を消去)

■ 文字を入れ直すには

訂正したい文字を消去してから、あらためて入力してください。

文字入力一覧表（親機）

入力モード 入力ボタン	全 角				半 角			全 角
	ひらがな [漢/かな]	カタカナ [か]	英 字 [英]	数字 [数]	カタカナ 半[か]	英字 半[英]	数字 半[数]	区点 コード [区点]
1 あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	@ . / - _	1	アイウエ アイウエ	@ ./ - _	1	※1
2 か	かきくけこ	カキクケコ	ABC a b c	2	かきく カキク	ABC	2	
3 さ	さしすせそ	サシスセソ	DEF d e f	3	サシス サシス	DEF	3	
4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI g h i	4	タチツ タチツ	GHI	4	
5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL j k l	5	ナニヌ ナニヌ	JKL	5	
6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO m n o	6	ハヒフ ハヒフ	MNO	6	
7 ま	まみむめも	マミムメモ	PQRS p q r s	7	マミム マミム	PQRS	7	
8 や	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV t u v	8	ヤユヨ ヤユヨ	TUV	8	
9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ w x y z	9	ラリル ラリル	WXYZ	9	
0 わ 記号	わをん □ (スペース) □ □	ワヲン □ (スペース) □ □	□ : ! ? & □ □ □ □ □ □ (スペース)	0	ワヲン □ (スペース)	□ : ! ? & □ □ □ □ □ □ (スペース)	0	
* 点 ←	濁点/半濁点 ※2		無効	*	濁点/ 半濁点 ※2	無効	*	無効
# →	無効			#	無効		#	無効
	カーソル左右移動							
	かな漢字変換	無効						
○(変換)	かな漢字変換	無効（非表示）						
○(取消)	1文字消去							
○(文字切替)	文字の種類切り替え							

※1：区点コードについては137～138ページをご覧ください。

※2：濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

文字入力一覧表（子機）

入力モード 入力ボタン	全 角				半 角			全 角
	ひらがな [漢]	カタカナ [か]	英 字 [英]	数字 [数]	カタカナ 半[か]	英字 半[英]	数字 半[数]	区点 コード [区点]
1 あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	@ . / - _	1	アイウ アイウ	@ ./ -	1	※ 1
2 か	かきくけこ	カキクケコ	ABC a b c	2	カキケコ	ABC	2	
3 さ	さしすせそ	サシスセソ	DEF d e f	3	サシセソ	DEF	3	
4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI g h i	4	タチツト ッ	GHI	4	
5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL j k l	5	ナニネノ	JKL	5	
6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO m n o	6	ハヒフホ	MNO	6	
7 ま	まみむめも	マミムメモ	PQRS p q r s	7	マミムエ	PQRS	7	
8 や	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV t u v	8	ヤユヨ ヤユヨ	TUV	8	
9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ w x y z	9	ラリルロ	WXYZ	9	
消去 O わ	わをん □ (スペース) □ □	ワヲン □ (スペース) □ □	□ □ ! ? & □ □ □ □ □ (スペース)	0	ワヲン □ (スペース)	□ □ ! ? & □ □ □ □ □ (スペース)	0	
トーン *	無効			*	無効		*	無効
#	無効			#	無効		#	無効
発音 [※] 叫	濁点/半濁点 ※2		無効	無効	濁点/ 半濁点 ※2	無効	無効	無効
	カーソル左右移動							
	かな漢字変換/ カーソル上下 移動	カーソル上下移動						
内線/クリア 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、全ての文字を消去）							
文字切替/キャッチ	文字の種類の変更							

※ 1 : 区点コードについては137~138ページをご覧ください。

※ 2 : 濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押ししてください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

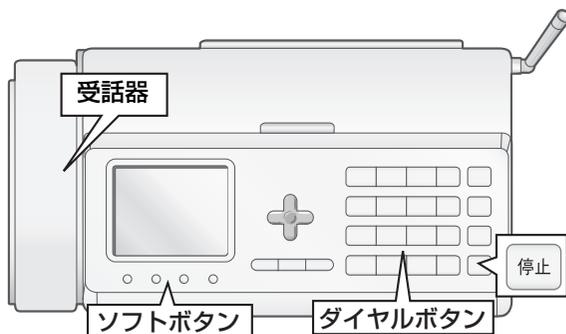
電話帳
留守番

電話

文字を入力する

ワンタッチダイヤルを使う（親機）

よく電話をかける相手の方を、電話帳からワンタッチダイヤル（3件、親機のみ）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルに登録したい相手先は、あらかじめ電話帳に登録（☎50ページ）しておいてください。



ワンタッチダイヤルに番号を登録する

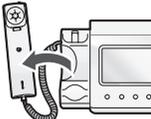
○(登録) **6**は **2**か ▶ **1**あ ~ **3**さ で番号を登録
したいワンタッチダイヤルを選ぶ (続く)

＜ワンタッチダイヤル登録＞
①ワンタッチ1
②ワンタッチ2
③ワンタッチ3

(続き) ▶ **1**あ ▶ **+**登録したい相手先を選び **+**▶ 停止

途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

ワンタッチダイヤルで電話をかける

 ▶ ○(ボタン切替) ▶ ○(ワンタッチ1,2,3のいずれか) ▶ 通話が終わったら受話器を戻す

■ 途中でやめるとき：受話器を戻す

■ ワンタッチダイヤルの登録を消すときは

○(登録) **6**は **2**か ▶ **1**あ ~ **3**さ で消去したいワンタッチダイヤルを選ぶ (続く)

(続き) ▶ **2**か ▶ [消去]と表示されたら、確認して **2**か ▶ 停止

■ ワンタッチダイヤルの登録を変更するときは

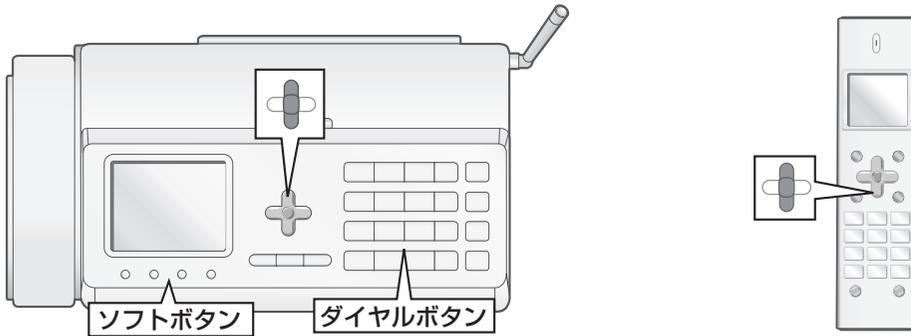
ワンタッチダイヤルボタンに登録されている番号を消去して、別の番号をあらためて登録してください。

●お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録した元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。
- ワンタッチダイヤルには第1番号が登録されます。第2番号を登録することはできません。

親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると、電話帳の内容が子機の電話帳に追加されます。また、子機から親機へ転送すると、電話帳の内容が親機の電話帳に追加されます。



親機の電話帳を子機に転送する

○(登録) ▶ 6は 3さ (続く)

(続き)

すべて転送するとき: 1あ

1件ずつ転送するとき:
2か ▶ で選んで

<全件転送>

- ①子機1へ転送
- ②子機2へ転送
- ③子機3へ転送
- ④子機4へ転送

<1件毎転送>

- ①子機1へ転送
- ②子機2へ転送
- ③子機3へ転送
- ④子機4へ転送

1あ ~ 4た
(転送する子機の番号)

・途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: ○(戻る)

■ [転送できないデータがあります 操作を続けますか?] と表示されたときは
この表示は親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。

を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

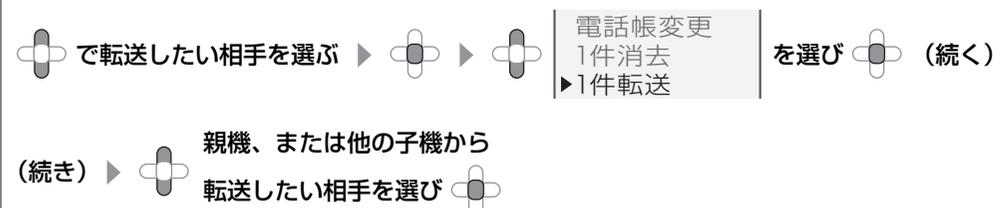
親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

子機の電話帳をすべて転送する



- ・途中でやめるとき：
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（ 35 ページ）をしている場合は、その名前が表示されます。
- ・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。

子機の電話帳を1件ずつ転送する



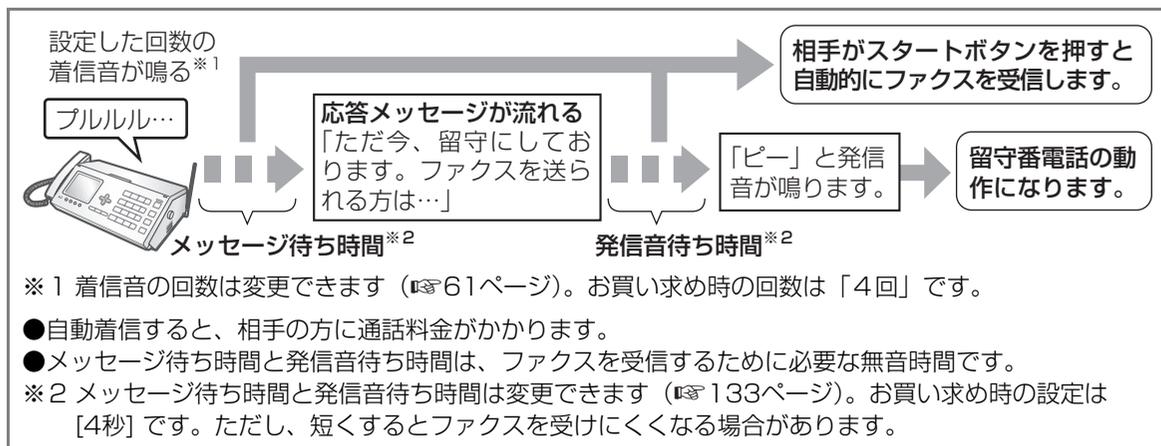
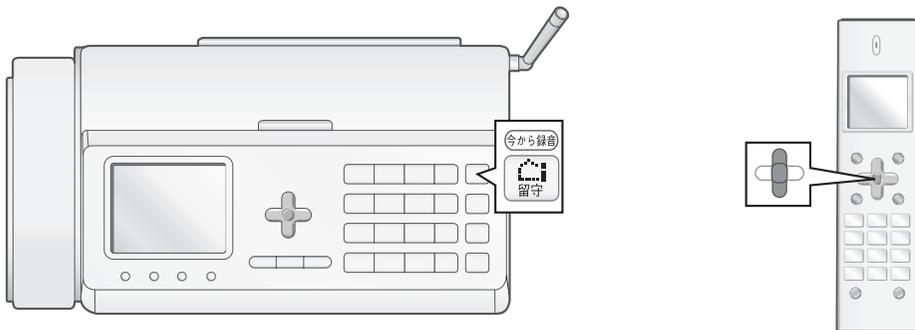
- ・途中でやめるとき：
- ・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。

お知らせ

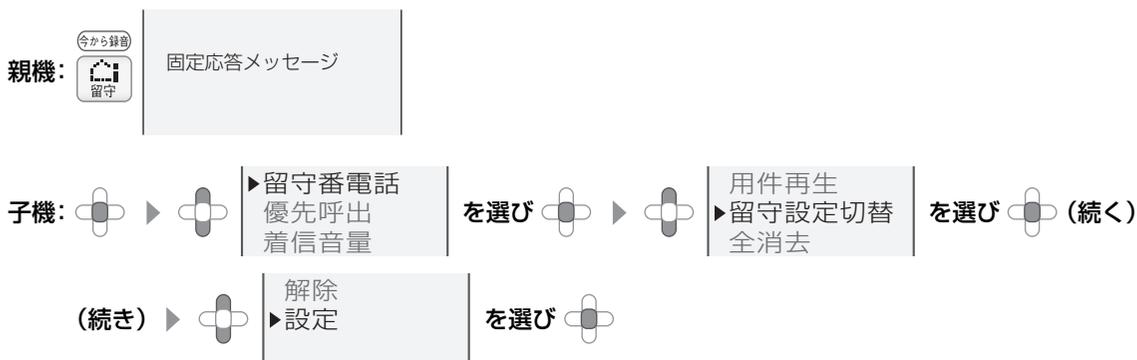
- 子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがいない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、充電器の電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 名前の先頭が“)”ではじまっている電話番号（天気予報、時報、番号案内）は、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
- 転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。
- 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 読みと電話番号が同じデータをすでに登録している場合は、転送されません。

留守に設定する / 解除する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。相手の方の用件は、1件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」☎133ページ）。すべての録音を合わせて、最大約15分間または、30件までです。



留守に設定する



- ・ 固定応答メッセージが流れ、親機の が点灯し、子機のディスプレイには [留守] と表示されます。
- ・ 録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り〇分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージを変更する

留守番電話設定中に、相手の方に流す応答メッセージを変更できます。
最初は [固定メッセージ1] に設定されています。



途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき：

固定応答メッセージ

留守に設定しているとき、相手の方に流れる固定応答メッセージの一覧です。
上記操作で [固定メッセージ2] を選択すると、「ただ今、留守にしております。」の部分が「ただ今、電話に出ることができません。」に変わります。留守であることを知られたくないときなどは、「固定応答メッセージ2」、またはオリジナルメッセージをお使いください。

通常

固定メッセージ1：

「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」

固定メッセージ2：

「ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」

ファクス受信できるが、録音できないとき

「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。」

録音はできるが、ファクス受信できないとき（記録紙受信時、インクリボンがないときなど）

「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」

ファクス受信も録音もできないとき（見てからプリントやメモリー受信設定時にメモリー不足になったときなど）

着信音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直してください。」（3回）
※ただし、リモート操作（☎ 102ページ）の暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ 自分で応答メッセージ（オリジナルメッセージ）を録音するときは（☎ 63ページ）

■ 応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）



■ 留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（「お声拝聴」 ☎ 133ページ）

■ 留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは

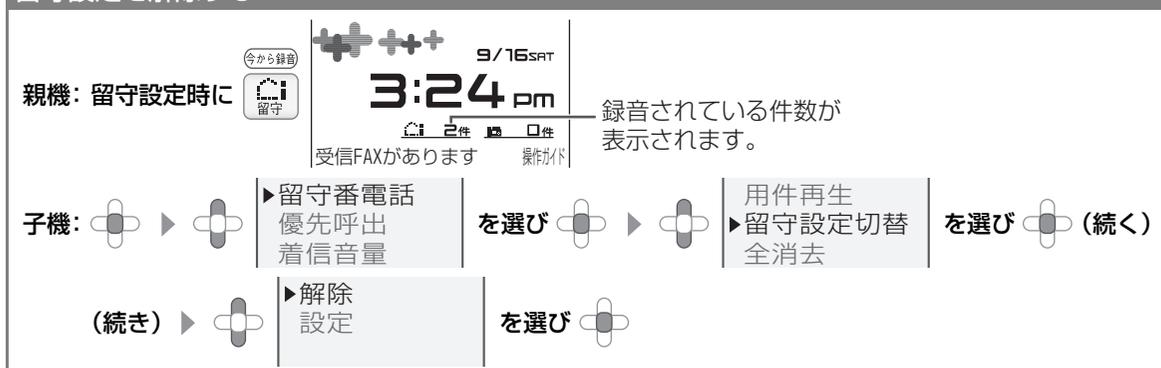


[トールセーバー] に設定しておく、外出先から電話をかけたとき、応答メッセージが流れるまでの着信音の回数で、新しい用件が入っているかを確認できます。3回目の着信音が鳴った場合はメッセージが録音されていないので、そのまま電話を切れば通話料はかかりません。

メッセージがあるとき：着信音2回で着信／メッセージがないとき：着信音5回で着信

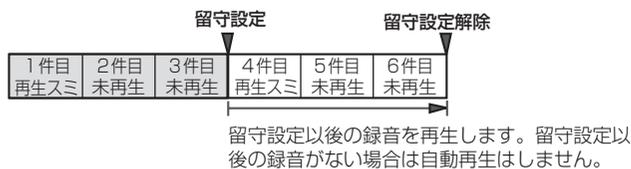
ナンバー・ディスプレイ（☎ 103ページ）を契約していないときは、ナンバー・ディスプレイ設定（☎ 103ページ）を [使用しない] にしてください。「トールセーバー」が設定した回数で正しく働かないことがあります。

留守設定を解除する



- ・留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、留守ボタンが点滅します。留守を解除すると消灯します。
- ・親機で留守を解除すると、留守設定以後の録音内容を自動的に1回再生します。
- ・子機で留守を解除すると、留守設定以後に録音があっても再生しません(親機の留守ボタンの点滅も消えません)。
- ・再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます(☎65ページ)。
- ・録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

■ 留守設定以降の再生について



■ 留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に点滅(1回ずつの点滅)しているときは、新しく入れた録音があります(子機ディスプレイには[<新着:XX件>]と表示されます)。また、「今から録音」、「戻って録音」、留守録、伝言メモが入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、点滅(2回続けての点滅)しているときは、まだ再生していない(未再生)録音(「今から録音」、「戻って録音」、留守録、伝言メモ)があります。再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くとときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生/消去する」(☎64ページ)の操作をします。

■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには(☎64ページ)

■ 再生中の操作について(☎65ページ)

■ 親機のディスプレイに[受信FAXがあります]と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示(☎76ページ)すると、[受信FAXがあります]の表示が消えます。また、[\[戻ってプリント\]](#)も消灯します。



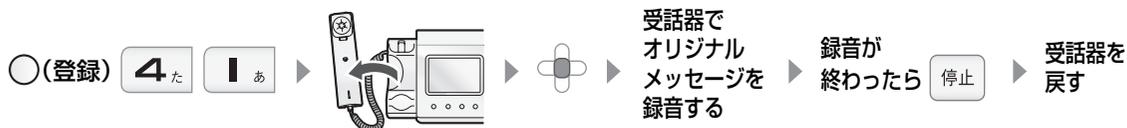
● お知らせ

- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります(ファクス受信可能な場合のみ)。
- 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください(☎65ページ)。
- 留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。メモリー残量が少なくなると、あらたに録音やファクス受信ができなくなりますので、不要な用件は消去してください。
- [録音データ保存中 しばらくお待ちください]と表示しているときは、録音した内容をメモリーに保存しています。このときは電話の着信以外の操作はできません。また、このときの親機の着信音は[電話ベル音]になります。子機の着信音は鳴りません。
- 応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます（オリジナルメッセージ）。

親機でオリジナルメッセージを録音する



・途中でやめるとき：

■ オリジナルメッセージの内容を聞くときは

■ オリジナルメッセージを消すときは

■ 固定メッセージに戻すときは

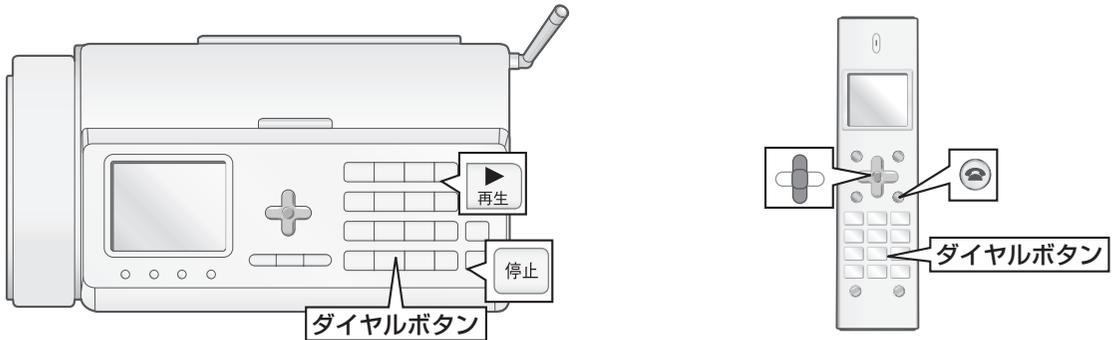
録音したオリジナルメッセージを消す（自動的に変更されます）

📞 お知らせ

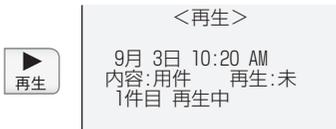
- オリジナルメッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。
- オリジナルメッセージを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定メッセージに切り替わります（☎61ページ）。記録紙やインクリボンを設定して受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。
- 画面に [受信/録音メモリー不足] と表示されているときは録音できません。不要な録音などを消去するか、受信ファクスを印刷してください（☎65、78ページ）。

録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」、「メモ録音」）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生できます。



親機で録音内容を再生する



再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。
再生を途中でやめるときは **停止**

子機で録音内容を再生する



再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。
(続き) ▶ 再生を途中でやめるときは **停止**

- ・ 録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
- 留守設定にしていなときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- ・ 録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

■ 通話中に録音内容を再生するには (☎ 95ページ)

■ 再生中に電話がかかってきたら

着信音が鳴ると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

録音されている内容を再生／消去する

再生中にできる操作について	
再生を途中でやめる	次の録音にとばす
再生中に (親機) (子機)	再生中に (親機) (子機) (子機)
早聞きや遅聞きをする (親機)	早聞きをする (子機)
再生中に (親機) ・ 押すたびに、再生の速さが「速い」→「遅い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。	再生中に (子機) ・ 押すたびに、再生の速さが「速い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。
再生中の録音を聞き直す	1つ前の録音に戻す
再生中に (親機) (子機)	3秒以上再生したあと (親機) を2回続けて押す (子機) ・ 聞きたい録音まで戻すときは、 (親機) または (子機) を繰り返し押します (1回押すごとに1つ戻ります)。
再生中の録音を1件消去するには	
親機：消したい録音を再生中に (2回)	
子機：消したい録音を再生中に (2回)	

録音をすべて消去するには

親機： (親機) ▶ (親機) ▶ [一般録音 全消去] と表示されたら確認して (親機)

子機： (子機) ▶ (子機) ▶ (子機) を選ぶ ▶ (子機) ▶ (子機) ▶ (子機) を選ぶ (続く)

(続き) ▶ (子機) ▶ [用件 全消去しますか?] と表示されたら確認して (子機)

親機の録音メモリの残量を確認するには (FAX/録音メモリー残量表示)

(親機) ▶ (親機) ▶ (親機) ▶ 確認したら (親機)

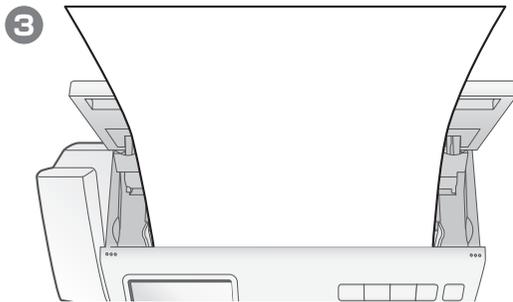
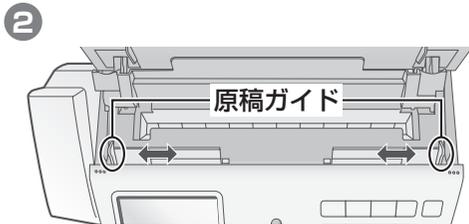
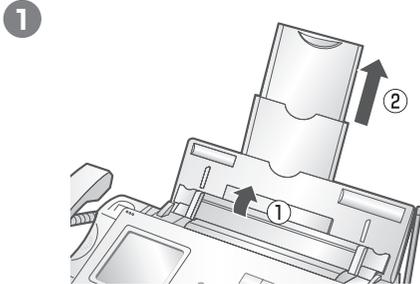
お知らせ

- 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。
- 録音と受信FAXは同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音メッセージを消去する、または受信FAXをプリントするなどしてください。

ファクスを送る

親機でお話してからファクスを送る

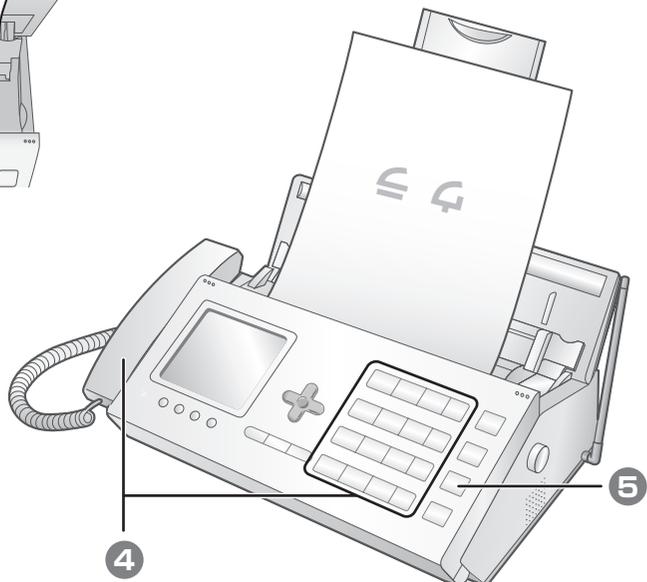
親機で電話をかけて、相手の方とお話してからファクスを送るときの操作です。



- 1 記録紙トレイを開け、延長トレイを引き出す
- 2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる
- 3 原稿をセットする
原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます (☎68ページ)。
- 4 受話器を取ってダイヤルする
- 5 電話が繋がったら、**FAX** スタート を押して受話器を戻す

原稿は**ウラ**向きに！
コピーや送信する面を下にして
セットする（一度に5枚まで）

原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。



- ・途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す / 送信中は **停止**（原稿が残った状態になります）
- ・まちがいの電話を防ぐために「ツー」という音を確認したあと、正しくダイヤルしてください。
- ・6枚以上の原稿があるとき：一度にセットできるのは5枚までです。読み取りが終わったら、その分の枚数を、セットされている原稿の一番上に追加してください。
- ・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（「おまかせ送信とは」 ☎67ページ）。
- ・相手の方が自動でファクスを受信する設定にしていると、受話器から「ピー」という音が聞こえます。



親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

原稿をセットする (☎66ページ ① ~ ③) ▶ ▶ 「ツー」という音が聞こえたらダイヤルする ▶ (送信が始まる)

- 途中でやめるとき：送信前は / 送信中は (原稿が残った状態になります)
- まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

■ 子機でファクスを送るときは

親機に原稿をセットしておき、子機で電話をかけたあと、

相手にファクスを送ることを伝えて ▶ ▶ を選び ▶ 子機を戻す

■ 原稿を取り出すときは

一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く ▶ (登録) (原稿が排出される)
排出されないときは、「原稿がつまったときは」(☎118ページ)を参考にして取り除いてください。

■ 「通信エラーがありました。」と聞こえたら (☎128ページ)

■ 海外へファクスを送るときは

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。

■ ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは (☎96ページ)

■ おまかせ送信とは

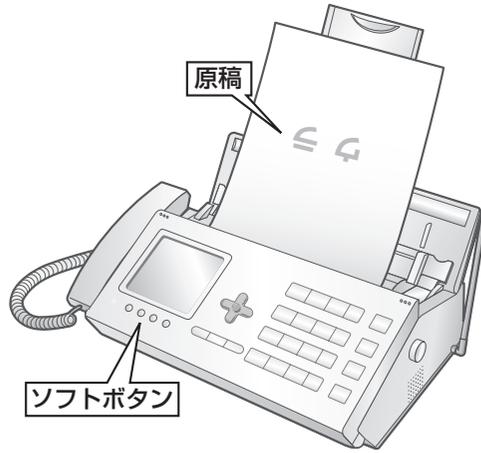
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音(ファクス受信音)が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

※ お使いの環境などによっては、おまかせ送信が働かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは 、子機をお使いのときは上記「子機でファクスを送るときは」の操作を行って送信してください。

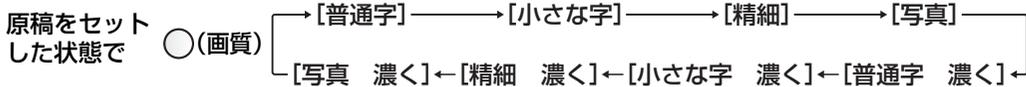
● お知らせ

- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- 本商品では、自動的にファクスを送り直すことはできません。
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎66ページ)の方法で送信してください。
- 相手の方が自動受信(音声応答なしの場合)に設定されていると、こちら側には「ピー」という音が聞こえます。



コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。



- ・ 押すごとに画質・濃度が変わります。
- ・ 画質を選ばなかった場合は、ファクス送信のときは [普通字]、コピーのときは [小さな字] に設定されます。

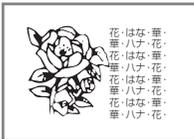
■ 選べる画質・濃度について

[普通字] [普通字 濃く]



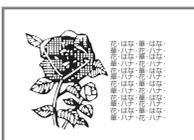
文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

[小さな字] [小さな字 濃く]



[普通字] の2倍の密度で読み取ります。文字が小さな字のときに選びます。画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

[精細] [精細 濃く]



[普通字] の4倍の密度で読み取ります。細かい線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。受信側に [精細] がないときは、自動的に [小さな字] に切り替わります。

[写真] [写真 濃く]



濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

※原稿の文字などが薄いときは、各画質の [濃く] を選びます。

使用できる原稿

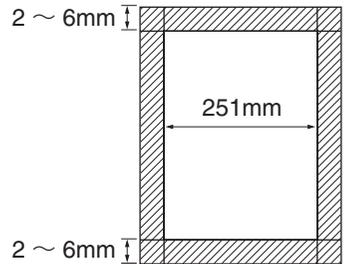
■ セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ~ 257mm / 長さ 128mm ~ 500mm / 厚さ 0.06mm ~ 0.18mm

●厚さの目安 新聞紙：約0.05~0.06mm 上質紙：約0.10mm 官製はがき：約0.23mm

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。
原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。



●最大読み取り幅
251mm

●最大読み取り長
送信原稿長(128~500mm)から上下とも2~6mmを引いた長さ

■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- 長さ364mmを超える原稿
- 厚さ0.12mm (90kg用紙…四六判 (788×1091mm) の用紙1,000枚の重量) を超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

- サイズが規定より小さすぎるもの (写真など)
- フィルム状のもの、透明のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの

■ 自動縮小機能について

ファクス送信のとき、原稿サイズがB4で、相手側の記録紙がA4サイズの場合は、自動的にA4サイズに縮小します。

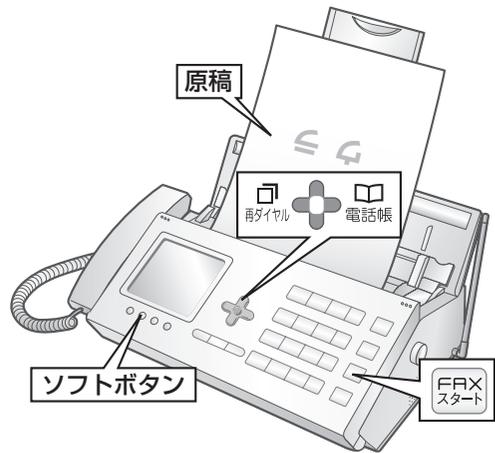
●お知らせ

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部 (ガラス) の汚れの原因になります。汚れたときは116、117ページをご覧ください。清掃してください。

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

電話帳やワンタッチダイヤルにファクス番号を登録(☎50、57ページ)しておくと、かんたんな操作でファクスを送ることができます。

また、相手の方がお話し中などでファクスを送り直すときは、再ダイヤルボタンを使ってかんたんにファクスを送ることができます。



電話帳でファクスを送る

原稿をセットする (☎66ページ ① ~ ③) ▶ 電話帳 ▶ で番号を選ぶ

<電話帳>	(続く)
友人 ▶09012345678 0611112222	

(続き) ▶ で第1番号、または第2番号を選ぶ ▶ または (送信が始まる)

ワンタッチダイヤルでファクスを送る

原稿をセットする (☎66ページ ① ~ ③) ▶ ○(ボタン切替) ▶ ○(ワンタッチ1、2、3のいずれか) ▶ 送信が始まる

再ダイヤルでファクスを送る

原稿をセットする (☎66ページ ① ~ ③) ▶ 再ダイヤル ▶ (送信が始まる)

- 途中でやめるとき:
- 画質を選ぶとき: ○(画質) (○(画質)を押さなかったときは、自動的に [普通字] で送信)
- 受話器を取ってファクスを送るときは、相手の方が受信操作したときに「ピー」という音が聞こえます。このあと を押して受話器を戻してください。

■ 「通信エラーがありました」と聞こえたら (☎128ページ)

■ 原稿が詰まったときは (☎118ページ)

■ 電話帳から名前を検索してファクスを送るときは

原稿をセットする(☎66ページ ① ~ ③) ▶ 電話帳 ▶ 名前の「読み」を入力(途中まででも可能) (続く)

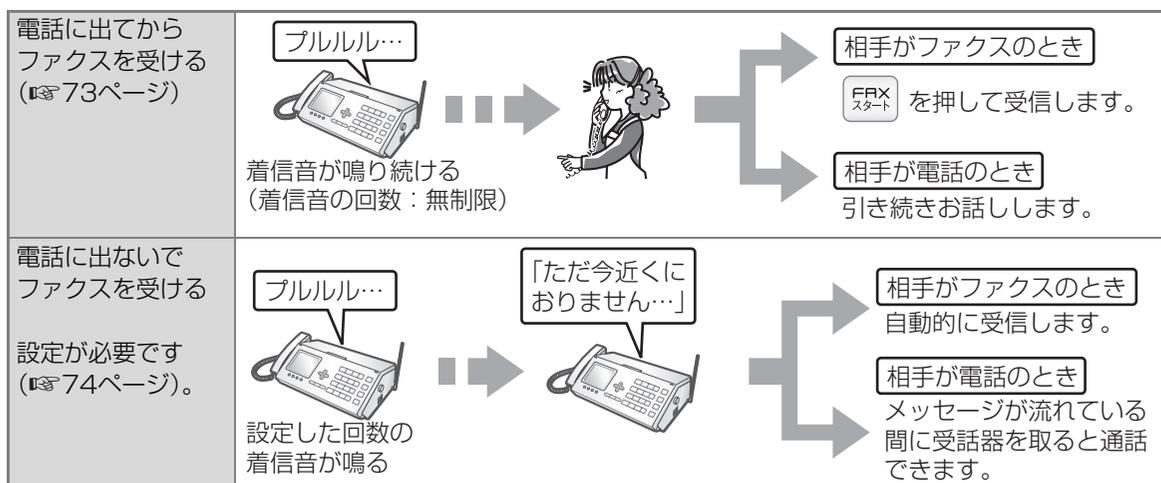
(続き) ▶ (目的の相手先が選ばれていないときは で選ぶ) (続く)

(続き) ▶ で第1番号、または第2番号を選び

●お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号(発信元番号)ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります(必要に応じて相手の方に確認してください)。
- 電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能(☎96ページ)は動きません。
- 自動送信がうまくいかないときは、「発信音検出」(☎134ページ)の設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。
- 本商品では、自動的にファクスを送り直すことはできません。

ファクスの受けかた



■ FAX優先、またはFAX専用にするには
設定が必要です (☎75ページ)。

FAX優先：

相手がファクスのときは、着信音を鳴らさず、自動的に受信します。

相手が電話のときは、着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。

FAX専用：

相手がファクスのときのみ、自動的に受信します。

※電話を受けることはできません。

ファクスを受信したときのプリントのしかた

ファクスを受信したときのプリントのしかたは、次の3通りです。お買い求め時は、**[見てからプリント]** に設定されています。

変更するときは「FAX受信方法」(☎96ページ) で設定します。

	機能名	動作説明	受信ができない場合
推奨します	見てからプリント (☎76~77ページ)	受信したファクスをディスプレイに表示させることができます。内容を確認してから、必要なファクスだけをプリントできるので、記録紙やインクリボンを節約できます。	受信したファクスは、メモリーに保存されますので、メモリーがいっぱいになると受信できません。また、自動的にプリントはしません。
推奨しません	メモリー受信	ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙にプリントします(あらかじめ記録紙をセットしている場合)。記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます。	メモリーがいっぱいになると受信できません。
	記録紙受信 (常に記録紙をセット)	ファクスを自動的に記録紙へプリントします。メモリーの量にかかわらずファクスを受信することができます。	記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。メモリー受信したものに比べて、横方向に筋が入るなど、少し画質が劣ることがあります。

メモリー受信とは

送られてきたファクスを直接記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

■ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿(英字で文字数が700字程度 of 原稿)を[普通字]で約50枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります(最大でも約60枚または30件までです)。受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

■ メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります([通信エラー(1~15)]と表示されます)。メモリー受信した内容をプリントまたは消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。

また、「FAX受信方法」(☎96ページ)の操作で[記録紙受信]に設定しておく、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

■ 親機のFAX/録音メモリーの残量を確認するには(FAX/録音メモリー残量表示)

○(登録) ▶ **8**や**5**な ▶ 確認したら 停止

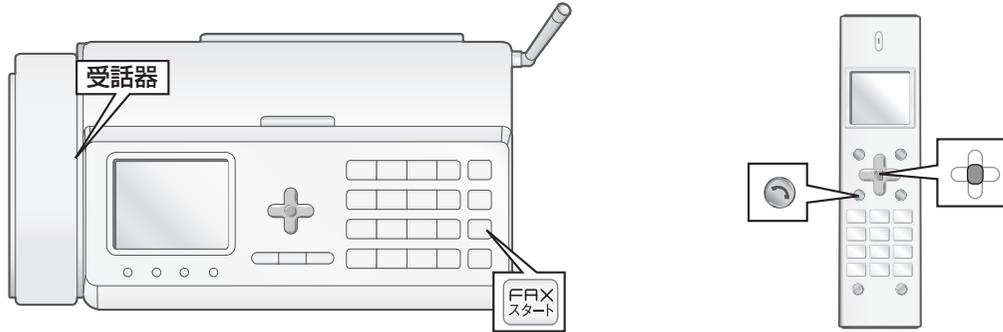
●お知らせ

- ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは「縮小受信」(☎134ページ)の設定を[なし]にします。ただし、[なし]に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に同じサイズにならない場合があります。

電話に出たらファクスを受ける

相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えることができます。

お買い求め時は、電話に出るまで呼び出しを続ける設定になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。



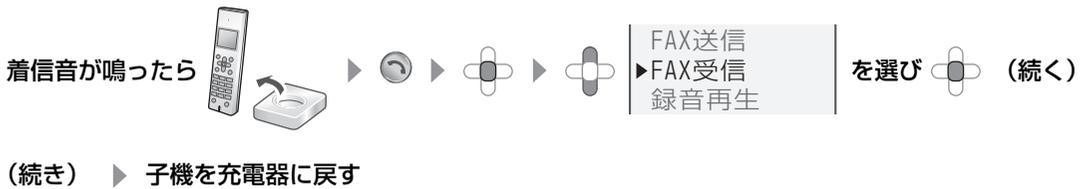
親機で電話に出たらファクスを受ける



- ・ 受話器を取るだけで本商品が自動受信することもあります（☎️下記「おまかせ受信について」）。
- ・ 原稿がセットされているときに **FAX スタート** を押すと送信になりますので、原稿はセットしないでください。

子機で電話に出たらファクスを受ける

相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えます。



■ おまかせ受信について

おまかせ受信とは、電話を受けたときに「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】※」とメッセージを流して自動的にファクスを受信する機能です。

解除するときは134ページをご覧ください。

※【 】内は受話器を取っているときのみ。

- こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。
- おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら **FAX スタート** (子機のときは

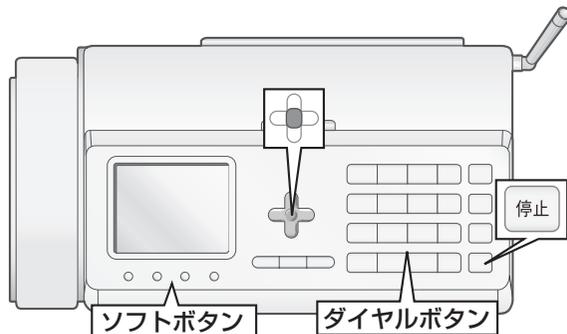


● お知らせ

- キャッチホンをご利用のときは、通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- プリント中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話してください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたときは、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを確認してから、親機、または子機のファクス受信操作を行ってください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

着信音の回数を設定すると、設定した回数の着信音が鳴ったあと、自動的にファクスを受けることができます。お買い求め時は[無制限呼出]（着信音が鳴り続ける設定）になっています。



着信音の回数を設定し、親機で電話に出ないでファクスを受ける

○(登録) **3** さ **2** か **1** あ ▶ **着信音の回数を入力 (01~25回)** ▶ **停止**

例: 6回 **0** わ **6** は ▶ **<回数選択>** 在宅時コール回数= 06回 ▶ **停止**

回数を設定しておく、下記のようにファクスを自動受信します。

着信音が鳴る ▶ **ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直してください。** ▶ **設定した回数の着信音が鳴り終わると自動的に応答メッセージが流れる** ▶ **「ポー・ポー…」という音を検出するとファクスを受信する**

・ 着信音が鳴っている間や、応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

■ [無制限呼出] になっているときは

着信音が鳴り続けます。

■ [無制限呼出] に戻すときは

○(登録) **3** さ **2** か **2** か ▶ **停止**

■ インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは

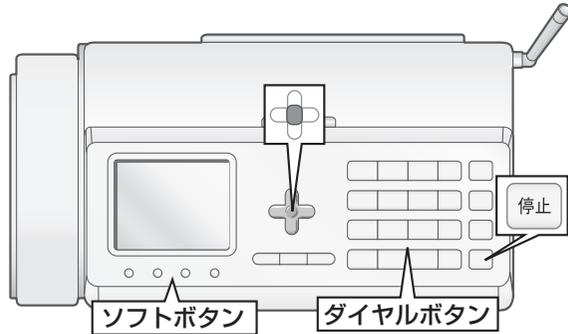
着信音が鳴り続けます。

●お知らせ

- 着信音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。
- 着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、本商品が自動受信しないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を6回以下に設定してください。
- 自動的にファクスを受信する設定にしていると、相手の方の受話口に「ピー」という音が鳴ります。
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、スタートボタンを押さなかった場合は、自動的に受信できません。こんなときは受話器を取ってから、**FXスタート**を押して受信してください。
- ナンバー・ディスプレイ (☎ 103 ページ) を契約していないときは、ナンバー・ディスプレイ設定 (☎ 103 ページ) を [使用しない] にしてください。設定した着信音の回数で自動受信できない場合があります。

FAX優先またはFAX専用にする（着信音を鳴らさずに受ける）

電話よりもファクスを受けることが多い方のために、電話の着信をFAX優先、またはFAX専用にすることができます。



FAX優先にする

FAX優先とは、いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断する機能です。ファクスを受信することが多い方におすすめの機能ですが、電話の場合は、こちらが不在でも相手側では2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。そのため、ファクスを受けることが少ない方にはおすすめできません。FAX優先に設定すると、ディスプレイに **FAX優先** と表示されます（留守設定時は無効になります）。

○(登録) ▶ **井** (4回) ▶ **2**か **4**た **1**あ (続く)

▶▶

(続き) ▶ 着信音の回数を入力 (04~25回)

現在 07(回) <回数選択>

▶ **+** ▶ 停止

・途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

FAX専用にする

FAX専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずに自動でファクス受信に切り替わる機能です。FAX専用を設定すると、ディスプレイに **FAX専用** と表示されます（留守設定時は無効になります）。

○(登録) ▶ **井** (4回) ▶ **2**か **4**た **2**か ▶ 停止

▶▶

- ・途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- ・ファクス受信後の終了音は鳴ります。鳴らしたくない場合は、終了音を [なし] に設定しておいてください（☎96ページ）。
- ・FAX専用を設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話できます。

FAX優先、またはFAX専用を解除する

○(登録) ▶ **井** (4回) ▶ **2**か **4**た **3**さ ▶ 停止

▶▶

・途中でやめるとき： **停止** / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

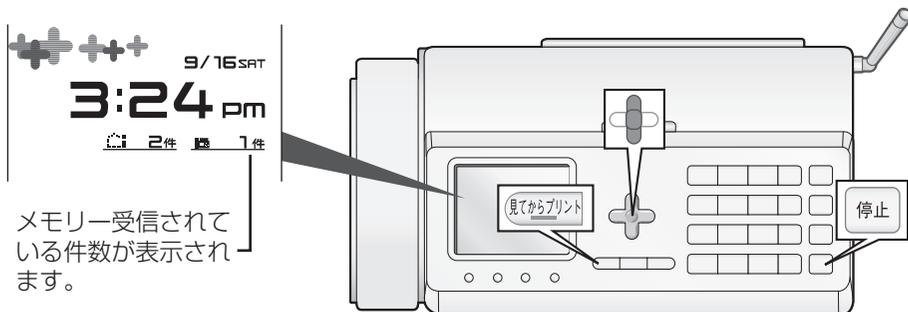
●お知らせ

- 選んで着信機能（☎112~113ページ）を設定しているときに、FAX優先またはFAX専用を設定すると、選んで着信機能は解除されます。
- FAX優先に設定していると、子機の優先呼出（☎97ページ）は無効になります。

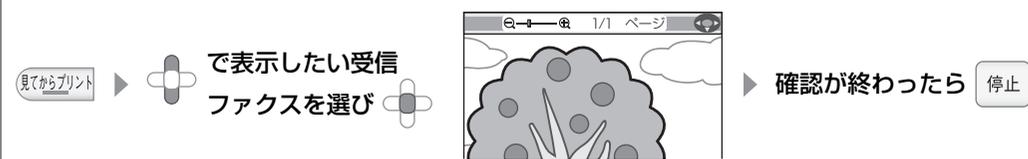
受信したファクスをディスプレイで見る (見てからプリント)

受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。メモリー受信したファクスがあるときは、ディスプレイに[受信FAXがあります]と表示され、**見てからプリント** のランプが点滅します。

「操作ガイド」の機能を使って、受信ファクスの確認方法を表示させることができます (P.33ページ)。



受信したファクスをディスプレイに表示する



- 途中でやめるとき:
- 表示した受信FAXの見かたについては、77ページをご覧ください。

■ 受信FAX一覧について

相手の番号または名前 (全角6文字、半角12文字まで)

受信枚数	受信日時	枚数	相手名	未済/済	確認済
5枚	9/16 10:34am	5枚	友人	未	済
1枚	9/16 10:26am	1枚	0612345678	未	済
3枚	9/15 9:17am	3枚	0687654321	未	済

未: 未確認
済: 確認済

受信情報 印刷ガイド 確認済消去 戻る

ボタンを押すと受信FAXの件数、未確認FAXの件数、メモリー残量(%)が表示されます。

ボタンを押すと確認済みのFAXを消去できます。

ボタンを押すと受信したFAXをプリントする方法が表示されます。

受信したファクスをディスプレイで見る（見てからプリント）

■ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約50枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。（最大でも約60枚または30件までです。）受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

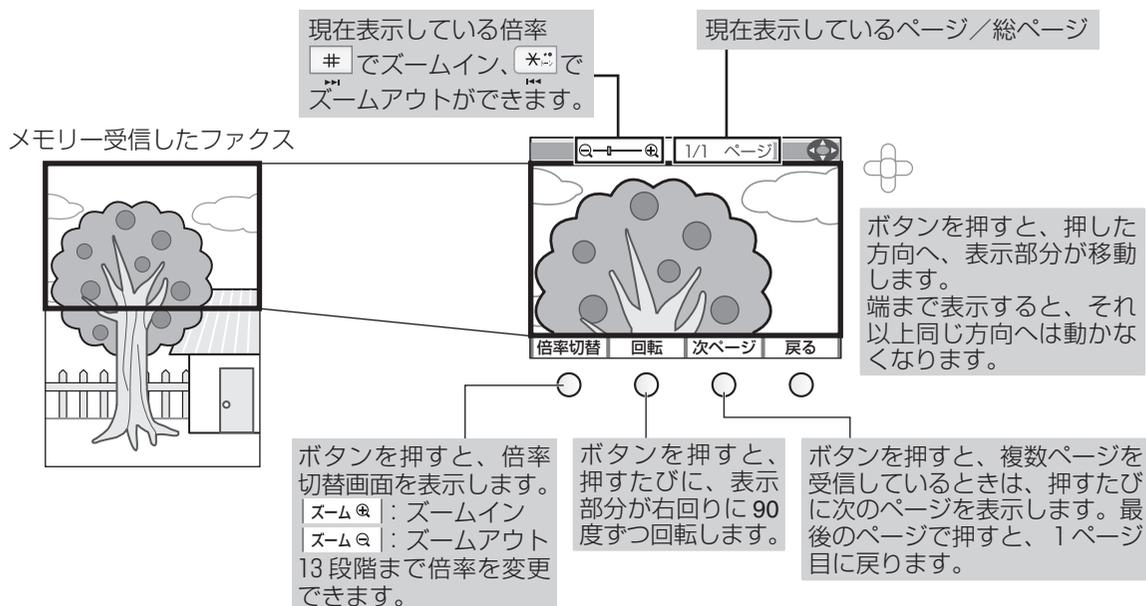
■ メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「通信エラー（1～15）」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。また、「FAX受信方法」（96ページ）の操作で「記録紙受信」に設定しておくこと、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

■ 表示したファクスの見かた

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。

表示している部分を上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。



■ 受信ファクスをプリントするときは（☎78ページ）

■ 受信ファクスを消去するときは（☎79ページ）

● お知らせ

- A4サイズの長さを超える受信ファクスは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、送信される方に2ページに分けて送信していただくことなどをご依頼ください。
- メモリー受信したファクスによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。
- ディスプレイの表示どおりに印刷されないことがあります。
- 「FAX受信方法」（96ページ）の操作で「メモリー受信」に設定したあと、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます（待受画面に「メモリー受信」と表示されます）。
- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 「倍率切替」や「回転」は、表示されるまで少し時間がかかります。
- 拡大／縮小表示中にコピー／印刷ボタンを押しても等倍でプリントします。
- 見てからプリントを操作しているときは、子機を使用することができません。

メモリー受信したファクスをプリント／消去する



プリントする

メモリー受信したファクスを、受信FAX一覧から選んでプリントすることができます。

記録紙をセットする
(☎ 29ページ)

見てからプリント

日付	時間	枚数	送信番号	着信
9/16	10:26am	1枚	0612345678	済
9/15	9:17am	3枚	0687654321	済

プリントしたい
受信ファクスを選ぶ

コピー
/印刷

- 途中でやめるとき： **停止**
- プリントした受信ファクスはメモリーから消えます。

■ 表示中の受信ファクスをプリントするときは

記録紙をセットして、

表示中に

コピー
/印刷

1 あ：すべてのページをプリント

2 か：表示中のページのみプリント

■ プリント中にインクリボンがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換 (☎ 27～28ページ) してください。

■ 受信FAX一覧の見かた (受信FAX一覧について ☎ 76ページ)

● お知らせ

- プリント中は、親機の着信音は設定した着信音ではなく、[電話ベル音] が鳴ります。
- プリント中は、子機で電話をかけた受けたりすることはできません。
- ディスプレイの表示どおりに印刷されないことがあります。

メモリー受信したファクスをプリント／消去する

消去する

見でからプリント ▶  削除したいファクスを選ぶ ▶ キャッチ/消去 (2回) ▶ 停止

・途中でやめるとき： 

■ 確認済みの受信ファクスを消去するときは

●  ▶ **4** た ▶ [確認済受信FAX 全消去] と表示されたら、確認して **2** か

● 受信FAX一覧で  (確認済消去) を押す ▶  (確認済消去)

もう一度[確認済消去]
を押すと選択中の受信FAX
データを消去します

■ すべての受信ファクスを消去するときは

 ▶ **3** さ ▶ [受信FAX 全消去] と表示されたら、確認して **2** か

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）を利用する

Fネットとは、NTTコミュニケーションズ株式会社のファクシミリ専用ネットワークです。Fネットに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。このサービスを利用するためには、NTTコミュニケーションズ株式会社との契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTTコミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。

一斉同報通信

1回のダイヤル操作で、10か所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。Fネットに事前登録された短縮ダイヤルを利用すれば、一度に最大10000か所までの同報通信が行えます。

自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

再コール・不達通知

相手先がお話し中だった場合、Fネットが2分間隔で5回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。

夜間配送指定通信

昼間Fネットへ原稿を送信し、夜間の割引時間帯にFネットから相手先への送信をすることができます。

ファクシミリ案内サービス

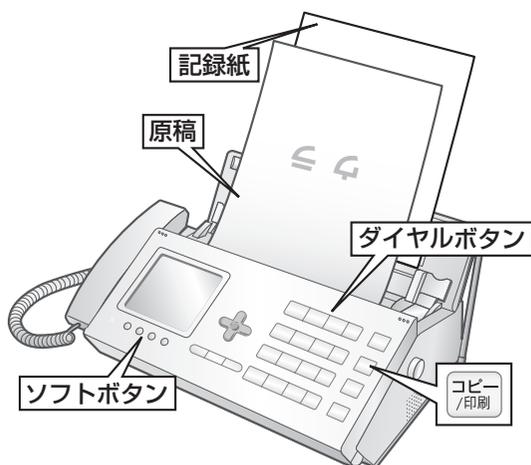
レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわるさまざまな情報が簡単に取り出せます。

●お知らせ

- この商品は16Hzでのみ対応しています。
- 電話帳ダイヤルを利用してFネットに対してファクスを送信するときには、Fネットの電話番号の161のあとに必ずポーズ（待ち時間）を2個以上挿入してください。

コピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。また、拡大／縮小コピーや、同じ原稿の複数枚（マルチ）コピーなどもできます。



等倍でコピーする

記録紙をセットする (☎29ページ) ▶ 原稿をセットする (☎66ページ ① ~ ③) ▶ コピー/印刷

- ・ 画質を選ぶとき：○(画質) (○(画質)を押さなかったときは、自動的に [小さな字] でコピー)
- ・ 途中でやめるとき： 停止 (コピーが中止され、記録紙と原稿が自動的に排出されます)

拡大／縮小／複数枚（マルチ）コピーする

記録紙をセットする (☎29ページ) ▶ 原稿をセットする (☎66ページ ① ~ ③) ▶ ○(登録) を押して 5な (続く)

- 1あ : [拡大 1.4倍] (約140%に拡大してコピー)
- (続き) ▶ 2か : [縮小 0.8倍] (約80%に縮小してコピー) ▶ コピー/印刷
- 3さ : [複数枚 コピー] (ダイヤルボタンで枚数を入力したあと)

- ・ 途中でやめるとき： 停止 (コピーが中止され、記録紙と原稿が自動的に排出されます)
- 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- ・ 拡大／縮小コピー終了後、等倍に戻ります。
- ・ 複数枚コピーは、最大5枚まで行うことができます。

■ コピーの途中で画質を切り替えるときは

コピー中に ○(画質) を押すと次のページから画質が切り替わります (コピー途中の原稿の画質を変えることはできません)。

■ 原稿が詰まったときは (☎118ページ)

■ 記録紙が詰まったときは (☎119ページ)

■ コピー終了時の音声を切り替えるときは (☎96ページ)

■ セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ~ 257mm / 長さ 128mm ~ 500mm / 厚さ 0.06mm ~ 0.18mm

- セットできる記録紙のサイズがA4サイズなので、B4サイズ of 原稿 (257mm×364mm) をコピーする場合は、A4サイズに縮小してコピーする必要があります。(縮小コピー ㊦ 81ページ)
- また、A4サイズの長さを超える原稿をA4サイズに分割してコピーすることができます。(分割コピー ㊦ 134ページ)
- 厚さの目安 新聞紙：約0.05~0.06mm 上質紙：約0.10mm 官製はがき：約0.23mm

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■ 法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。(通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。(外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律)
- 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。(郵便切手類模造等取締法)
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。(印紙等模造取締法)

■ コピー（複製）する場合に注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■ 著作権に注意するもの

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

● お知らせ

- 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- 通話中にコピーを始めることはできません。また、コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。
- コピー中は、親機の着信音は設定した着信音ではなく、[電話ベル音] が鳴ります。

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

固定電話から携帯電話への通話サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです（お申し込み手続きは不要です）。

利用方法

携帯電話番号の前に、事業者識別番号をつけてダイヤルしてください。

例：NTT西日本のサービスを利用する場合

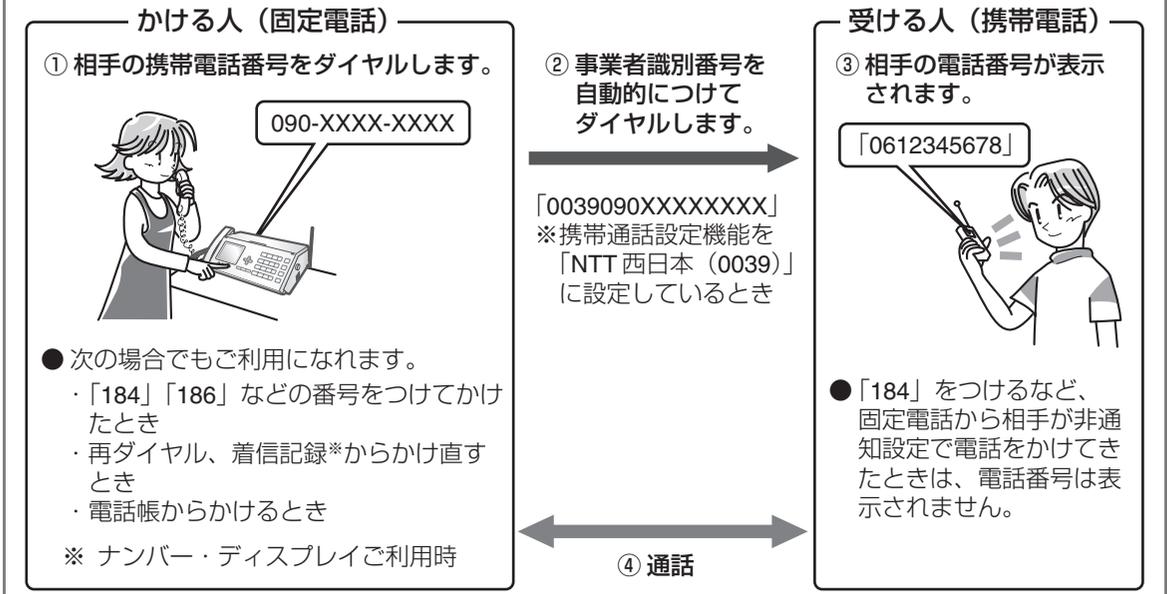


- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プランなどによっては、料金が異なります。各固定電話事業者へお問い合わせください。
- PHSへの通話をご利用いただけません。携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけません番号があります。
- 事業者識別番号をダイヤルしなかった場合は、従来どおり各携帯電話会社で設定する料金でのご利用となります。

携帯通話設定機能とは

本商品の「携帯通話設定機能」（☎ 84～85ページ）を設定すると、本商品から携帯電話に電話をかける際、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。IP電話サービス（ひかり電話を除く）をご利用の方も本機能を利用できます（ひかり電話をご利用のときは、本機能はご利用になれません）。

※本機能を正しく働かせるために、設定を正しく行ってください。



お知らせ

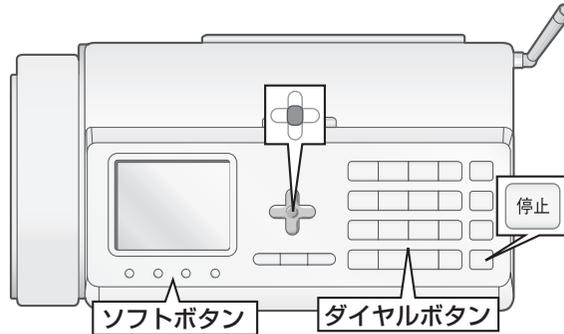
- 携帯通話設定機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に、事業者識別番号や加入電話選択番号（☎ 84ページ）などをダイヤルしないでください。携帯通話設定機能を設定すると、自動的に事業者識別番号や加入電話選択番号がダイヤルされますので、電話がかかれなかったり、通話料金などが異なる場合があります。

便利な機能

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

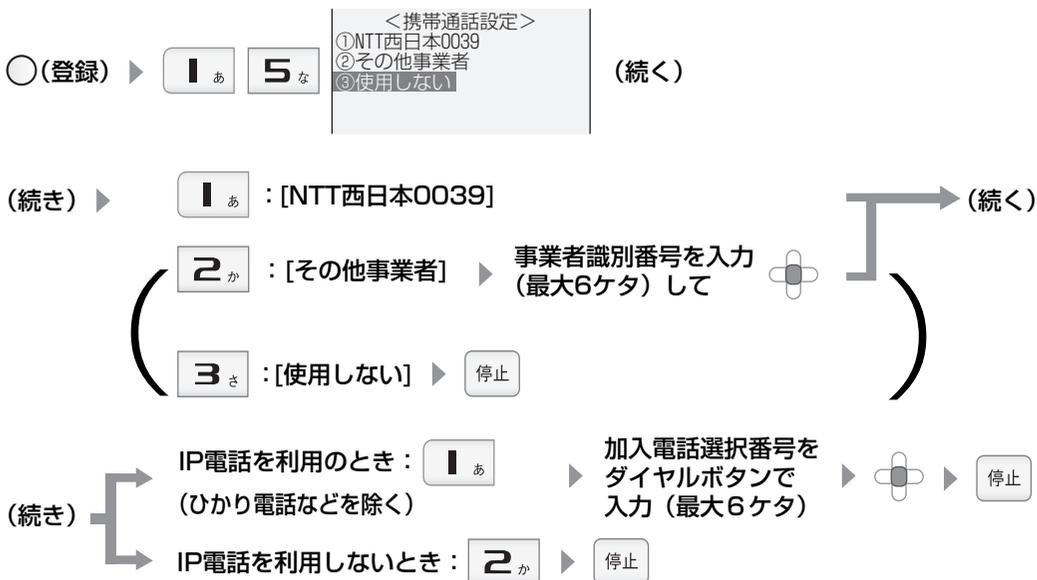
携帯通話設定機能を利用する

携帯通話設定機能を「NTT西日本0039」または「その他事業者」に設定しておく、本商品から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルします。携帯通話設定機能を利用する場合は、必ず設定してください。お買い求め時は「使用しない」に設定されています（お申し込み手続きは不要です）。親機で設定すると、親機と子機で携帯通話設定機能を利用することができます。



携帯通話設定機能（NTT西日本）を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。親機で操作します。



途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

■ 携帯通話設定機能を設定すると



携帯通話設定マークが親機のディスプレイに表示されます。

■ 一時的に携帯通話設定機能を利用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

当社サービス提供エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）以外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかかからないことがあります。

■ 携帯番号帯の対象番号を追加するときは

携帯通話設定機能の利用対象となる携帯電話の番号頭4ケタとしてあらかじめ登録されているのは「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加して登録することができます。(☎ 136ページ)

■ 携帯番号帯の設定を確認するときは(「携帯通話設定機能の現在の設定表示」 ☎ 136ページ)

🔊 お知らせ

- ひかり電話をご利用のときは、携帯通話設定機能はご利用できません。
- 停電時、携帯通話設定機能は利用できません。
- 携帯通話設定機能を「NTT西日本(0039)」に設定して通話できる回線の種類は、NTT西日本サービス提供エリア内(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット64、INSネット64・ライト、INSネット1500となります。
- 携帯通話設定機能を設定した場合でも、「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルすると、その通話に限り、携帯通話設定機能を利用せずに電話をかけることができます。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など、一部ご利用いただけない番号があります。この場合は、「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルしてください。
- IP電話サービスをご利用時、接続するVoIP機器(ルータなど)の状態によっては、携帯通話設定機能が正しく動作しない場合があります。
- 携帯通話設定機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本商品が事業者識別番号の付与判定を行っているためであり、故障ではありません。
- 携帯通話設定機能は、電話をかけるときに有効な機能ですが、お話し中にキャッチ/消去ボタンを押して電話をかけるとき(3者通話ご利用時など)には、携帯通話設定機能は動作しません。
- PHSへの通話をご利用いただけません。
- 携帯通話設定をすると、読上げボイスダイヤル機能は動作しません。
- マイラインプラス(または、マイライン)の対象にはなりません。(2006年9月現在)
- IP電話サービス(ひかり電話などを除く)を契約している場合は、携帯通話設定画面で、設定する事業者を選択した際に、必ずIP電話利用有無設定で「あり」を選択してください。
- IP電話サービスを契約していない場合は、IP電話利用有無設定で「なし」を選択してください。
- IP電話利用有無設定で「あり」を選択した場合、必ず加入電話選択番号を登録してください。
- ご契約のIP電話サービス(ひかり電話などを除く)によって加入電話選択番号は異なりますので、加入電話選択番号が不明な場合は、契約しているIP電話サービス事業者へご確認ください。
- NTT西日本が提供しているVoIP機器(ルータなど)を利用されている場合は、加入電話選択番号は「0000」(工場出荷時設定)を登録してください。
- 携帯通話設定画面で「NTT西日本」を選択した場合、当社サービス提供エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)以外では利用できませんので、当社サービス提供エリア以外の地域で利用される場合は、「その他事業者」を選択してください。
- 事業者識別番号設定に、存在しない事業者識別番号や、市外局番などを設定すると、相手につながりません。
- ホームテレホンや構内交換機(PBX)に接続した場合は、携帯通話設定を「使用しない」に設定してください。
- 携帯通話設定機能を利用していても、再ダイヤルに事業者識別番号や加入電話選択番号は記録されません。
- その他事業者のサービス内容、および通話料金については、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- その他事業者の事業者識別番号は、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- 設定の途中で設定動作を中断した場合は、設定変更内容は反映されません。
- 携帯通話設定機能は、携帯電話への発信のみに動作します。携帯電話以外の通話をご利用できません。
- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部お安くならない場合があります。

1つの電話回線で複数の番号を使う (モデムダイヤルインサービス)

モデムダイヤルインサービス (モデム信号方式) を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本商品では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号をもったり、親機と子機の番号を別にしたたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。

このサービスを利用するには、**当社とのご契約が必要です**

相手側

相手が電話用番号に
電話をかけてくると・・・



こちら側

電話に出てお話し
ください。
相手の方とお話した
あとファクスに切り替
えることもできます。
着信音は番号ごとに
変えることができます。

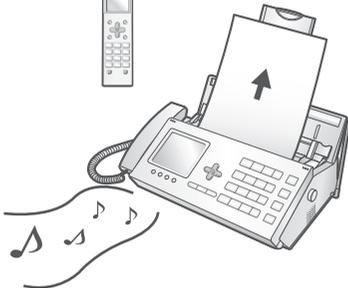


相手がファクス用番号に
ファクスを送ってくると
・・・



設定された呼出回数のお
と、ファクス受信に切り
替わります。

子機の着信音は
鳴りません



着信音は電話のときの着信
音と変えることができます
(☞ 88ページ)。着信音が
鳴っている間に、受話器を
取ると通話もできます。
本商品が自動受信するまで
の呼出回数 (FAXコール回
数) は変更できます (☞ 88
ページ)。

便利な機能

1つの電話回線で複数の番号を使う (モデムダイヤルインサービス)

■ 設定される番号について

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、最初の電話番号 (契約者回線番号) を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号 (ダイヤルイン追加番号) に設定してください。また、親機と子機で電話番号に分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録してください。

電話用番号	最初の番号 (契約者回線番号)
ファクス用番号	追加された番号 (ダイヤルイン追加番号)
親機用番号	最初の番号 (契約者回線番号)
子機用番号	追加された番号 (ダイヤルイン追加番号)
2台目以降の子機番号	どちらでも可

● お知らせ

- 「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
- 他の電話機などとブランチ式 (並列) 接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
- モデムダイヤルイン機能を利用する場合は、当社サービス提供エリア (東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区) 以外では利用できませんので、当社サービス提供エリア以外の地域で利用される場合は、「その他事業者」を選択してください。
- 1つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることは出来ません。
- ホームテレホンや構内交換機をお使いの場合は、ご利用になれません。
- 他のサービスとの併用については、当社の窓口へご確認ください。
- ISDN回線のときは、TA (ターミナルアダプター) の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

[モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]

- 1 当社と契約する（有料）
- 2 サービス開始の連絡を待つ
- 3 本商品の設定をする（☎ 下記）
必ずサービスの開始後に行ってください

サービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

局番なしの
116（通話料金無料）

受付時間 午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

モデムダイヤルインサービスを設定する

○（登録） **1** あ **6** は ▶ **3** さ

<ダイヤルイン機能>
①使用する
②使用しない

1 あ : [使用する] ▶ 停止
2 か : [使用しない]

途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○（戻る）

モデムダイヤルインサービスで使用するダイヤルイン番号を登録する
必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] に設定してください（☎ 上記）。

○（登録） **1** あ **6** は ▶ **1** あ

<番号登録>

①TEL1
②TEL2
③TEL3
④TEL4
⑤TEL5

1 あ ~ **5** な (TEL1~5 電話番号)
6 は (FAX ファクス専用番号) から (続く)
選ぶ

(続き) **1** あ ~ **5** な を選んだときは、
登録したい親機、または子機の組み合わせを で選んで で

01 親機	05 子機4	09 親機、子機2
02 子機1	06 親機、子機1~4	10 親機、子機3
03 子機2	07 子機1~4	11 親機、子機4
04 子機3	08 親機、子機1	

ダイヤルボタンで
ダイヤルイン番号を
入力して ▶ 停止

6 は を選んだときは、そのままダイヤルボタンでダイヤルイン番号を入力して ▶ 停止

途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○（戻る）

ダイヤルイン番号は、市外局番から登録してください。

■ 設定内容を消去するには

○（登録） **1** あ **6** は ▶ **2** か ▶ **1** あ ~ **6** は の消去したい番号を押す ▶ **2** か ▶ 停止

■ 設定した内容を表示するには

○（登録） **1** あ **6** は ▶ **7** ま ▶ を押して確認 ▶ 確認が終わったら 停止

便利な機能

1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

FAXコール回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、本商品が自動受信するまでの呼出回数を設定します。
必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] にしてください(☎ 87ページ)。

○(登録) **1** あ **6** は ▶ **4** た

現在 0(回) <回数選択>

0 わ 記号、**2** か ~ **6** は で

回数を選び

▶ 停止

・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

ダイヤルイン鳴り分けを設定する

モデムダイヤルインサービスで追加した番号に電話がかかってきたとき、それぞれの番号専用の着信音を鳴らす設定ができます（ダイヤルイン鳴り分け）。

○(登録) **1** あ **6** は ▶ **5** な ▶

1 あ : [あり]

2 か : [なし]

▶ 停止

・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。この設定を使用するときは、上記の「ダイヤルイン鳴り分けを設定する」の設定を [あり] にしてください。

○(登録) **1** あ **6** は ▶ **6** は

<ダイヤルイン着信音>

① TEL2
② TEL3
③ TEL4
④ TEL5
⑤ FAX

▶ **1** あ ~ **4** た (TEL2~5) (続く)

5 な (FAX) から選ぶ

1	電話ベル音	6	シンフォニー 40番
2	鳥の声	7	ショートメロディ 1
3	電子音	8	ショートメロディ 2
4	バッハのインベンション	9	ショートメロディ 3
5	ジュ・ト・ブ		

(続き) ▶ **1** あ ~ **9** ら で選ぶ ▶ 停止

・途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

・ [TEL1] に登録した番号の着信音は、親機に設定されている着信音と共通になります。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください(☎ 36ページ)。

■ ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号（TEL1～5）に着信しているのかが表示されます。

親機

090XXXXXXXX
TEL2

子機

090XXXXXXXX
(((TEL2)))

1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。

この設定を使用するときは、88ページの「ダイヤルイン鳴り分けを設定する」の設定を [使用する] にしてください。

		着信音量 着信音色 ▶ 着信鳴り分け	を選び			公衆電話 表示圏外 ▶ ダイヤルイン	を選び		(続く)
(続き)		[TEL 2 鳴り分け] [TEL 3 鳴り分け] [TEL 4 鳴り分け] [TEL 5 鳴り分け]	から選び			で着信音を選び			

- ・途中でやめるとき： 
- ・鳴り分けできる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです(☎ 37ページ)。
- ・[TEL 1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている着信音と共通になります。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください(☎ 37ページ)。

📢お知らせ

- TEL 1～5に登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません。ただし電話のとりつき(☎ 47ページ)を行ったときは、通話をすることができます。
- ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードのFAX専用ではなく、ダイヤルインのFAXを設定することをおすすめします。
- ダイヤルイン番号を設定した子機を優先呼出(☎ 97ページ)にすると、設定したダイヤルイン番号に電話がかかってきたときのみ、優先呼出が働きます。
- ナンバー・ディスプレイ(☎ 103ページ)を契約しているときに、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分け(☎ 109ページ)と同時に設定した場合、それらの鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
- 親機と子機などで内線通話中に、別の子機に設定されているダイヤルイン番号へ着信があった場合(どの番号への着信なのかはディスプレイに表示されます)、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴り、登録した子機からは着信音は鳴りません。登録した子機に着信音を鳴らしたいときは、内線通話を終了してください。
- TEL 1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機番号に設定してください。増設登録していない子機番号を設定しても、着信音は鳴りません。
- 親機でコピーやプリントをしているときに、子機に設定されているダイヤルイン番号に着信があった場合、親機で着信音が鳴り、登録した子機からは着信音が鳴りません。コピーやプリントが終了すると、登録した子機からも着信音が鳴ります。

子機を増やす

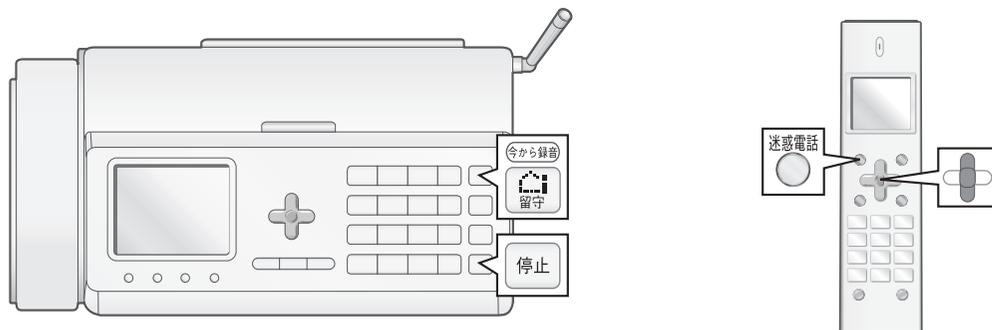
増設する子機について

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大4台までです。
P-265DCLwはあと2台まで、P-265DCLはあと3台まで増設できます。
- 増設できる子機は2.4Gデジタルコードレス電話機「S1」です（☎143ページ）。
他の子機は増設できませんのでご注意ください（2006年9月現在）。
- **2.4Gデジタルコードレス電話機「S1」の機能は付属の子機と同等です。**
- ご購入の際は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください。
- 子機の増設は、担当者が実施いたします。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

通話内容を録音する（今から録音）

通話中の内容を録音することができます。通話内容のメモのかわりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができるので便利です。

録音できる件数は留守録など、他の録音と合わせて最大30件までです。1件の録音時間は、はじめは [30秒] になっています（録音時間を1分または2分に変更できます。「録音時間」☎ 133ページ）。



親機で「今から録音」する

通話中に 	通話録音中 [停止]で終了	▶ 録音が終わったら  （録音時間を過ぎると、自動的に終了する）
--	------------------	---

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

子機で「今から録音」する

通話中に 	▶ 	戻って録音 ▶今から録音 チャムでお断り	を選び  （続く）
(続き) ▶ 録音が終わったら  （録音時間を過ぎると、エラー音が鳴って自動的に終了する）			

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。
・キータッチ音を [設定] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には、録音を始めたことがわかりません。

■ 通話中に録音内容を再生するときは（☎ 95ページ）

■ 通話が終わったあとで録音内容を再生するときは（☎ 64ページ）

■ 録音内容を消去するときは（☎ 65ページ）

■ 親機で [録音データ保存中]、子機で [<保存中>] と表示されているときは

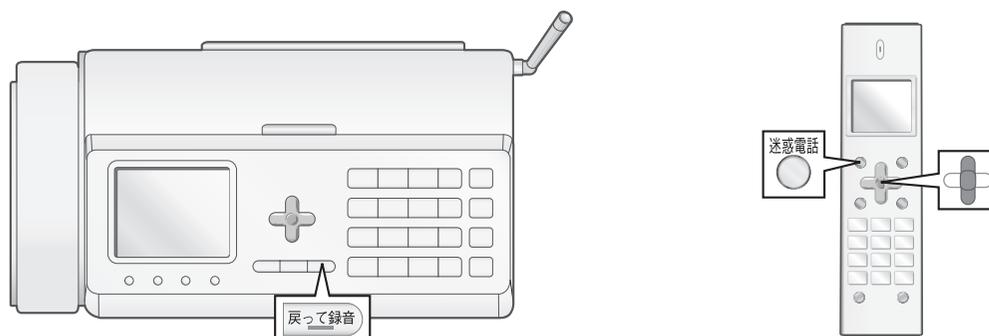
録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。表示中は電話を受ける以外の操作はできません。保存が終了すると、続けて「今から録音」することができます。

お知らせ

- すべての録音を合わせて最大約15分間録音できます（メモリー受信データがない場合）。
- 内線通話やオンフック（☎ 41ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
- 「戻って録音」（☎ 93ページ）したあと、その通話を続けるときは、「今から録音」はできません。
- ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
- 1件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。
- 子機で長時間録音した場合、子機の [<保存中>] が消えても、親機の保存が続いていることがあります。このとき、「今から録音」や保留ができなくなりますので、その場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

「戻って録音」すると、約45秒前から「戻って録音」するまでの通話内容を、さかのぼって録音します。しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使い方もできます。録音できる件数は1回の通話につき1件です。録音時間を変更することはできません。通話が終わったあとで再生することもできます。



親機で「戻って録音」をする

通話中に  （録音すると、ランプが点滅します）

- ・ キータッチ音を [あり] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。

子機で「戻って録音」をする

通話中に   ▶戻って録音
今から録音
チャムでお断り  を選び

- ・ キータッチ音を [設定] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。
- ・ 操作を途中で止めるときは：

■ 「戻って録音」したあと、その通話を続けるときは

「戻って録音」すると、その通話中は以下の操作を行うことができません。

- ・ 「今から録音」
- ・ FAX送受信
- ・ 「戻って録音」以外の録音再生
- ・ キャッチホン
- ・ 保留
- ・ 登録操作、操作ガイド、チャムでお断り、メッセージでお断りなど

■ 「今から録音」(☎92ページ) したあと、続けてお話ししているときは

「戻って録音」ができません。

■ 「戻って録音」の仕組みについて

本商品では、つねに通話内容を約45秒間、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。

一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、通話終了後にあらためてメモリーに保存し直すので消えません（「戻って録音」の内容を消去するには☎94ページ）。

■ 親機で [録音データ保存中] と表示されているときは

録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。このメッセージが表示されている間は、電話の着信以外の操作はできません。

また、このときの着信音は、他の着信音に設定していても親機は [電話ベル音] になります。子機は鳴りません。

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

親機で通話中に「戻って録音」を再生する

通話中、「戻って録音」したあと 

（「ただ今の録音内容を再生します」という音声流れ、再生が開始されます）

- ・再生を途中でやめるとき： 
- ・キータッチ音を [あり] に設定していても、再生操作中は音が鳴りません。
- ・通話中に「戻って録音」を再生するときは、再生速度を変更することができません（☎65ページ）。

子機で通話中に「戻って録音」を再生する

通話中、「戻って録音」したあと   FAX送信
FAX受信
▶録音再生  を選び

（「ただ今の録音内容を再生します」という音声流れ、再生が開始されます）

- ・再生を途中でやめるとき： 
- ・キータッチ音を [設定] に設定していても、再生操作中は音が鳴りません。
- ・通話中に「戻って録音」を再生するときは、再生速度を変更することができません（☎65ページ）。

■ 通話終了後、「戻って録音」を再生するときは

通話が終わるとメモリーに保存され、未再生録音として保存されます。

親機： 

子機：   ▶留守番電話
優先呼出
着信音量  を選び  ▶用件再生
留守設定切替
全消去  を選び

※再生中にできる操作について（☎65ページ）

■ 「戻って録音」の内容を消すときは

通話中は「戻って録音」を消去することができません。

通話を終了し、保存が終了したら再生して個別に消去してください。

親機：「戻って録音」を再生中に （続く）

（続き）▶ [もう一度押しと、再生中のデータを消去します] と表示されたら確認して 

子機：「戻って録音」を再生中に  ▶ [消去しますか?] と表示されたら確認して 

■ 通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りするときは

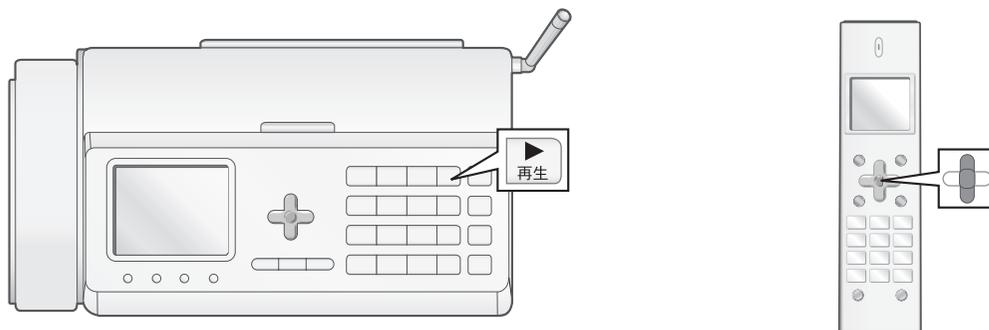
「録音でお断り」をお使いください（☎114ページ）。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は保存されません。

●お知らせ

- 内線通話（☎44～45ページ）やオンフック（☎41ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
- 録音データ保存中は、留守番電話を設定することができません。保存が終わってから設定してください。
- 「戻って録音」をしたあともう一度「戻って録音」しようとする、エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されます（親機では音は鳴りませんが、子機ではエラー音が鳴ります）。
- 通話中に「戻って録音」をしたあとは、キャッチホンディスプレイ（☎105ページ）は使用できません。
- 録音データ保存中は、通話機能や録音機能の一部が使用できません。

録音した内容を通話中に再生する

留守番電話の内容や通話録音した内容を通話中に再生することができます。



親機で通話中に再生する

通話中に  再生

・途中でやめるとき：  停止

子機で通話中に再生する

通話中に   FAX送信
FAX受信
▶録音再生  を選び

- ・途中でやめるとき： 
- ・録音内容を再生するときは、未再生の録音以降から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

■ 再生中にできる操作について（☎65ページ）

■ 録音再生中の通話について

親機で通話中に録音した内容を再生したときは、こちらの声が相手に聞こえ、相手の声もこちらに聞こえます。

子機で通話中に録音した内容を再生したときや、親機、子機ともに「戻って録音」（☎93～94ページ）を再生したときは、こちらの声は相手に聞こえず、相手の声もこちらに聞こえません。

親機をもっと便利に使う

FAX受信方法

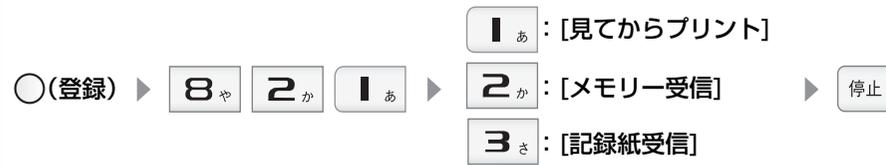
ファクスの受信方法を、以下のいずれかに設定できます。

[見てからプリント]：受信した内容をいったんメモリーに記録し、プリントする前にディスプレイで確認することができます。

[メモリー受信]：受信した内容をメモリーに記録してから、自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

[記録紙受信]：受信した内容を、直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれてプリントされることがあります。また、原稿がA4より長いときなどでは、メモリー受信したものに比べて、横方向に筋が入るなど、少し画質が劣ることがあります。

工場出荷時の設定は [見てからプリント] です。



終了音

コピーの終了後や、ファクスの送受信後に鳴る終了音を、以下のいずれかに設定できます。

[音声]：「音声」でお知らせします。ただし、コピー時の終了音は [鳥の声] になります。

[鳥の声]：「鳥の声」でお知らせします。

[アラーム音]：「ピー」という音でお知らせします。

[なし]：終了音を鳴らしません。

工場出荷時の設定は [音声] です。



キータッチ音

親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。

工場出荷時の設定は [あり] です。



読上げボイスダイヤル

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。携帯通話機能を設定しているときは、動作しません。

1：「イチ」 2：「ニ」 3：「サン」 4：「ヨン」 5：「ゴ」 6：「ロク」 7：「ナナ」

8：「ハチ」 9：「キュウ」 0：「ゼロ」 ＊：「スター」 #：「シャープ」  : 「ポーズ」

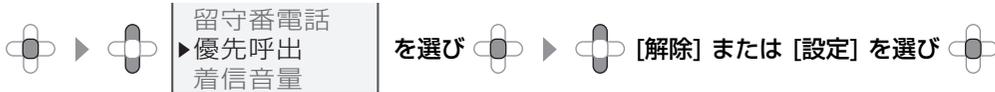
工場出荷時の設定は [なし] です。



子機をもっと便利に使う

優先呼出

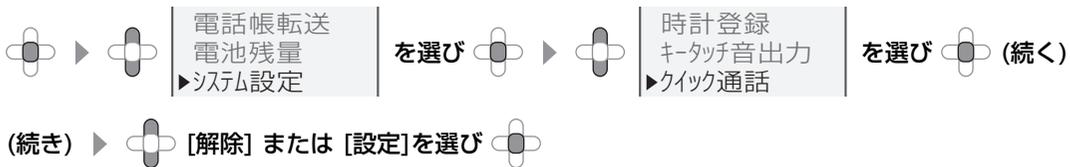
電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音を鳴らす機能の設定ができます。
設定後、9時間経過すると自動的に解除されます。
工場出荷時の設定は [解除] です。



- ・ FAX優先機能 (☎ 75ページ) を設定しているときは、優先呼出は働きません。
- ・ 他の子機が優先呼出をしているときは、設定できません。

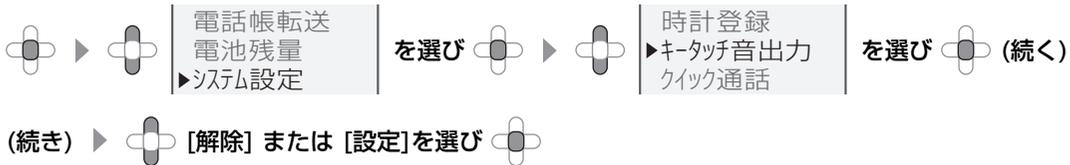
クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [解除] です。



キータッチ音

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音 (キータッチトーン) の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は [設定] です。

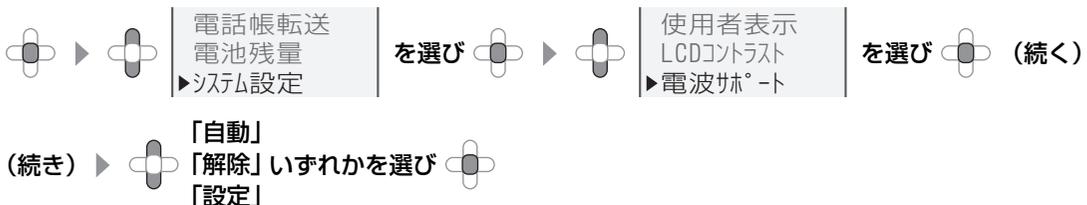


電波サポート設定

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。
ただし、連続通話時間が約6時間から以下になります。

- 「自動」: 約4～6時間
- 「解除」: 約6時間
- 「設定」: 約4時間

工場出荷時の設定は「自動」(電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定) です。

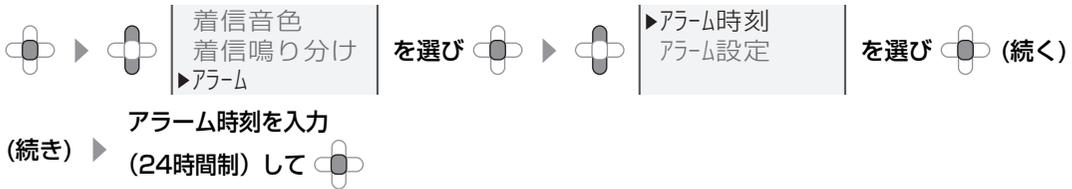


- ・ 途中でやめるとき:

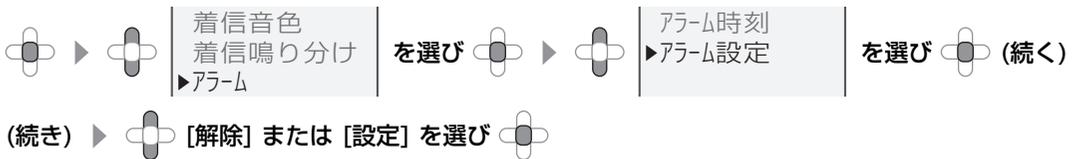
モーニングコール

子機で、モーニングコールを設定することができます。
 設定した時間になると「ピッ・ピッ…」と鳴ってお知らせします（約5分間隔で1分間・7回くり返し）。
 モーニングコールの設定は、鳴り終わると自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときはそのたびごとに設定してください。
 工場出荷時の設定は [解除] です。

アラームを鳴らす時刻を設定する

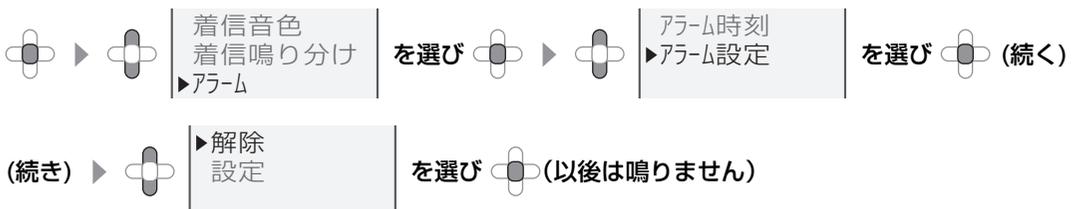


アラームを設定／解除する



アラーム音を途中でとめる

- いずれかのボタンを押す（約5分後に再びアラーム音が鳴り始めます）。
- アラームを解除するとアラーム音は止まります。



- ・途中でやめるとき：
- ・アラーム時刻を設定すると、自動的にモーニングコールが設定されます。
- ・モーニングコールを設定すると、子機ディスプレイに [アラーム] が表示されます。ただし、留守番電話に設定しているときは表示されません。

お知らせ

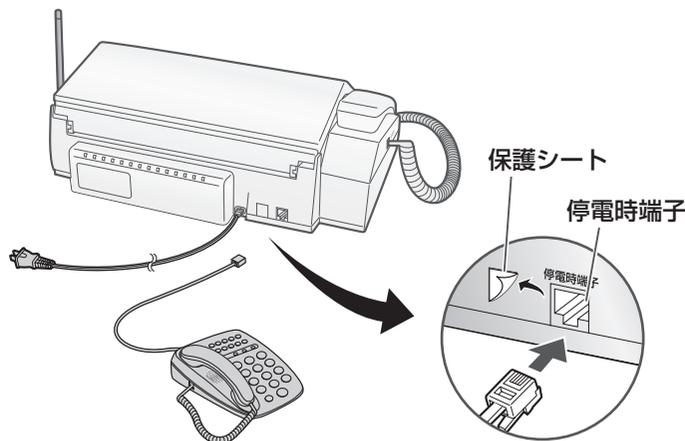
- モーニングコールを毎日鳴らす設定にすることはできません。毎日鳴らしたいときは、そのたびごとにモーニングコールを設定してください。
- 子機の時計を登録していないときは、モーニングコールの設定はできません（エラー音が鳴ります）。
- モーニングコール設定後、時計合わせを行うと、モーニングコール設定は [解除] になります。
- アラーム音は、子機で設定されている着信音量と同じ大きさと鳴ります。
[切] に設定しているときは [小] の大きさと鳴ります。
- アラームが鳴っているときに電話やドアホン、内線呼び出しがあると、アラーム音は止まります。ただし、くり返しは止まりませんので、7回までくり返していないときは、約5分後に再びアラームが鳴ります。

電話機を増設する（増設電話機）

お手持ちの電話機を停電時端子に接続することができます。
接続される電話機は停電時でも通話ができる電話機を接続してください。

増設電話機を接続する

停電時端子に接続する



- ・ 保護シートをはがし、電話機の接続コードを、親機の停電時端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

増設電話機で電話をかける

受話器を取る ▶ 「ツー」という音が聞こえたらダイヤルする ▶ 通話が終わったら受話器を戻す

増設電話機で電話を受ける

呼出音が鳴ったら受話器を取る ▶ 通話が終わったら受話器を戻す

●お知らせ

- 親機と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 停電時端子には、電話機を1台しか接続できません。
- 増設した電話機で受けたあとファクスに切り替えることはできません。
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホン、コードレス電話機など）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときに停電になったときは、停電時端子に電話機を接続していると、はじめに少し短い呼出音が電話機で鳴ります（このとき受話器を取ってもお話しできません）。このあと通常の呼出音が鳴りますので、このとき電話機の受話器を取ると、お話しできます。

ドアホンと話す（ドアホン通話）

ドアホンボックスやドアホンを取り付けると、親機や子機でドアホン通話することができます。ドアホンは最大2台まで接続することができます。

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話することができます。ドアホンの取り付け工事について、詳しくはお買い求めになった販売店または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

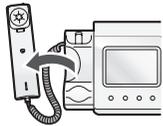
ドアホンの着信音について

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴り方が違います。

親機	ドアホン1	ピン ポン	子機	ドアホン1	ピロピロピロピロ ピロピロピロピロ
	ドアホン2	ピン ポン ピン ポン		ドアホン2	ピロロロ ピロロロ

親機でドアホンと話す

着信音が鳴ったら



▶ 通話が終わったら受話器を戻す

■ 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話にでることができます。

- ① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
ドアホン通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

■ 親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは **1** あ を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは **2** か を押す
- ② **1** あ または **2** か （または **キック/話**）を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

■ 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に **内線/保留** を押す
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、もう一度 **内線/保留** を押す
ドアホン通話は切れます。

■ 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に受話器を戻す
内線通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

子機でドアホンと話す

着信音が鳴ったら  ▶ 通話が終わったら 

■ 子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

- ① 「ピピ」と聞こえたら、 を押す
ドアホン通話は切れます。
- ②  を押す

■ 子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が「ピロピロピロピロ」と聞こえたときは  を、
「ピロリロ ピロリロ」と聞こえたときは  を押す
 または  （または  ）を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

■ 子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に 内線/クリア  を押す
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、内線/クリア  を2回押す
ドアホン通話は切れます。

■ 子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、30秒以内に  を押す
内線通話は切れます。
- ②  を押す

お知らせ

- 親機または子機からドアホンから呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの着信音が鳴ったあと、約30秒以内に応答しなかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- 3者通話中は、ドアホンとの通話はできません。
- 増設電話機が接続されていても、増設電話機ではお話しすることはできません（着信音も鳴りません）。

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

親機を留守に設定するか在宅時コール回数を設定しておく、外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をすることができます。

リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録する

○(登録) 8 や 4 た 1 あ ▶ <留守録暗証番号> 一般= (4桁) ▶ 暗証番号を入力(4ケタ) ▶ 停止

■ 登録した暗証番号を消すときは

○(登録) 8 や 4 た 2 か 2 か ▶ 停止

■ 暗証番号を変えるときは

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ 暗証番号を忘れたときは

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

自宅に電話をかける ▶ 応答メッセージが聞こえている間に[#] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [#] ▶ 音声メッセージのあと、リモート操作番号を入力（続く）

（続き）▶ リモート操作が終わったら電話を切る

■ リモート操作表

録音内容を聞く：① #	
早聞きや遅聞きをする：再生中に ① # （押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→「速い」…）	
録音内容を聞き直す：再生中に ③ #	1件前の録音を聞く：再生中に ③ # ③ #
次の録音内容を聞く：再生中に ④ #	止める：再生中に ⑤ #
再生済みの録音を消す：停止中に ① ① #	録音内容をすべて消す：停止中に ① ② #
留守を設定／解除する：停止中に ⑥ #	未再生の録音も消えます。応答メッセージは消えません。

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。

留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

■ トールセーバーに設定したときは

着信音が2回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。3回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません（☎ 61ページ）。

● お知らせ

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は1分以内に行ってください。1分以上あけると電話が切れます。
- 親機の「在宅時コール回数」が[無制限呼出]のときはリモート操作できません。リモート操作をお使いになるときは、「着信音の回数を設定し、親機で電話に出ないでファクスを受ける」（☎ 74ページ）で着信音の回数を設定しておいてください。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。

このサービスを利用するには、**当社とのご契約が必要です**

[ナンバー・ディスプレイを利用するには]

1 当社と契約する（有料）

2 本商品のナンバー・ディスプレイの設定は、**必要ありません**。
お買い求め時は、ナンバー・ディスプレイの設定は [使用する] になっています。

3 当社の工事終了後にサービスが利用できます。

ナンバー・ディスプレイサービス、
キャッチホン・ディスプレイサービス
に関するお問い合わせ、お申し込み先

局番なしの
116（通話料金無料）
受付時間 午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

ナンバー・ディスプレイの設定

お買い求め時は、ナンバー・ディスプレイの設定は [使用する] になっています。

○(登録) ▶ **#** (4回) ▶ **5** な

<ナンバー・ディスプレイ>
①使用する
②使用しない

1 あ : [使用する] 停止

2 か : [使用しない]

・ナンバー・ディスプレイを契約していないときは、[使用しない]に設定してください。

電話がかかってきたときのディスプレイ表示

親機の表示	子機の表示	着信情報
電話番号		相手の方が自分の番号を通知して電話をかけた場合
相手の方の名前と番号	相手の方の名前と番号	電話帳に登録されている相手の方が電話をかけた場合
[非通知]	[－非通知－]	相手の方が自分の番号を通知せずに電話をかけた場合
[表示圏外]	[－表示圏外－]	相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけた場合
[公衆電話]	[－公衆電話－]	相手の方が公衆電話を使ってかけた場合
[受信エラー]	[－受信エラー－]	相手の方が発信した番号情報を正しく受信できなかった場合

お知らせ

- 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを [使用しない] に設定してください。
- ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ (TA) をお使いください。
- ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定を [使用しない] にされていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5～6回鳴ります。このときに電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信音の回数 (☎74 ページ) や、留守モード時のコール回数 (☎61 ページ) を2回以上に設定してください。
- ナンバー・ディスプレイは、当社の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは116番または当社の営業所などへお問い合わせください。
- ISDN 回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機 (PBX) や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは [使用しない] に設定してください。

ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイとは、電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービスです（かけてきた方が番号通知・発信者通知を選択している場合のみ）。

このサービスを利用するには、ネーム・ディスプレイの利用契約（有料）のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。詳しくは局番なしの116にお問い合わせください。サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「使用する」になっていることを確認してください（☎ 103ページ）。

電話がかかってきたときのディスプレイ表示

親機の表示	子機の表示	着信情報
友人 06123456	友人 06123456 (((着信)))	電話帳に登録してなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を表示します。

●お知らせ

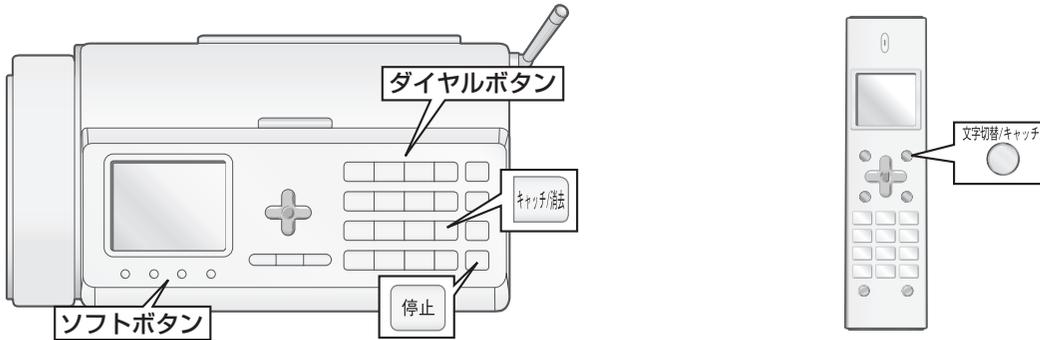
- かかってきた電話番号が電話帳に登録している方と一致したときは、親機または子機の電話帳に登録している名前を表示します（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても、発信者番号が親機または子機の電話帳に登録している電話番号と一致すると、親機または子機の電話帳に登録している名前を表示します）。親機または子機の電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。
- ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイ上に「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（☎ 105ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができる当社のサービスです。

キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができる当社のサービスです。

ご利用には**当社との契約（有料）**が必要です。ご希望の方は、局番なしの116番へお申し込みください。



キャッチホンを利用する



■ キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは

キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☎136ページ）。

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

ご利用には**当社との契約（有料）**が必要です。ご希望の方は、局番なしの116番へお申し込みください。「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、必ず設定を [使用する] にしてください（はじめは、[使用しない] に設定されています）。電話を受けられないことがあります。

また、**ナンバー・ディスプレイが [使用する] になっていることを確認してください**（☎103ページ）。



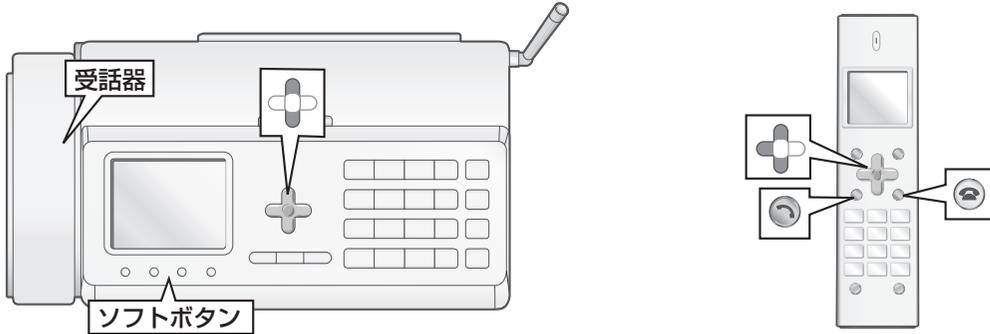
● お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかっても異常なく通信できます。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAX スタートボタンを押して受話器を戻してください。受信完了後に再び受話器を取り、**キャッチ着信** を押してください。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンでの通話中は、迷惑電話ボタンを押しても、お断りの機能は動きません。
- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（☎103ページ）をご覧ください。

着信記録を使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってくると、相手の方の電話番号や着信した日時などが最大20件まで記録されます（着信記録）。20件を超えると古い着信記録から消去されます。着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。



親機で着信記録を使って電話をかける

○(着信記録)	着信記録 2006年 9月16日(土) 10:40am	▶ 十字ボタン で番号を選ぶ ▶		▶ 通話が終わったら受話器を戻す
	9/16 10:00am 友人			
	9/16 9:13am 090123456789			
	9/15 8:25pm 06987654321			

着信記録を使う

途中でやめるとき： 停止

十字ボタン で1件古い着信記録、十字ボタン で1件新しい着信記録を表示します。

■ 受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは（親機）

- 受話器を取る ▶ ○(着信記録) ▶ 十字ボタン で番号を選び 十字ボタン ▶ 通話が終わったら受話器を戻す
- 184（非通知）や 186（通知）などをつけて電話をかけるときは、上記の操作で受話器を取ったあと184や186をダイヤルしてから、通話したい着信記録を選んでください。

子機で着信記録を使って電話をかける

	▶ 十字ボタン (2回)	▶ 十字ボタン で番号を選び 十字ボタン ▶	▶ 通話が終わったら 充電器アイコン、または充電器に戻す

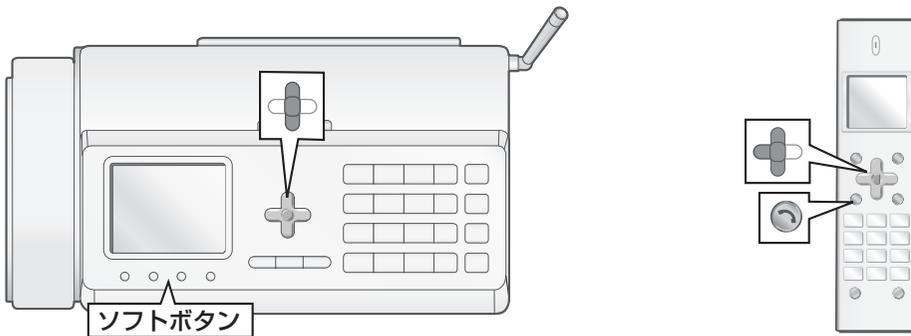
途中でやめるとき： 充電器アイコン

十字ボタン で1件古い着信記録、十字ボタン で1件新しい着信記録を表示します。

再ダイヤルのデータがないときは 十字ボタン を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

■ 184（非通知）や186（通知）をつけて、着信記録で電話をかけるには（子機）

- 十字ボタン (2回) ▶ 十字ボタン で着信記録から番号を選び 十字ボタン ▶ 十字ボタン ▶ 特番ダイヤル 電話帳へ登録 1件消去 を選び 十字ボタン (続く)
- (続き) ▶ 184や186などの番号を入力（最大8ケタ）して 充電器アイコン ▶ 通話が終わったら 充電器アイコン、または充電器に戻す



親機で着信記録を使ってファクスを送る

原稿をセットする
(☎66ページ ① ~ ③)

▶ ○(着信記録)

着信記録 2006年 9月16日(土) 10:40am			
9/16	10:00am	友人	
9/16	9:13am	090123456789	
9/15	8:25pm	06987654321	

▶ で番号を選び
(送信が始まる)

・途中でやめるとき： 停止

・ で1件古い着信記録、 で1件新しい着信記録を表示します。

子機で着信記録を使ってファクスを送る

原稿をセットする
(☎66ページ ① ~ ③)

▶ (2回)

▶ で番号を選び

▶ 相手の方にファクスを送ることを伝えて (続く)

(続き) ▶

▶ FAX送信
FAX受信
録音再生

▶ を選び (送信が始まる) ▶ 充電器に戻す

・途中でやめるとき： /通話中は

・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります (おまかせ送信)。

■ 「通信エラーがありました。」と聞こえたら (☎128ページ)

■ おまかせ送信について (☎67ページ)

■ 親機の着信記録をプリントするときは

記録紙をセットしたあと、

● ○(登録) ▶ ら あ か

● 着信記録の表示中に

お知らせ

- 相手の方の番号は親機、子機ともに20ケタまで記録されています。
- 着信記録を使って電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能 (☎96ページ) は動きません。

■ 着信記録を電話帳に登録するときは

親機：○(着信記録) ▶ で番号を選び ○(新規登録) ▶ 名前を入力 < 名前 > [漢/かな]
友人 (続く)

(続き) ▶ ▶ 「読み」を確認して ▶ 第1番号を確認して (続く)

(続き) ▶ 第2番号を入力(省略可)して ▶ 停止

子機： (2回) ▶ で番号を選び ▶ 特番ダイヤル
▶電話帳へ登録
1件消去 を選び (続く)

(続き) ▶ 名前を入力して ▶ 「読み」を確認して ▶ 第1番号を確認して (続く)

(続き) ▶ 第2番号を入力(省略可)して

■ 親機の着信記録を消すときは

1件だけ消す：○(着信記録) ▶ で番号を選ぶ ▶ キャンセル もう一度[消去]を押すと
選択中の着信記録データ
を消去します ▶ キャンセル ▶ 停止

すべて消す： キャンセル ▶ 2 か ▶ [着信記録 全消去]と表示されたら確認して 2 か

■ 子機の着信記録を消すときは

1件だけ消す： (2回) ▶ で番号を選び ▶ 特番ダイヤル
電話帳へ登録
▶1件消去 を選ぶ (続く)

(続き) ▶ ▶ [消去しますか?]と表示されたら確認して

すべて消す： ▶ 電池残量
システム設定
▶全消去 を選び ▶ 再ダイヤル
▶着信記録
電話帳 を選ぶ (続く)

(続き) ▶ ▶ [着信記録 全消去しますか?]と表示されたら確認して

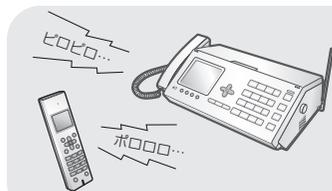
● お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、[非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] [特定番号お断り] を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を作った場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

着信の種類によって着信音を変える (着信鳴り分け)

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。親機、子機が別々に「電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機・子機とも設定されていません。



着信鳴り分けを設定したとき

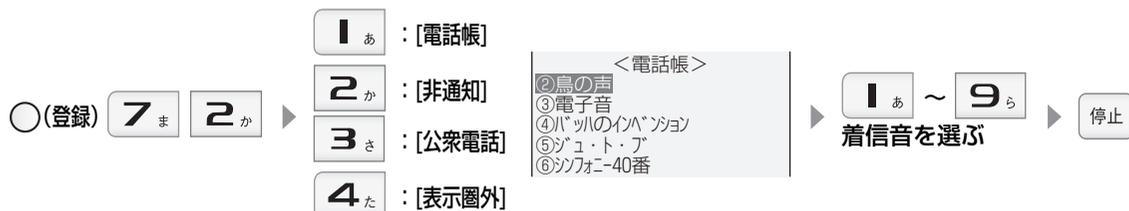
着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて下記の操作で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音 (☎36~37ページ)、またはダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音 (☎88~89ページ) が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する



途中でやめるとき : 停止 / 1つ前に戻るとき : ○(戻る)

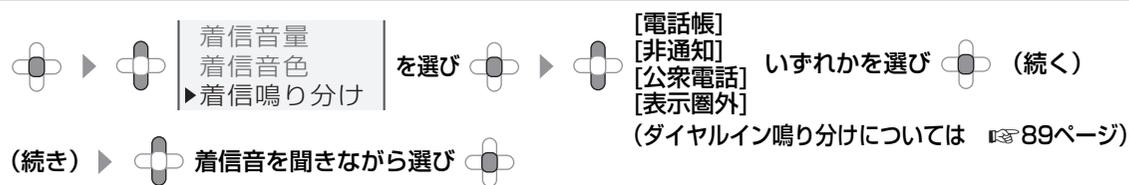
親機の鳴り分け時の着音を選ぶ



途中でやめるとき : 停止 / 1つ前に戻るとき : ○(戻る)
鳴り分け用として設定できる着音は、「親機の着音の種類を変える」(☎36ページ)で設定できるものと同じです。

子機の鳴り分けを設定する / 着音を選ぶ

子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の4種類ごとに着音音を変えることができます。



途中でやめるとき : 
鳴り分け用として設定できる着音は、「子機の着音の種類を変える」(☎37ページ)で設定できるものと同じです。

■ 子機の着信鳴り分けを解除するときは

着音音を選ぶときに「ピピッ」と鳴るまで  で選び、 を押します。

● お知らせ

- かかってくる相手の方ごとに着音音を変えることはできません。
- ダイヤルイン鳴り分けと同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着音音は、ダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

非通知・公衆電話・表示圏外からの電話を受けない

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」に対して着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。

お買い求め時は設定されていません。

非通知お断り



- 途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: ○(戻る)
- 設定すると、親機の液晶ディスプレイに **お断り** と表示されます。
- 設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直してください」と3回流れて電話が切れます。

公衆電話お断り



- 途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: ○(戻る)
- 設定すると、親機の液晶ディスプレイに **お断り** と表示されます。
- 設定すると、公衆電話からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません。」と3回流れて電話が切れます。

表示圏外お断り



- 途中でやめるとき: 停止 / 1つ前に戻るとき: ○(戻る)
- 設定すると、親機の液晶ディスプレイに **お断り** と表示されます。
- 設定すると、表示圏外からの電話には「この電話は、お受けすることはできません。」と3回流れて電話が切れます。

お知らせ

- お断り番号に登録されていると、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください(親機のディスプレイは点灯します)。

特定の番号の電話を受けない（特定番号お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

○(登録) 7 ま 7 ま

お断り番号 登録 0件 (残り 30件)

○(新規登録) (続く)

(続き) ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

電話番号を入力 (最大20ケタ)

<お断り番号>
NO. =06987654321

▶ 停止

- 途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- 設定すると、ディスプレイに お断り と表示されます。
- お断り番号は市外局番から登録してください。

■ 特定番号お断りの内容について

「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

■ 登録したお断り番号を1件ずつ消すときは

○(登録) 7 ま 7 ま ▶ で番号を選ぶ ▶ (2回) ▶ 停止

■ 登録したお断り番号をすべて消すときは

▶ 5 な 2 か

■ 登録したお断り番号のリストをプリントするときは

記録紙をセットしたあと、

- ○(登録) 9 ら 3 さ ▶ 2 か
- お断り番号の表示中に

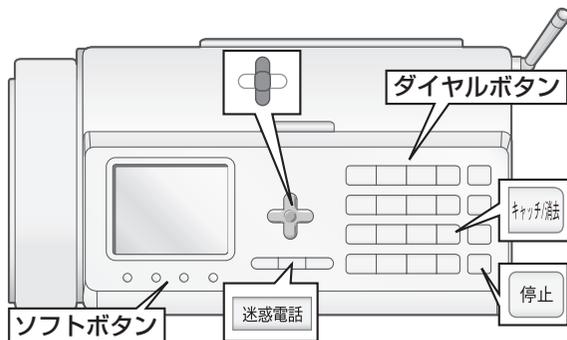
● お知らせ

- お断り番号に登録されていると、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。

登録した番号からの電話のみ受ける（選んで着信）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

あらかじめ登録した相手先からのみ電話を受けられるように設定ができます（選んで着信）。登録した相手先以外からの電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へ留守応答メッセージを流すことができます。その場合は、スピーカーから相手の声は聞こえません。また時間設定、曜日設定することもできます。たとえばお子様がひとりで留守番されているときでも、安心してご両親からの電話だけに出ることができる、といった使い方ができます。登録できる番号は最大5件です。



着信させる番号を登録する

この操作で番号を登録したあと、「選んで着信を設定する」「特定の時間だけ選んで着信を行う」（113ページ）の操作で、機能の設定をしてください。

着信番号 登録 2件 (残り 3件)

03123456789
06125634780

○(登録) 7 ま 9 ら ▶ ○(新規登録) (続く)

電話帳から登録するとき:
▶ ○(電話帳) ▶ で登録したい相手を選び ▶ 停止

(続き) 直接番号を入力して登録するとき:
NO.= <着信番号> ▶ 電話番号を入力 (最大20ケタ) ▶ ▶ 停止

- 途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- 登録できる番号は最大5件です。
- 着信させる番号は、市外局番から登録してください。
- 電話帳に登録している番号が21ケタ以上のときは、その番号を登録することはできません。
- 電話帳に名前を登録していても、電話番号以外は登録されません。
- 電話帳から登録できる番号は、第1番号のみです。第2番号を登録することはできません。

登録した番号を消去する

○(登録) 7 ま 9 ら ▶ で番号を選ぶ ▶ ▶ もう一度[消去]を押すと選択中の番号データを消去します ▶ ▶ 停止

- 途中でやめるとき： / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

登録した番号を全て消去する

▶ 6 は 2 か

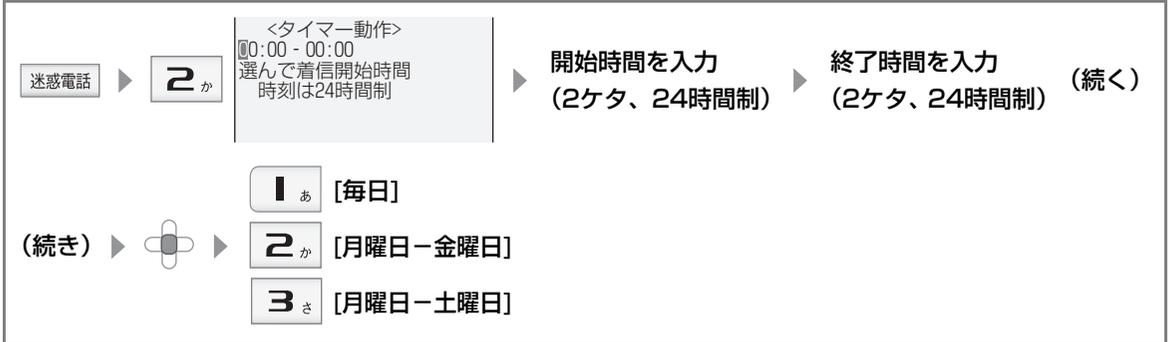
登録した番号からの電話のみ受ける（選んで着信）

選んで着信を設定する



- ・途中でやめるとき： 停止
- ・設定すると、ディスプレイに 選んで着信 と表示されます。

特定の時間だけ選んで着信を行う



- ・途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- ・設定した時間になると、ディスプレイに 選んで着信 と表示されます。
- ・開始時間と終了時間を同じ時刻にすると、24時間の設定になります(設定中は常に選んで着信 と表示されます)。
- ・時刻の設定は「時間」のみです(「分」は登録できません)。
- ・日をまたいで時間を設定したときに、曜日設定の範囲を越える場合は、「曜日設定」が優先されます。

■ 選んで着信を解除する



■ 選んで着信の設定内容を確認する



● お知らせ

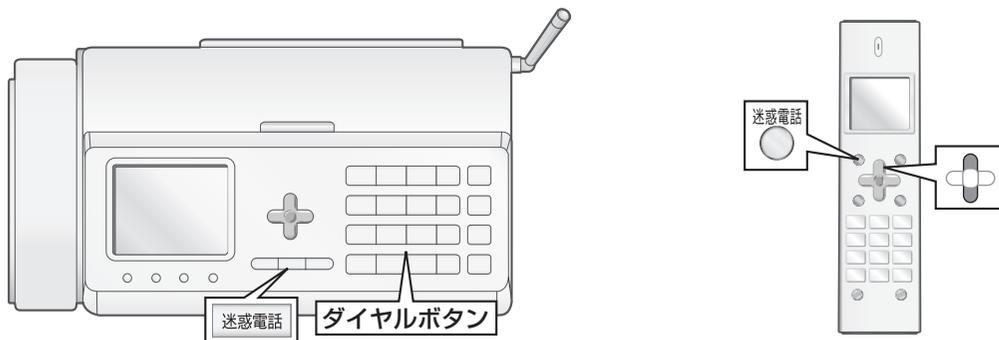
- FAX優先またはFAX専用 (☎ 75ページ) に設定しているときは、選んで着信は設定できません。
- 日付・時刻を設定していないと選んで着信は設定できません。
- 選んで着信の番号が登録されていないときは、着信があってもこちらの着信音は鳴らず、留守録応答のみが動作します。
- 非通知・公衆電話・表示圏外お断り (☎ 110ページ) や、特定番号お断り (☎ 111ページ) が設定されているときは、お断り登録を優先し、お断りメッセージが流れます。
- 登録していない番号からの着信中に受話器を取ると、親機で通話することができます。子機では、通話することができません。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

ナンバー・ディスプレイのご契約をおすすめします

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り）、通話を録音しているとアピールしたり（録音でお断り）することができます。ナンバー・ディスプレイ（☎103ページ）をご契約でないときもお使いいただけますが、ナンバー・ディスプレイをご利用のときは次の機能がお使いいただけます。

- 電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。
- 非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、一定時間だけ同じ種別の着信をお断りすることもできます（迷惑電話拒否機能）。



迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

ナンバー・ディスプレイ

親機で設定する

- | | | | |
|------|------------|--------------|---|
| | 1 あ | ：[チャイムでお断り] | チャイムが鳴るので、「すみません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切ります |
| 通話中に | 迷惑電話 | ▶ 2 か | ：[メッセージでお断り] 「この電話はお受けすることはできません」と3回流れ、自動的に電話が切れます |
| | 3 さ | ：[録音でお断り] | この機能を実行すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます
再生終了後に自動的に電話が切れます |

- ・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎111ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。
- ・[録音でお断り] は、相手に通話内容を聞かせるだけで、通話終了後には保存しません。録音した通話内容を保存したいときは、[戻って録音]（☎93ページ）を行ってください。
- ・[録音でお断り] は、[戻って録音]（☎93ページ）を保存していても使用することができます。

子機で設定する

- | | | | | |
|------|------|---|------------|---------|
| 通話中に | 迷惑電話 | ▶ | [チャイムでお断り] | |
| | | | [メッセージお断り] | いずれかを選び |
| | | | [録音でお断り] | |

- ・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎111ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。
- ・[録音でお断り] は、相手に通話内容を聞かせるだけで、通話終了後には保存しません。録音した通話内容を保存したいときは、[戻って録音]（☎93ページ）を行ってください。
- ・[録音でお断り] は、[戻って録音]（☎93ページ）を保存していても使用することができます。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

■ まちがえて操作してしまったときは

[チャイムでお断り] の操作をしたとき：

親機でチャイムが鳴ってから10秒以内に  を押します。このときは特定番号や非通知などのお断り設定をしません。子機では特定番号や非通知などに自動的に設定することを止められません。

[メッセージでお断り] [録音でお断り] の操作をしたとき：

親機では、お断りメッセージが流れている間に、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

子機で「メッセージでお断り」を操作したときは、お断りメッセージが流れている間に  または  を押します。

子機で「録音でお断り」を操作したときは、 を押してください。

■ まちがえて相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは

登録されてしまったお断り番号を消去してください（ 111ページ）。

また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストをプリント（ 111ページ）して確認してください。

■ まちがえて非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、[なし] に設定してください（ 110ページ）。

■ 「チャイム後自動設定」の設定をするには

[チャイムでお断り] をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは [する] に設定されています。



● お知らせ

- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りの操作はできますが、自動的にお断りに設定することはできません。
- キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は働きません。
- こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- 子機で通話中に、親機から「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。子機で操作してください。
- 「今から録音」（ 92ページ）したあとは、録音でお断りが使用できません。
- 子機で「録音でお断り」を再生中に  を押したり充電器に戻したりすると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。なお、途中で再生を止めてもお断り番号に登録されます。

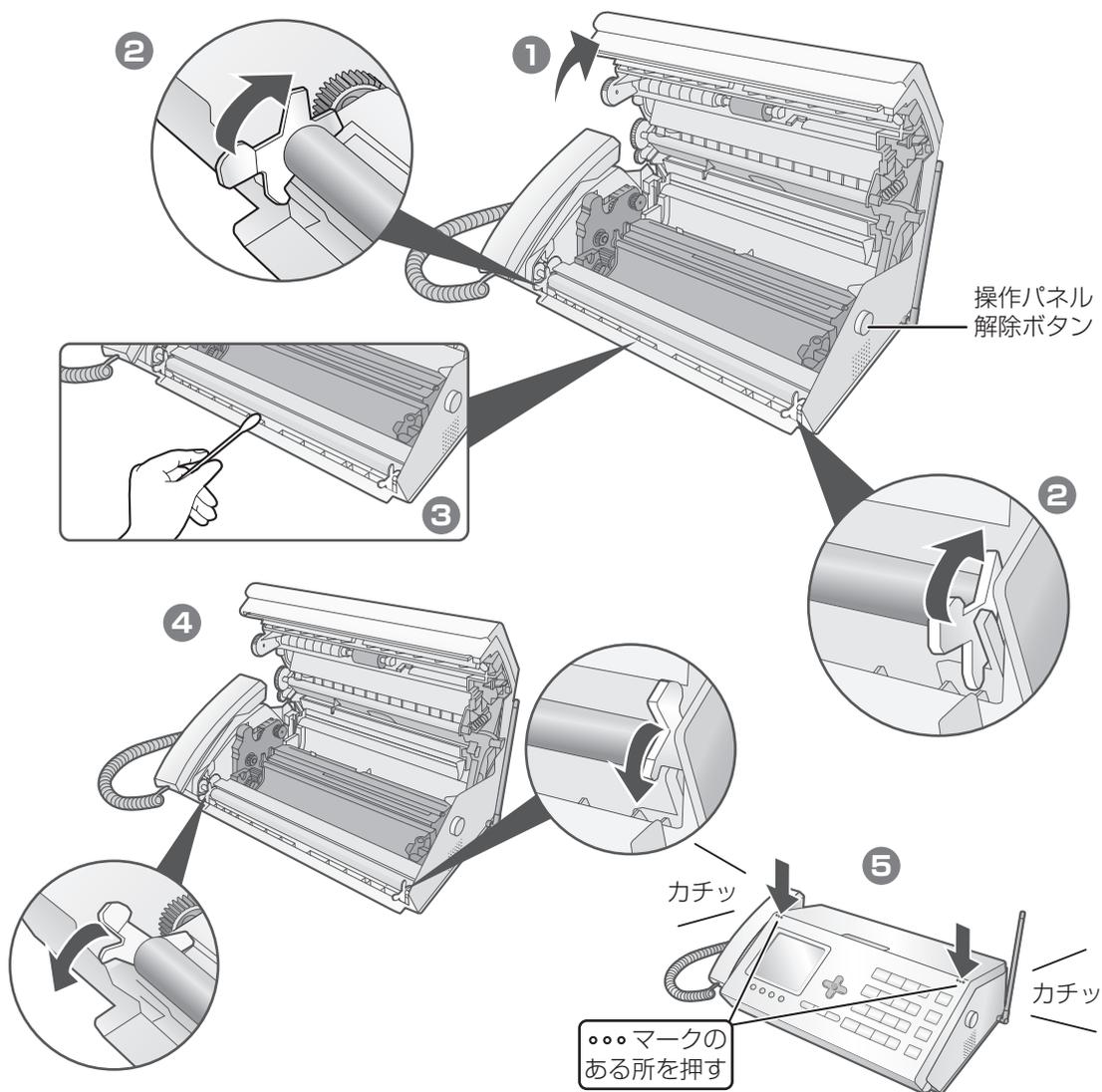
記録紙に白や黒の線が入るときは

コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。

こんなときは、読み取り部を清掃してください。

読み取り部を清掃する

- 1 操作パネル解除ボタンを押して、操作パネルを開ける
- 2 左右の解除レバー（緑色部分）を上げる
- 3 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく
- 4 解除レバーを下げる
- 5 操作パネルを閉める



記録紙に白や黒の線が入るときは

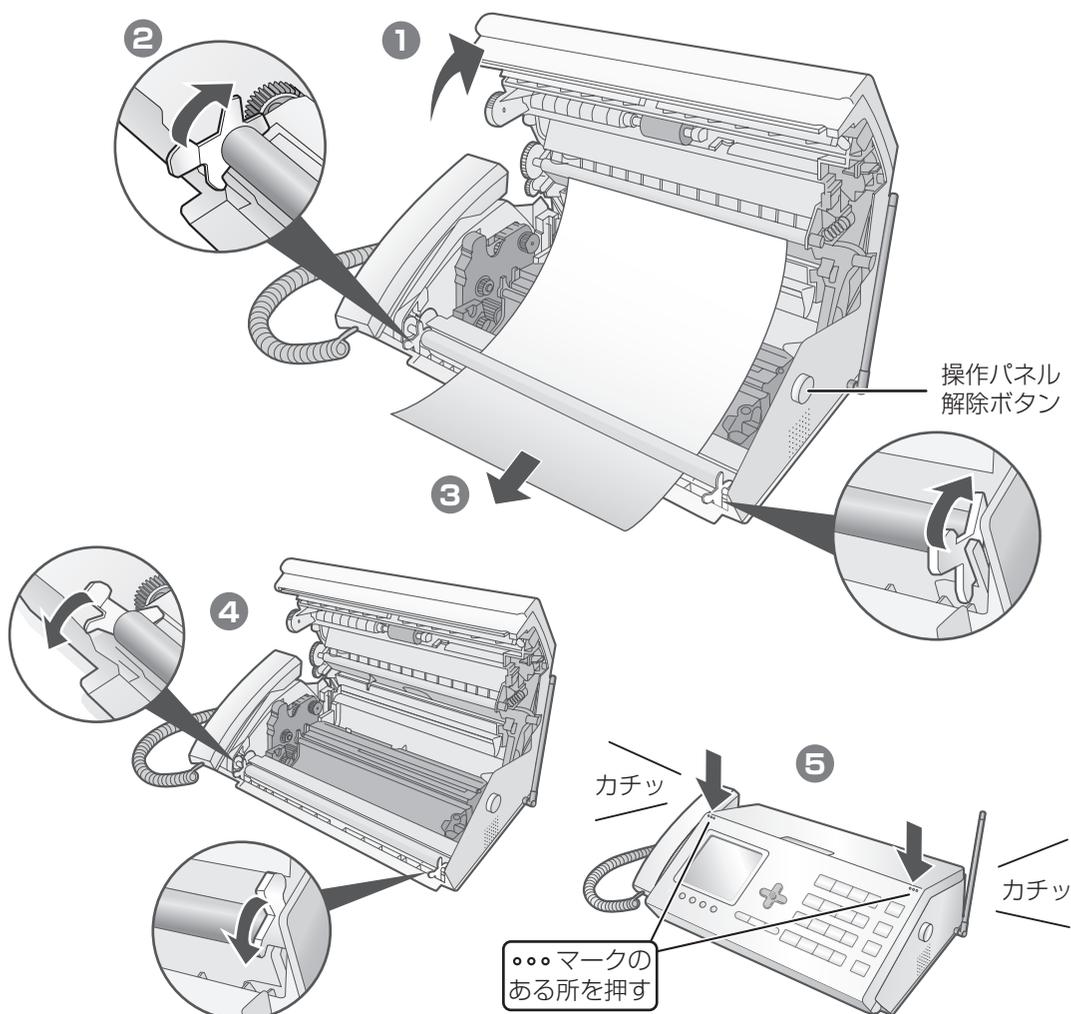
こまめに
とれせ

原稿や記録紙が詰まったときは

原稿が詰まったときは

原稿が詰まったときは、まず「原稿を取り出す」(☞67ページ)の操作(○(登録) ▶ (お留守))をしてください。排出されないときは、次の手順で取り除いてください。記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

- 1 操作パネル解除ボタンを押して、操作パネルを開ける
- 2 左右の解除レバー（緑色部分）を上げる
- 3 つまった原稿を取り除く
- 4 解除レバーを下げる
- 5 操作パネルを閉める



・記録紙や原稿を再セットしてください(☞29、66ページ)。

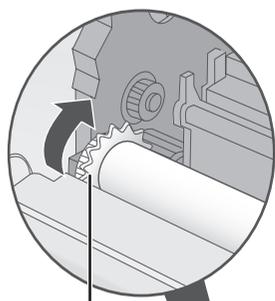
●お知らせ

- つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っばると、破れることがあります。また、故障の原因になります。

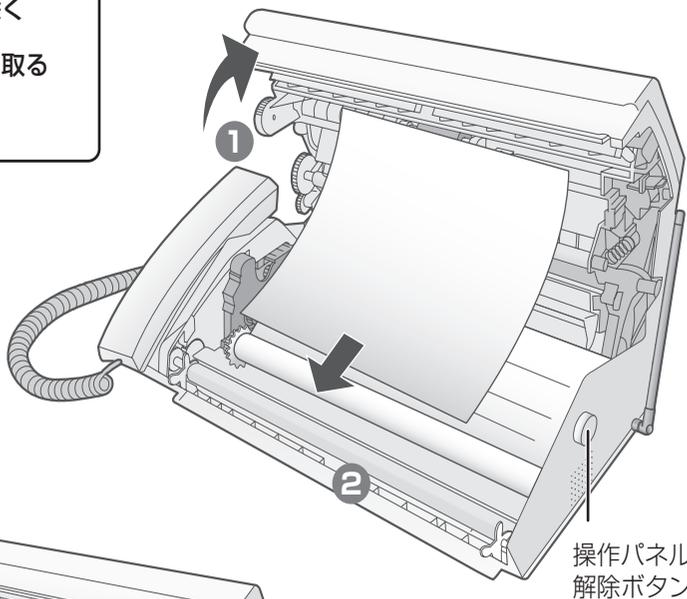
記録紙が詰まったときは

記録紙が詰まったときは次の手順で取り除いてください。
 プリントの途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（詰まる）ことがあります。
 そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☞27～28ページ）。
 記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

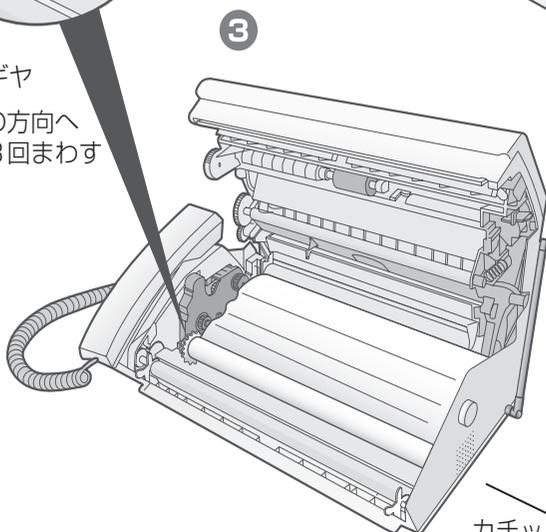
- ① 操作パネル解除ボタンを押して、操作パネルを開ける
- ② つまった記録紙を取り除く
- ③ インクリボンのたるみを取る
- ④ 操作パネルを閉める



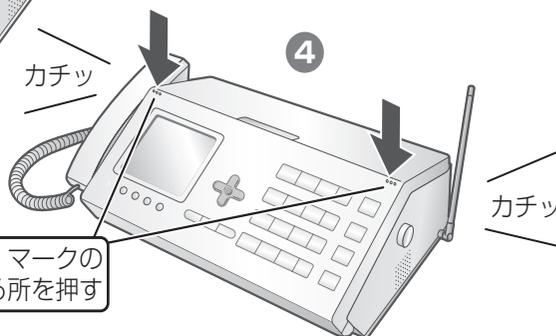
緑色ギヤ
 矢印の方向へ
 2～3回まわす



操作パネル
 解除ボタン



③



カチッ
 カチッ
 ●●● マークの
 ある所を押す

・ 記録紙を再セットしてください。
 (☞29ページ)

お知らせ

- 操作パネルを閉じたまま、詰まった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- 記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に引き抜いてください。

こんなときは（親機）

動作しない

● 電話機コードや電源コードが外れていませんか？ → 電話機コード、電源コードをしっかりと接続します。それでも動作しないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	24
全く動作しないときなど、電源を入れなおしたり、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。	131

電話を…

かけられない	● 電話回線の種類は正しく設定されていますか？ → 正しく設定します。	25
	● 停電になっていませんか？ → 停電のときは電話をかけることはできません。	130
	● 子機をお使いになっていませんか？ → ご使用が終わってから電話をかけます。	—
	● ひかり電話などの光回線を使っているときに、事業者識別番号を設定していませんか？ → 事業者識別番号は解除してお使いください。	25、84
	● ひかり電話などの光回線を使っているときに、回線終話装置やVoIPアダプタの電源を入れていますか？ → 電源を入れてください。	—
	● ひかり電話やIP電話をお使いになっていませんか？ → ひかり電話やIP電話をお使いのときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、当社など契約電話会社にお問い合わせください。	—
	● ISDNやADSLをお使いになっていませんか？ → ISDNをお使いのときは、回線種別を [トーン] に、ADSLをお使いのときはご契約の回線種別に設定してください。	25
受けられない	● 停電になっていませんか？ → 停電のときは電話を受けることはできません。	130
	● 子機を優先呼出に設定していませんか？ → 優先呼出を解除します。	97
	● 受信モードが「FAX専用」になっていませんか？ → 受信モードを「FAX優先」または「設定しない」にします。	75

* ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。127ページも参照してください。

着信音が…

鳴らない (聞こえにくい)	● 着信音を「切」に設定していませんか？ (着信音が小さすぎませんか？) → 着信音の音量を変えます。	36
	● 子機を優先呼出に設定していませんか？ → 優先呼出を解除します。	97
	● 「受信モード」の設定を [FAX優先] または [FAX専用] に設定していませんか？ → [設定しない] に設定します。	75
設定している音とちがう	● ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分けの機能が働いている可能性があります。	109
	● ダイヤルインサービスを契約しているときは、ダイヤルイン鳴り分けの機能が働いている可能性があります。	88
	● 受信モードを [FAX優先] に設定していると相手の方から電話がかかってきたときは [電話ベル音] が鳴ります。	75

スピーカー音が鳴らない (聞こえにくい)

● 音量の設定が小さくなっていませんか？ → 適当な大きさに調節します。	38
---	----

こんなときは (親機)

こまごまと

通話中に…

相手の方の声が聞こえにくい	● 受話音量が小さすぎませんか？ → 受話音量を大きくします。	38
こちら側の声が相手の方に届かない／聞き取りにくいと言われる	● 受話器の下の穴（マイク）を手でふさいでいませんか？ → ふさがないように正しく持ちます。 ● 回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。 → 送話音量を大きくします。	17 39
雑音が入る	● 電話機コードと電源コードをいっしょに束ねていませんか？ → できるだけ離して接続します。 ● 受話音量が大きすぎると、雑音が入るときがあります。	—

通話中に…

通話を録音できない	● メモリーがいっぱいになっていませんか？ → メモリー受信データがあるときは、プリントまたは消去します。 → 不要な録音を消去します。 ● 「戻って録音」と「今から録音」を同じ通話中に操作しようとしていませんか？ → 「戻って録音」を録音すると、「今から録音」は使用できません。また、「今から録音」を録音すると、「戻って録音」は使用できません。	78～79 65 92、93
通話が途切れる	● キャッチホン・ディスプレイをご利用でないのに、設定が[使用する]になっていませんか？ → キャッチホン・ディスプレイをご利用でない場合は、[使用しない]に設定します。	105

通話中や相手側で保留中に、突然ファクス受信に切り替わる

● 声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。 → 頻繁におこるときは、おまかせ受信を[なし]にします。	134
--	-----

原稿がまっすぐに入っていない

● 原稿ガイドは原稿の幅に合わせて調節されていますか？ → 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。	66
● 原稿挿入口に紙片などの異物がつまっていますか？ → 紙片などの異物を取り除きます。	—

記録紙が…

よくつまる (送り込まれない)	● 記録紙押さえを開けてセットしていますか？ → 記録紙押さえを開けてセットしてください。	29
	● よくさばいてからセットしていますか？ → よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。	29
	→ 操作パネルを開いたときや、記録紙を追加するときも、いったん記録紙を取り出して、よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。	29
	● 記録紙を入れすぎていませんか？ → 一度にセットできるのは15枚までです。	29
白紙で出てくる	● 当社指定品をお使いですか？ → 当社指定品をお使いください。	143
	● コピーをしているときは、原稿を裏向きにセットしていますか？ → 正しくセットしてください。 ● ファクス受信をしているときは、相手の方が原稿の裏表をまちがえてセットしているかもしれません。 → 相手の方に確認します。	66 —

こんなときは (親機)

こまごまと
ときば

コピーすると…

白紙で出てくる	● 原稿が表向きにセットされていませんか？ →裏向きにセットします。	66
画像が悪い (白や黒い線が入る)	● 記録ヘッドや読み取り部 (ガラス) が汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。 ● 記録紙やインクリボンが当社の指定品をお使いですか？ →当社の指定品をご使用ください。	116, 117 143

ファクスを…

送れない	● 原稿は正しくセットされていますか？ →正しくセットしてください。 ● 相手の方が、ファクス受信に切り替わっていないかもしれません。 また、相手の方のファクスの記録紙がなくなっているかもしれません。 →相手の方に確認します。	66 —
自動送信しない	● 「発信音検出」の設定を [なし] にするか、受話器を取って通話してください。 ● 相手の方が、ファクス受信に切り替わっていないかもしれません。 →相手の方に確認します。	134 —
受けられない	● メモリーがいっぱいになっていませんか？ →メモリー受信データをプリントまたは消去します。 →不要な録音を消去します。 →メモリー残量が充分でも、写真原稿などを受信すると、受信中にメモリーがいっぱいになる場合があります (受信データはメモリーに残っています)。このようなときは、FAX受信方法の設定を [記録紙受信] にしてください。 ● ファクス受信時の着信音の回数を 7 回以上に設定していると、相手の方が自動送信したときに、相手の方のファクシミリが送信を中止してしまうことがあります。 →着信音の回数を6回以下に設定するか、着信音が鳴っているときに受話器を取ってFAXスタートボタンを押します。 ● 留守設定などで、応答メッセージを流してファクスを受けるときは、「メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがあります。 →それぞれの待ち時間の設定を長くしてください。	78 ~ 79 65 96 74 133

こんなときは (親機)

こまごまと
ついでに

ファクスを送信したが…

相手の方の記録紙に何もプリントされない	● 原稿を表向きにセットしていませんか？ →原稿の送る面を裏向きにセットします。	66
相手の方に届いたファクスの画像が悪い	● 原稿送りローラーや読み取り部 (ガラス) が汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。	116, 117
[応答がありません]と表示される	● 電話帳を使ってファクスを送るときは、相手の方がファクス受信に切り替わっていないと送れないことがあります。 →受話器を取ってから電話帳で電話をかけ、相手の方と通話してからFAXスタートボタンを押します。	70

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。127ページも参照してください。

ファクスを受信したが…

記録紙が白紙で出てくる	● 相手の方がファクスを送るときに原稿の向きを裏表逆にセットしている場合があります。 → 相手の方に確認します。	—
ファクスの画像が悪い	● 記録紙やインクリボンは当社の指定品をお使いですか？ → 当社の指定品をご使用ください。	143
	● 記録ヘッドや記録紙給紙ローラーは汚れていませんか？ → 汚れをふき取ります。	117
	● 雷が鳴っていませんか？ → 回線の状態が悪くなっていることがあります。	—
	● キャッチホンを利用していませんか？ → 受信中に電話がかかると画像が乱れることがあります。	—

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。127ページも参照してください。

各種サービスを受けられない

●ダイヤル回線で各種情報サービスに接続後、トーン（プッシュホン）信号に切り替えましたか？ → 各種情報サービスに接続後、トーン（プッシュホン）信号に切り替えます。	41
● ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。 → 各種契約会社にお問い合わせください。	—

留守モードに設定しても…

自分で作った応答メッセージが流れない	● 録音用のメモリーがなくなっていないですか？ → メモリー受信データをプリント／消去します。 → 不要な録音を消去します。	78～79 65
用件録音できない（用件録音されていない）	● メモリーがいっぱいになっていませんか？ → メモリー受信データをプリント／消去します。 → 不要な録音を消去します。	78～79 65
留守モードを解除して再生しても、留守ボタンが点滅している	● 未再生の録音がありませんか？ → 未再生の録音を再生します。	62

ディスプレイに FAX 優先 / FAX 専用の表示が出ない

● 留守モードに設定していませんか？ → 留守設定を解除します。	62
-------------------------------------	----

FAX 優先や FAX 専用になっているのに、着信時、留守の応答メッセージが流れてしまう

● 留守モードに設定していませんか？ → 留守設定を解除します。	62
-------------------------------------	----

リモート操作ができない / 音声メッセージが流れない

● 暗証番号を登録していますか？ → 暗証番号を登録します。	102
-----------------------------------	-----

日付・時刻の表示がリセットされる

● 停電や電源が切れたとき（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）は、日付・時刻の設定は保持されません。 → 日付・時刻を設定し直します。	25
---	----

こんなときは（親機）

こまごまと
わかる

こんなときは（子機）

動作しない

● 電池パックのコネクタが外れていませんか？ → 正しく接続します。	30
● 電池パックの容量が少なくなっていますか？ → 充電器に子機を戻して充電します。	30～31

電話をかけられない／受けられない

● 親機の電源コードや電話機コードは正しく接続されていますか？ → 正しく接続します。	24
● 親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？ → 他の電気製品から離れて親機を設置し、子機を使用します。	16～17
● 親機のアンテナはきちんと立てていますか？ → アンテナを立ててください。	24
● 別の所で親機や他の子機を使用していませんか？ → 使用が終わってから電話をかけます。	—
● 電池パックの容量が少なくなっていますか？ → 充電器に子機を戻して充電します。	30～31
● 親機から離れすぎていませんか？ → 電波が届く範囲で使います。	15
● 電波が干渉しやすい環境で使っていませんか？ → 少し動かしてみるか、場所を少し移動してみます。	—
● 無線LAN機器やルータなどを、近くでお使いではありませんか？ → 親機、子機をこれらの機器からできるだけ離して設置してください。 → それでも電話がつかない場合は、電波干渉を起こしている可能性があるため、回避チャンネル設定を変更してみてください。	135
● 停電になっていませんか？ → 停電のときは電話をかけることはできません。	130

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。127ページも参照してください。

充電ができない

● 充電器の電源コードがコンセントから外れていませんか？	30
● 電池パックのコネクタが外れていませんか？ → 正しく接続します。	

着信音が…

鳴らない (聞こえにくい)	● 着信音を [切] や [小] に設定していませんか？ → 着信音の音量を変えます。	37
	● 電池パックの容量が少なくなっていますか？ → 充電器に子機を戻して充電します。	30～31
	● 親機や他の子機、PHS、携帯電話の充電器などと一緒に置いていませんか？ → できるだけ離して設置してください。	16～17
	● 親機がコピー中、プリント中ではありませんか？ → コピーやプリントが終わらないと子機は使用できません。	—
	● ダイヤルインサービスを契約しているときは、特定の親機または子機のみ着信する設定にすると、他の親機または子機では着信音が鳴りません。 → 設定を変更してください。	87
	● 無線LAN機器やルータなどを、近くでお使いではありませんか？ → 「回避チャンネル設定」を変更してください。	135
	→ 子機をこれらの機器からできるだけ離して設置してください。	—
	● 「非通知／公衆電話／表示圏外お断り」「特定番号お断り」「迷惑電話お断り」「選んで着信」が設定されていませんか？ → 設定を解除してください。	110～115

着信音が…

設定している音とちがう	<ul style="list-style-type: none"> ●ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分け機能が働いている場合があります。 ●ダイヤルイン鳴り分けとナンバー・ディスプレイの着信鳴り分けを同時に設定していませんか？ →同時に設定している場合は、ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分けが優先されます。 	109
		—

スピーカー音が聞こえにくい

●音量的設定が小さくなっていませんか？ →スピーカー音量を大きくします。	39
---	----

通話中に…

相手の方の声が聞こえにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●受話音量が小さくなっていませんか？ →受話音量を大きくします。 	38
こちら側の声が相手の方に届かない	<ul style="list-style-type: none"> ●子機の送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？ →ふさがないように正しく持ちます。 ●回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。 →送話音量を大きくします。 	— 39
通話音量が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●ひかり電話などの光回線やIP電話、ADSL、ISDNなどをご利用になっていると声が大きく聞こえることがあります。 →「回線調整」を【小】にしてください。 ●受話音量が大きくなっていませんか？ →受話音量を小さくします。 	135 38
雑音が入る 相手の方の声がとぎれる	<ul style="list-style-type: none"> ●親機と子機が離れすぎていませんか？ →雑音が入らない位置で子機を使用します。 ●親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？ →他の電気製品から離れて親機を設置し、子機を使用します。 ●親機のアンテナに電源コードや電話機コードを巻き付けていませんか？ →アンテナから電源コード、電話機コードを取ります。 ●アンテナを立てていますか？ →アンテナを立てます。 ●無線LAN機器やルータなどを、近くでお使いではありませんか？ →親機をこれらの機器からできるだけ離して設置してください。 →子機で通話中にノイズが入るときは、ノイズの入らない場所まで移動してください。 →それでもノイズが入る場合は、電波干渉を起こしている可能性があるため、回避チャンネル設定を変更してみてください。 ●電波干渉を受けているときは、雑音が入ったり通話が切れてしまうことがあります。 →いったん電話を切り、もう一度通話してみて、異常がなければ故障ではありません。 	15 16～17 16 24 — — 135 —

通話中や相手側で保留中に、突然ファクス受信に切り替わる

●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。 →頻繁におこるときは、おまかせ受信を【なし】にします。	134
--	-----

こんなときは（ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイで…

<p>相手の方の電話番号が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ナンバー・ディスプレイの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ●ナンバー・ディスプレイの設定を [使用する] にしていますか？ → [使用する] に設定します。 ●ひかり電話、IP電話、VoIPアダプタを使用していないですか？ →詳しくは契約電話会社にお問い合わせください。 ●ISDNをご利用で、ターミナルアダプタ (TA) が「ナンバー・ディスプレイを使用しない」設定になっていませんか？ →ターミナルアダプタ (TA) の設定を変更してください。 	<p>103</p> <p>103</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>電話帳に登録した相手の方の着信音が変わらない (着信鳴り分けができない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？ →着信鳴り分け機能をご使用のときは、相手の方の電話番号を市外局番から登録してください。 	<p>50、52</p>
<p>こちら側の電話番号が相手の方の電話機などに表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●こちら側の電話番号を相手の方の電話機やファクスに表示する (通知する) /しないは、こちら側で現在お選びの通知方法によります。 また、相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用になっていることが必要です。 	<p>—</p>

こんなときは (ナンバー・ディスプレイ)

ネーム・ディスプレイで…

<p>相手の方の名前や電話番号が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ネーム・ディスプレイの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とネーム・ディスプレイの契約が必要です。 ●相手の方が発信者名の通知を申し込んでいないときは表示されません。ただし、電話番号が親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。 ●相手の方が公衆電話・携帯電話・PHSや国際電話から電話をかけていませんか？ →相手の方が公衆電話・携帯電話・PHS や国際電話から電話をかけているときは、発信者名は表示されません。 	<p>104</p> <p>—</p> <p>—</p>
----------------------------	--	------------------------------

こまごまと

キャッチホン・ディスプレイで…

<p>相手の方の電話番号が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●キャッチホン・ディスプレイの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホン II、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。 ●キャッチホン・ディスプレイとナンバー・ディスプレイを [使用する] に設定していますか？ → [使用する] に設定します。 	<p>105</p> <p>103、105</p>
-------------------------	--	---------------------------

こんなときは (ひかり電話などの光回線 / IP電話 / ADSL / ISDN)

ひかり電話などの光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用の場合、ファクスを正しく設定し、動作に必要なサービス (ナンバー・ディスプレイなど) を契約していても、下記の現象が発生することがあります。

ひかり電話などの光回線を使っていると…

特定の番号だけつながらない	●一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。	—
ナンバー・ディスプレイが動作しない	●VoIPアダプタの設定が必要です。 →契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については契約電話会社にお問い合わせください。	—
ダイヤルインサービス(マイナンバー/追加番号)が動作しない		

ADSL を使っていると…

電話をかけられない	●契約されている回線種別が合っていないと、0120 (フリーダイヤル) などの番号にかからないことがあります。 →契約されている回線種別に設定してください。 ●一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。	25 —
ファクスの送受信ができない	●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。 →改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。改善されないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	— 147
電話やファクスを使っていないのに [外線使用中] などの表示が出る		
ナンバー・ディスプレイが動作しない		
電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。 →改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。改善されないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	— 147
受話器を取ると「キーン」という音が出る	●「回線調整」の設定を変更してください。それでも改善しないときは、TAのメーカーへお問い合わせください。	135

ISDN を使っていると…

電話の声が聞こえにくい・雑音が入る	●「回線調整」の設定を変更してください。それでも改善しないときは、TAのメーカーへお問い合わせください。	135
-------------------	--	-----

こんなときは（エラー表示／エラー音／停電）

この部分に、お知らせやエラーメッセージを表示します。



エラーメッセージに「操作ガイド」の表示がある場合は、 を押して対応を表示させることができます。

お知らせ／エラー表示

表示／エラー音	対応	参照ページ
受信 FAX があります 操作ガイド	●メモリー受信したデータを、プリントしてください。	78
原稿がつまっています 操作ガイド	●○(登録)  と押すと、原稿が自動的に排出されます。それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します。	118
通信エラー (1～15) 操作ガイド また、「通信エラーがありました。」と聞こえる	●相手の方に確認の上、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます (1～15の番号は、当社のサービス担当が通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、局番なしの113番までご連絡ください)。	—
ヘッドが高温です	●長時間連続してプリントやコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなります。しばらくお待ちください。	—
応答がありません 操作ガイド	●「親機でお話してからファクスを送る」の方法で送信してください。	66
受信／録音メモリー不足 操作ガイド	●不要な録音メッセージを消去します。 ●メモリー受信した内容をプリントまたは消去します。	65 78～79
録音メモリーが一杯です 操作ガイド	●不要な録音メッセージを消去します。	65
FAX 受信メモリーが一杯です 操作ガイド	●メモリー受信した内容をプリントまたは消去します。	78～79
外線自動応答中	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。	—
外線使用中 (1～4) また、「ツーツー」という音が聞こえる	●子機を使用中です (1～4は子機番号)。子機の使用が終わるまでお待ちください。	—

こんなときは (エラー表示／エラー音／停電)

このたびは

こんなときは（エラー表示／エラー音／停電）

表示／エラー音	対応	参照ページ
記録紙がありません	● 記録紙がないときはセットします。セットしているときは、もう一度セットしてみてください。	29
子機を確認ください	● 子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かないなど）になっていないか確認してください。	—
記録紙／インクリボン 確認 操作ガイド	● つまった記録紙を取り除きます。 ● インクリボンを交換します。 ● 緑色のギヤをまわして、インクリボンのたるみをとります。 ● 操作パネルを閉め直します。	119 27～28 28 —
子機を増設します	● 親機が子機増設登録モードになっています。「停止ボタン」を押して終了してください。 子機を増設は担当者が実施いたします。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。 ● 子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行なうことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。	147 —

子機を使っているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
「ピーピー」	● 親機や増設子機が使用中です。 ● 親機の電源コードを接続してください。 ● 他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。 ● 親機からの電波が届く範囲でご使用ください。	— 24 16 —
「ピピピピ」	● 名前の文字数やアラーム時刻の設定などが登録範囲を超えています。	—
「ピピッ……ピピッ……」	● 充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい電池パックと交換してください。	30～31
子機で通話中に 「ピーピー」と2回 鳴ってすぐに切れる	● 雑音の少ないところでご使用ください。 ● 無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。	— 135

こんなときは（エラー表示／エラー音／停電）

こまった
ときは

こんなときは（エラー表示／エラー音／停電）

停電になったとき

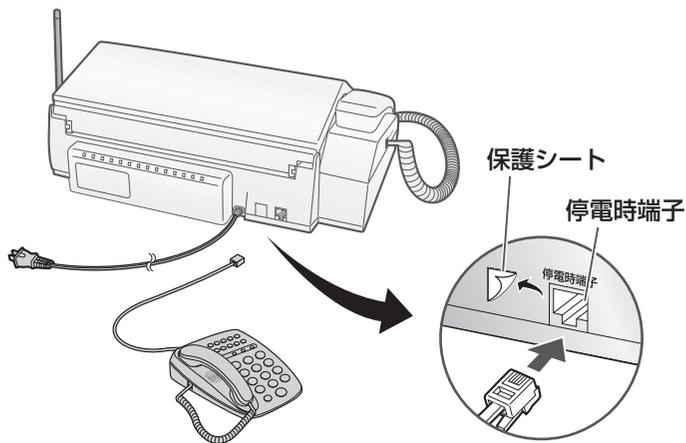
停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

電話機	<ul style="list-style-type: none"> ●親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ●子機を使用することはできません。 ●各種サービスは働きません。 ●ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ●通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	<ul style="list-style-type: none"> ●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ●外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ●停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	<ul style="list-style-type: none"> ●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ●メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。
コピー	<ul style="list-style-type: none"> ●停電中は、コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	<ul style="list-style-type: none"> ●電話帳などに登録されている内容は消えません。 ●日付・時刻の設定は消えてしまいます。あらためて設定してください。

増設電話を利用する

停電中は停電時端子に電源不要の電話機を接続して使うと「電話をかける」または「電話を受ける」ことができます。

- 停電時端子に電源不要の電話機を接続しておくで、停電中に接続した電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときに停電になったときは、停電時端子に電話機を接続していると、はじめに少し短い呼出音が電話機で鳴ります（このとき受話器を取ってもお話しできません）。このあと通常の呼出音が鳴りますので、このとき電話機の受話器を取ると、お話しできます。



故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

- ・ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
- ・ボタンが全く効かない。
- ・電話番号リストなどをプリントするとデータがみだれている。
- ・コピーなど、プリントができない状態が続く。
- ・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。

修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試してください。

電源を入れ直してみる

まず差し込みプラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。これだけで症状が改善することがあります。

また、「電話帳以外初期化」や「電話帳全消去」（☎ 132ページ）をすることで、症状が改善することもあります。

それでも症状が改善されないときは次の操作（強制リセット）を行ってみてください。

【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、全てのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

親機を強制リセットする

強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、局番なしの113番または当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

差し込みプラグを電源コンセントから抜く ▶  と  を同時に押したまま ▶ ディスプレイに [メモリークリア中] と表示されたら、 と  から指を離す

お知らせ

- 強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳3件分が復活します。
- 電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください。
- 強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあとに、ひかり電話の利用確認、携帯通話設定の画面が表示されます。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

こま
ま
た

登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

登録データ初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、メモリー受信データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

親機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外初期化）

○(登録) ▶ 8 や 6 は 2 か ▶ 停止

- ・途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- ・電話帳の内容および日付・時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻ります。

親機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳全消去）

電話帳 ▶ 7 ま 2 か

- ・途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)
- ・電話帳がすべて消えます。

子機の登録や設定の内容をすべて工場出荷時に戻す（登録初期化）

▶ | 電話帳転送
電池残量
▶システム設定 | を選ぶ ▶ | LCDコントラスト
電波サポート
▶登録初期化 | を選ぶ ▶ (続く)

(続き) ▶ [登録内容初期化しますか?] と表示されたら確認して

- ・途中でやめるとき：
- ・子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

子機の電話帳を全て消去する

▶ | 電池残量
システム設定
▶全消去 | を選ぶ | 再ダイヤル
着信記録
▶電話帳 | を選ぶ ▶ (続く)

(続き) ▶ [電話帳 全消去しますか?] と表示されたら確認して

- ・途中でやめるとき：
- ・電話番号をすべて消去すると、あらかじめ登録されている [≫時報 117] と [≫天気予報 177] の2件も消去されます。

●お知らせ

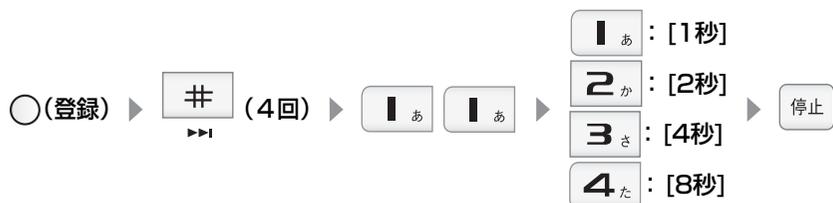
- 親機で電話帳以外初期化したあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

特別設定について

使用状況に応じて、次の項目を親機で設定することができます。

メッセージ待ち時間

留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は [4秒] です。



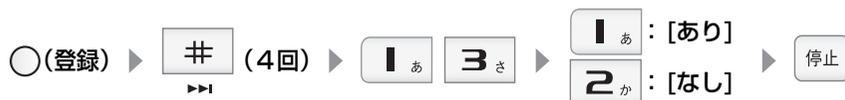
発信音待ち時間

応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は [4秒] です。



お声拝聴

留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。



録音時間

留守録や通話内容、伝言メモの録音時間を設定することができます。
工場出荷時の設定は [30秒] です。



・途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

おまかせ受信

相手の方が自動送信の場合（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。



縮小受信

ファクスを印字したときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小してプリントする機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。
[なし] に設定した場合、相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれてプリントされることがあります。また、白紙が1枚出てくることがあります。



分割コピー

A4より長い原稿をコピーした場合に、複数枚に分けてプリントする機能の設定ができます。[なし] ではA4サイズを超える部分はプリントしません。
工場出荷時の設定は [なし] です。



発信音検出

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本商品が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。
自動送信がうまくできないときは、この設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。
工場出荷時の設定は [あり] です。



途中でやめるとき : 停止 / 1つ前に戻るとき : ○(戻る)

回線調整

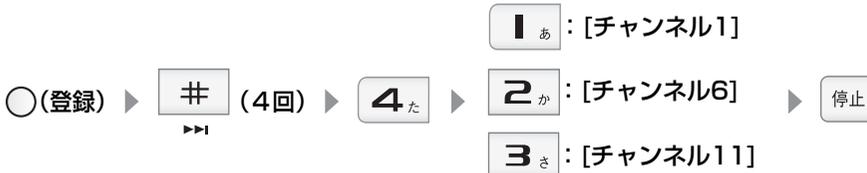
ひかり電話、IP電話、ADSL、ISDN（INSネット64）などをご利用のとき、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなったりすることがあります。こんな場合に [小] に設定すると、親機や子機で外線通話時の送受話音量を小さくすることができます。工場出荷時の設定は [標準] です。



- ・ [小] に設定すると、「親機送話音量」「子機送話音量」「子機受話音量」の設定（☎39ページ）が自動的に [小] に変更されます。（ [標準] にすると、すべて [標準] に変更されます。）

回避チャンネル設定

他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。子機通話中には変更できません。工場出荷時の設定は [チャンネル6] です。



- ・ 無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ機能の利用設定ができます。ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、[使用する] に設定します。構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは [使用しない] に設定します。工場出荷時の設定は [使用する] です。



- ・ 途中でやめるとき： 停止 / 1つ前に戻るとき： ○(戻る)

携帯通話設定で利用する携帯番号帯設定

携帯通話設定機能の利用対象となる携帯電話番号の頭4ケタとして、あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、あらたに登録してください。番号は最大30件まで登録できます。



携帯通話設定機能の現在の設定表示

携帯通話設定機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。



キャッチホン切替時間

キャッチ/消去ボタンを押したときに回線を開放する時間を設定できます。交換機の種類などによっては、キャッチ/消去ボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。工場出荷時の設定は [0.8秒] です。



途中でやめるとき : 停止 / 1つ前に戻るとき : ○(戻る)

区点コード一覧表

区点 1~3 桁目	区点4桁目 0123456789	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0123456789	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0123456789	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0123456789
500	010	000	000	000	000	000	000
501	011	001	001	001	001	001	001
502	012	002	002	002	002	002	002
503	013	003	003	003	003	003	003
504	014	004	004	004	004	004	004
505	015	005	005	005	005	005	005
506	016	006	006	006	006	006	006
507	017	007	007	007	007	007	007
508	018	008	008	008	008	008	008
509	019	009	009	009	009	009	009
510	020	010	010	010	010	010	010
511	021	011	011	011	011	011	011
512	022	012	012	012	012	012	012
513	023	013	013	013	013	013	013
514	024	014	014	014	014	014	014
515	025	015	015	015	015	015	015
516	026	016	016	016	016	016	016
517	027	017	017	017	017	017	017
518	028	018	018	018	018	018	018
519	029	019	019	019	019	019	019
520	030	020	020	020	020	020	020
521	031	021	021	021	021	021	021
522	032	022	022	022	022	022	022
523	033	023	023	023	023	023	023
524	034	024	024	024	024	024	024
525	035	025	025	025	025	025	025
526	036	026	026	026	026	026	026
527	037	027	027	027	027	027	027
528	038	028	028	028	028	028	028
529	039	029	029	029	029	029	029
530	040	030	030	030	030	030	030
531	041	031	031	031	031	031	031
532	042	032	032	032	032	032	032
533	043	033	033	033	033	033	033
534	044	034	034	034	034	034	034
535	045	035	035	035	035	035	035
536	046	036	036	036	036	036	036
537	047	037	037	037	037	037	037
538	048	038	038	038	038	038	038
539	049	039	039	039	039	039	039
540	050	040	040	040	040	040	040
541	051	041	041	041	041	041	041
542	052	042	042	042	042	042	042
543	053	043	043	043	043	043	043
544	054	044	044	044	044	044	044
545	055	045	045	045	045	045	045
546	056	046	046	046	046	046	046
547	057	047	047	047	047	047	047
548	058	048	048	048	048	048	048
549	059	049	049	049	049	049	049
550	060	050	050	050	050	050	050
551	061	051	051	051	051	051	051
552	062	052	052	052	052	052	052
553	063	053	053	053	053	053	053
554	064	054	054	054	054	054	054
555	065	055	055	055	055	055	055
556	066	056	056	056	056	056	056
557	067	057	057	057	057	057	057
558	068	058	058	058	058	058	058
559	069	059	059	059	059	059	059
560	070	060	060	060	060	060	060
561	071	061	061	061	061	061	061
562	072	062	062	062	062	062	062
563	073	063	063	063	063	063	063
564	074	064	064	064	064	064	064
565	075	065	065	065	065	065	065
566	076	066	066	066	066	066	066
567	077	067	067	067	067	067	067
568	078	068	068	068	068	068	068
569	079	069	069	069	069	069	069
570	080	070	070	070	070	070	070
571	081	071	071	071	071	071	071
572	082	072	072	072	072	072	072
573	083	073	073	073	073	073	073
574	084	074	074	074	074	074	074
575	085	075	075	075	075	075	075
576	086	076	076	076	076	076	076
577	087	077	077	077	077	077	077
578	088	078	078	078	078	078	078
579	089	079	079	079	079	079	079
580	090	080	080	080	080	080	080
581	091	081	081	081	081	081	081
582	092	082	082	082	082	082	082
583	093	083	083	083	083	083	083
584	094	084	084	084	084	084	084
585	095	085	085	085	085	085	085
586	096	086	086	086	086	086	086
587	097	087	087	087	087	087	087
588	098	088	088	088	088	088	088
589	099	089	089	089	089	089	089
590	100	090	090	090	090	090	090
591	101	091	091	091	091	091	091
592	102	092	092	092	092	092	092
593	103	093	093	093	093	093	093
594	104	094	094	094	094	094	094
595	105	095	095	095	095	095	095
596	106	096	096	096	096	096	096
597	107	097	097	097	097	097	097
598	108	098	098	098	098	098	098
599	109	099	099	099	099	099	099
600	110	100	100	100	100	100	100
601	111	101	101	101	101	101	101

区点コード一覧表

区点コード

登録／設定早見表

登録／設定項目一覧表（親機）

ボタン操作で登録・設定の項目を選ぶことができます。

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
初期登録	日付・時刻 日付と時刻を登録できます。	○(登録) 1 あ 1 あ	34
	発信元番号 ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。	○(登録) 1 あ 2 か	34
	発信元名 ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。	○(登録) 1 あ 3 さ	35
	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	○(登録) 1 あ 4 た	25
	携帯通話設定 携帯通話設定機能の設定ができます。	○(登録) 1 あ 5 な	84
	ダイヤルイン機能 番号登録 ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	○(登録) 1 あ 6 は 1 あ	87
	ダイヤルイン機能 番号クリア ダイヤルインに追加した番号を削除できます。	○(登録) 1 あ 6 は 2 か	87
	ダイヤルイン機能 ダイヤルイン機能 ダイヤルイン機能の設定ができます。	○(登録) 1 あ 6 は 3 さ	87
	ダイヤルイン機能 FAXコール回数 ダイヤルインのFAX切替コール回数を設定できます。	○(登録) 1 あ 6 は 4 た	88
	ダイヤルイン機能 ダイヤルイン鳴り分け ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定できます。	○(登録) 1 あ 6 は 5 な	88
ダイヤルイン機能 ダイヤルイン着信音 ダイヤルインで追加した番号の着信音を設定できます。	○(登録) 1 あ 6 は 6 は	88	
ダイヤルイン機能 設定内容表示 ダイヤルインの設定内容を表示できます。	○(登録) 1 あ 6 は 7 ま	87	
音量調整	親機送話音量切替 親機でお話中に相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変更できます。	○(登録) 2 か 1 あ	39
	子機送話音量切替 子機でお話中に相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変更できます。	○(登録) 2 か 2 か	39
	子機受話音量切替 子機でお話中にこちらに聞こえる相手の方の声の大きさを変更できます。	○(登録) 2 か 3 さ	39
親機着信音	親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	○(登録) 3 さ 1 あ	36
	在宅時コール回数 留守設定せずに自動でファクスを受けるときの着信音の回数を設定できます。	○(登録) 3 さ 2 か	74
	留守設定時コール回数 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	○(登録) 3 さ 3 さ	61
応答メッセージ	オリジナル録音 留守モード時の応答メッセージを録音できます。	○(登録) 4 た 1 あ	63
	オリジナル消去 録音した応答メッセージを消去できます。	○(登録) 4 た 2 か	63

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
応答メッセージ	オリジナル再生 録音した応答メッセージを再生できます。	○(登録) 4 _た 3 _さ	63
	固定選択 固定メッセージの種類を選択できます。	○(登録) 4 _た 4 _た	61
コピー設定	拡大1.4倍 約1.4倍に拡大してコピーできます。	○(登録) 5 _な 1 _あ	81
	縮小0.8倍 約0.8倍に縮小してコピーできます。	○(登録) 5 _な 2 _か	81
	複数枚コピー マルチ(複数枚)コピーできます。	○(登録) 5 _な 3 _さ	81
電話帳	新規登録 親機の電話帳に登録できます。	○(登録) 6 _は 1 _あ	50
	ワンタッチダイヤル登録 ワンタッチダイヤルの登録ができます。	○(登録) 6 _は 2 _か	57
	子機転送 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	○(登録) 6 _は 3 _さ	58
ナンバー・ディスプレイ	着信鳴り分け 電話帳鳴り分け 電話帳の着信鳴り分けをあり・なしの設定ができます。	○(登録) 7 _ま 1 _あ 1 _あ	109
	着信鳴り分け 非通知鳴り分け 非通知の着信鳴り分けをあり・なしの設定ができます。	○(登録) 7 _ま 1 _あ 2 _か	109
	着信鳴り分け 公衆電話鳴り分け 公衆電話の着信鳴り分けをあり・なしの設定ができます。	○(登録) 7 _ま 1 _あ 3 _さ	109
	着信鳴り分け 表示圏外鳴り分け 表示圏外の着信鳴り分けをあり・なしの設定ができます。	○(登録) 7 _ま 1 _あ 4 _た	109
	鳴り分け時の着信音 電話帳 電話帳の着信鳴り分け時の着信音を設定できます。	○(登録) 7 _ま 2 _か 1 _あ	109
	鳴り分け時の着信音 非通知 非通知の着信鳴り分け時の着信音を設定できます。	○(登録) 7 _ま 2 _か 2 _か	109
	鳴り分け時の着信音 公衆電話 公衆電話の着信鳴り分け時の着信音を設定できます。	○(登録) 7 _ま 2 _か 3 _さ	109
	鳴り分け時の着信音 表示圏外 表示圏外の着信鳴り分け時の着信音を設定できます。	○(登録) 7 _ま 2 _か 4 _た	109
	キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイの利用設定ができます。	○(登録) 7 _ま 3 _さ	105
	非通知お断り 「非通知お断り」の設定ができます。	○(登録) 7 _ま 4 _た	110
	公衆電話お断り 「公衆電話お断り」の設定ができます。	○(登録) 7 _ま 5 _な	110
	表示圏外お断り 「表示圏外お断り」の設定ができます。	○(登録) 7 _ま 6 _は	110
	お断り番号設定 「お断り番号」を登録できます。	○(登録) 7 _ま 7 _ま	111
	チャイム後自動設定 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする・しないの設定ができます。	○(登録) 7 _ま 8 _や	115
	選んで着信番号設定 選んで着信機能で着信させる番号を登録できます。	○(登録) 7 _ま 9 _ら	112

	機能名／機能の説明	操作	参照ページ
詳細設定	液晶濃度調整 ディスプレイの濃度を設定できます。	○(登録) 8 や 1 あ	22
	FAX/コピー FAX受信方法 FAX受信方法の設定ができます。	○(登録) 8 や 2 か 1 あ	96
	FAX/コピー 終了音 コピーやファクス送信後に鳴る終了音を設定できます。	○(登録) 8 や 2 か 2 か	96
	FAX/コピー インクリボン使用量 インクリボンの使用量を表示できます。	○(登録) 8 や 2 か 3 さ	28
	キータッチ音 親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。	○(登録) 8 や 3 さ	96
	留守録暗証番号 登録 外出先からのリモート操作に必要な暗証番号が登録できます。	○(登録) 8 や 4 た 1 あ	102
	留守録暗証番号 消去 暗証番号を消去できます。	○(登録) 8 や 4 た 2 か	102
	メモリー残量表示 FAX受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	○(登録) 8 や 5 な	65
	電話帳以外初期化 電話帳以外の親機の登録／設定を初期設定（工場出荷時）に戻すことができます。	○(登録) 8 や 6 は	132
	読上げボイス設定 読上げボイスダイヤル機能の有無を設定できます。	○(登録) 8 や 7 ま	96
印刷	着信記録リスト 着信記録の一覧をプリントできます。	○(登録) 9 ら 1 あ	107
	電話番号リスト 電話帳に登録されている相手先の一覧をプリントできます。	○(登録) 9 ら 2 か	51
	お断り番号リスト お断りに登録されている番号の一覧をプリントできます。	○(登録) 9 ら 3 さ	111
	原稿排出 セットしている原稿を排出できます。	○(登録) 0 わ <small>初号</small>	67

※特別設定については、133～136ページを参照してください

機能項目一覧表（子機）

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

機能名	機能の説明	参照ページ
留守番電話 用件再生	録音されている内容を再生できます。	64
留守番電話 留守設定切替	留守番電話を設定できます。	60、62
留守番電話 全消去	留守録メッセージを全て消去できます。	65
優先呼出	優先呼出の設定ができます。	97
着信音量	着信音の大きさを変更できます。	37
着信音色	着信音の種類を変更できます。	37
着信鳴り分け	着信鳴り分け機能の設定ができます。	109
アラーム	アラームを鳴らす時刻などの設定ができます。	98
電話帳転送	電話帳を親機や別の子機に転送できます。	59
電池残量	電池の残量を確認できます。	30
システム設定 時計登録	時刻を登録できます。	34
システム設定 キータッチ音出力	ボタン操作音の設定ができます。	97
システム設定 クイック通話	クイック通話の設定ができます。	97
システム設定 使用者表示	子機の使用人名を登録できます。	35
システム設定 LCD コントラスト	ディスプレイのコントラストを調整できます。	23
システム設定 電波サポート	電波サポートの設定ができます。	97
システム設定 登録初期化	登録した内容を全て消去することができます。	132
全消去 再ダイヤル	再ダイヤルを全て消去できます。	43
全消去 着信記録	着信記録を全て消去できます。	108
全消去 電話帳	電話帳を全て消去できます。	132

別売品／消耗品

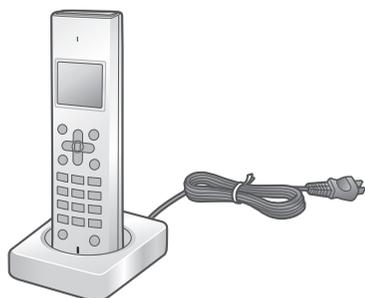
別売品／消耗品として、次のものを用意しています。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。本商品を長い間安心してお使いいただくためにも、当社指定品をお使いください。指定品以外の記録紙やインクリボンを使用されると印刷がかすれたり、薄く印刷されたりすることがあります。

別売品

■ 増設用コードレス電話機

2.4Gデジタルコードレス電話機「S1」

コードレス電話機は、P-265DCLwにはもう2台加えて最大4台まで、P-265DCLにはもう3台加えて最大4台まで使うことができます。増設用のコードレス電話機には、充電器と電池パックなどがセットされています。



■ 充電器

● 充電器

2.4G デジタルコードレス電話機「S1」充電器

■ ドアホン

ドアホンは2台まで接続することができます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンが使用できます。

■ ドアホンボックス

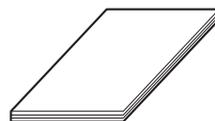
U-ドアホンボックス

消耗品

消耗品については、パーツサービスセンター（☎ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ 記録紙

ファクシミリ用P形A4記録紙（2） A4サイズ（100枚1組）



記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTTFAXP-265DCLw／P-265DCL用記録紙以外はご使用にならないでください。

シャープ製ファクシミリ用普通紙 A4サイズ（250枚1組）もお使いになれます。
型番：PP110MA4

■ インクリボン

ファクシミリ用P形A4インクリボン（10）（約30m）

シャープ製インクリボン（30m）もお使いになれます。
型番：UX-NR5A4（1本）
：UX-NR5A4W（2本1組）

■ 2.4Gデジタルコードレス電話機用電池パック 電池パック-098

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	P-265DCLw / P-265DCL 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、 Fネット (16Hz対応のみ)
圧縮方式	MH・独自圧縮
通信モード	G3・ECM * 1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット/mm (普通字、小さな字、精細、写真) 副：3.85本/mm (普通字) 7.7本/mm (小さな字、写真) 15.4本/mm (精細) * 2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	3.8型モノクロQVGA 液晶ディスプレイ (バックライト付) 漢字表示
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約12秒 * 3
中間調伝送	有り (64階調)
記録紙サイズ	A4サイズ
最大記録有効幅	205mm
最大送信原稿幅	257mm
読み取り有効幅	251mm
受信メモリー	A4標準原稿 約50枚 (普通字モード時) * 4

■ 留守録部

オリジナル 応答メッセージ	1件
用件録音時間	約15分 (応答メッセージ1件、メモリー受信データ含む) 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法	340 (幅) × 221 (奥行) × 121 (高さ) mm 受話器を含む、突起部、アンテナを除く	44.6 (幅) × 29.5 (奥行) × 158.4 (高さ) mm	71 (幅) × 90 (奥行) × 26.7 (高さ) mm
質量	約3.1kg 受話器、インクリボンを含む	約150g 電池パック含む	約120g
電源	AC100±10V 50/60Hz	DC3.6V、600mAh (ニッケル水素電池) * 7	入力：AC100±10V 50/60Hz
消費電力 (100VAC)	約0.9W (ディスプレイ非表示の待機時) 約90W (動作時最大)	約0.9W (急速充電中) 約0.7W (待機時)	
直流抵抗	167Ω	—	—
静電容量	1.0μF以下	—	—
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 30%～85%RH		

* 1 本商品で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。(カラーの送受信はできません)

* 2 ITU-T (国際規格) 準拠

* 3 A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 × 3.85 本/mm) で高速モード (14400 bit/s)、ECM モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

* 4 受信原稿によっては、1 枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。

* 5 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かず、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。

* 6 「電波サポート設定」を「設定」にした場合は、子機の連続通話時間が約4時間になります。また、「自動」にした場合は約4～6時間になります。

* 7 電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池につきましては、当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

■ コードレス部 (子機)

充電完了時間	約10時間
使用可能時間 (充電完了後)	待受時：約200時間 * 5 通話時：約6時間 * 6
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字4行+ピクト
増設可能子機	2.4Gデジタルコードレス電話機「S1」

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号 (10PPS/20PPS) ／PB信号 (DTMF)	
呼び出し方式	トーンリンガー (着信音) 呼び出し ／ (音量切替式)	
電話番号の 記憶容量	電話帳：100人分 (32桁以内) × 2番号 再ダイヤル：1局	電話帳：100人分 (24桁以内) × 2番号 再ダイヤル：10局

索引

【アルファベット・数字】

10PPS	25
20PPS	25

【あ】

アース端子	19、26
アラーム（モーニングコール）	98
今から録音	92
インクリボン	
インクリボンのご購入は	143
インクリボンの使用量を確認する	28
インクリボンを交換する	27～28
使用済みのインクリボンを捨てる時は	28
エラー表示	128～129
選んで着信	112～113
応答メッセージ	
応答メッセージの内容を確認する	63
自分で応答メッセージを録音する	63
自分で録音した応答メッセージを消去する	63
お断り	110～115
お手入れ	117
お問い合わせ	147
おまかせ受信	73、134
おまかせ送信	67
お待たせ（保留）	41
親機から子機へとりつく	47
親機から子機を呼び出してお話しする	44
オリジナルメッセージ	63
音量	
親機の受話音量を変える	38
子機の受話音量を変える	38
こちらの声が相手に聞こえにくいときは	39
着信音の音量	36～37

【か】

外出先から留守録用件を聞く	102
回線種別	
回線を自動で設定する	25
回線を手動で設定する	25
回線調整	135
回避チャンネル設定	135
画質を選ぶ	68
紙つまり	118～119
画面	22～23
キータッチ音	96～97
キャッチホン	105
キャッチホン・ディスプレイ	105
キャッチホン切替時間	136

記録紙

記録紙がつまったときは	119
記録紙に白や黒の線が入るときは	116
記録紙をセットする	29
記録紙受信	72、96
クイック通話	97
クリア	
強制リセット	131
電話帳以外初期化	132
電話帳消去	132
登録初期化	132

原稿

原稿がつまったときは	118
原稿をセットする	66
原稿を取り出す（排出する）	67、118
セットできる原稿のサイズ	69、82

公衆電話お断り	110
故障かな？と思ったときは	131

コピー

拡大・縮小コピー	81
コピーができないときは	122
等倍コピー	81
複数枚コピーするとき	81

【さ】

再生	64
再ダイヤル	
電話をかけ直す	42～43
ファクスを送る	70
時刻	34
充電	
子機の電池パックの交換	32
充電時間	30
電池パックの寿命	32
電池パックのリサイクル	32
修理	147
縮小受信	72、134
受話音量	38
仕様	144
消去する	
応答メッセージを消去する	63
電話帳登録データを消去する	51、53、132
留守録用件を消去する	65
消耗品	143
初期化する	132
スピーカーホン通話	40
清掃する	116～117
操作ガイド	33
増設子機	90、143
増設する	90
増設電話	99
相談窓口	147
送話音量	39

【た】

チャイムでお断り	114～115
着信お断り	110～111
着信音	
着信音の音量を調整する	36～37
着信音の回数を変える	61、74
着信音を変える	36～37
着信鳴り分け時の着信音を変える	109
着信記録	
電話帳に登録する	108
電話をかける	106
ファクスを送る	107
着信鳴り分け	109
通話音質	39
通話中のお待たせ	41
通話中再生	95
ディスプレイ（液晶ディスプレイ）	22～23
停電時の動作	130
電波サポート設定	41、97
転送	47
電話帳	
相手先を検索する	48～49
親機の電話帳を子機に転送する	58
子機の電話帳を親機に転送する	59
修正する	50、52
消去する	51、53、132
電話帳で電話をかける	48～49
電話帳でファクスを送る	70
電話帳に登録する	50、52
電話を受ける	41
電話をかける	
再ダイヤルで電話をかける	42～43
着信記録で電話をかける	106
電話帳で電話をかける	48～49
電話をとりつぐ	47
ドアホンをつなぐ	100
登録／設定早見表	139～142
特定の番号をお断りする	
お断りする番号を登録	111
登録したお断り番号を消す	111
特別設定	133～136
時計	34
とりつき転送	47

【な】

内線通話	44～45
鳴り分け	109
ナンバー・ディスプレイ	103
ニッケル水素電池	32
ネーム・ディスプレイ	104
濃度調整	68

【は】

発信音待ち時間	133
発信元番号	34
発信元名	35
非通知お断り	110
日付・時刻設定	34
表示	22～23
表示圏外お断り	110
ファクスを受信する	71～75
ファクスを送信する	66～70
付属品	14
ランチ接続	16、26
別売品	143
傍受（ぼうじゅ）	15
保守サービス	147
保証	147
保留	41

【ま】

見てからプリント	72、76～77、96
迷惑電話拒否機能	114～115
メッセージでお断り	114～115
メモリー残量表示	65
メモリー受信	72、96
メモリー受信したファクスをプリントする	78
メモリー受信枚数	72
メモ録音	91
モーニングコール	98
文字入力	54～56
モデムダイヤルインサービス	86～89
戻って録音	93～94

【や】

優先呼出（子機優先呼出）	97
読上げボイスダイヤル	96
読み取り範囲	69

【ら】

リセット（強制的に初期状態にする）	131
リモート操作	102
留守番電話	60～62
録音する	
通話中の会話を録音する	92
伝言メモを録音する	91
留守録設定時の応答メッセージを録音する	63
録音でお断り	114～115
録音を聞く	64
録音を消去する	65

【わ】

ワンタッチダイヤル	57
-----------	----

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 0120-970413 (03-5667-7100 ※)

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～21:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 0120-109217

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区：06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区：092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～21:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 **0120-970413 (03-5667-7100 ※)**

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～21:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

本商品の取り扱いに関するお問い合わせ：

 **0120-109217**

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区：06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区：092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～21:00（年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

© 2006 NTTEAST・NTTWEST



本 2820-2(2006.11)
G3-〈P-265DCLw/P-265DCL〉-FAX トリセツ
Printed in Malaysia
TINSJ4544XHTA

NTTFAX P-265DCLW/P-265DCL

取扱説明書

NTT®